

「将来の瀬戸市のまちづくりに関するアンケート調査」 結果分析

1. 調査概要

調査対象	令和7年5月現在瀬戸市に居住している満18歳以上の市民2,000人
調査方法	対象者を無作為に抽出
実施方法	郵送による配布、回収は郵送方式及びWEB回答方式
実施時期	令和7年6月13日（金）～令和7年6月30日（金）
有効回答数	658（有効回答率：32.9%）
設問数	23問
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・ 回答者の属性情報・ 瀬戸市で暮らすきっかけ・ 日常生活について・ 瀬戸市に対する愛着やイメージについて・ 総合計画や瀬戸市のまちづくりについて
備考	<ul style="list-style-type: none">・ 集計は無回答を除いた回答数を母数とした各選択肢の割合を算出している。・ 回答結果は小数点第2位を四捨五入しているため、各選択肢の割合の合計が100%にならない場合がある。・ 設問内容に応じて、「性別」、「年齢（3階級）」、「日常生活圏域」によるクロス集計を実施した。

2. 結果概要

1 瀬戸市の暮らし方に関するイメージ

自然の豊かさ、安心・安全

瀬戸市での生活の良いところ（問8）は「自然に恵まれている・緑豊か」、「災害の心配がない」などが上位です。また、希望する暮らし（問14）として、「自然に恵まれた環境でゆったりと暮らす」が上位にあることから、希望する暮らしと良いところのイメージはマッチしていると言えます。この他、希望する暮らしは、「家族との時間」や「自己実現（好きなこと・趣味）」が上位となります。

新しいもの・おしゃれなものの不足、生活の不便さ

反対に、不満だと思うところ（問9）では「素敵な・おしゃれな店舗が少ない」、「これから衰退しそう」、「買い物に不便」などが上位です。瀬戸市のイメージ（問20）では、「さびれている」、「伝統」、「保守的」、「停滞」が上位であることから、成長性や利便性についてはネガティブなイメージがあるといえます。

2 愛着・誇りと他の人に対するお勧め度

愛着はあるが誇りが持てておらず、お勧め度合いも全体的に低め

市民の4分の3は瀬戸市に対して愛着を持っています（問17）。しかし、誇りを感じている人は半数以下です（問18）。市外への友人・知人への瀬戸市のお勧め度（問19）では、いずれの項目でもNPS¹（Net Promotor Score）がマイナスの値となっています。属性によらず全体的に愛着はあるものの、若年層を中心に誇りは持てておらず、対外的なお勧め度合いが低いという特徴があります。

¹ ※NPS とは、あるものに対してどれだけ他人に勧めたいと思っているかを測定するための指標であり、（推奨者割合）－（非推奨者割合）で算出されます。選択肢のうち、「0点」から「4点」までの合計を『非推奨者割合』、「5点」から「7点」までの合計を『中立者割合』、「8点」から「10点」までの合計を『推奨者割合』、として計算しています。値は－100～＋100の間に分布し、値が大きいほど多くの人が勧めたいと思っている状態を表します。なお、割合を算出するにあたり含めた得点の範囲は、一般的な算出方法における範囲とは異なりますので、ご注意ください。

3 地域による意識の違い

市内でも日常生活圏域により意識が異なっている可能性が高い

生活に関わる施設の選択肢に対する意識（問 13）をはじめ、地域別で回答傾向の違いが顕著な項目があります。

北部圏域は、生活に関わる施設の選択肢があるとする回答が全体的に多いですが、市に対する愛着や継続して住みたいという意向はやや低めです。

東部圏域は、生活に関わる施設の選択肢があるとする回答が全体的に少なく、お勧め度合いも全体的に低めですが、愛着を持っている人は多いです。

中部圏域は、出産、子育て環境の選択肢があるとする回答が少なく、就職先、若い夫婦向け賃貸住宅の選択肢があるとする回答が多いです。市への誇りや継続して住みたいという意向は比較的に高いです。

西部圏域は、生活に関わる施設の選択肢があるとする回答が全体的に多く、愛着や誇り、お勧め度合い、継続して住みたいという意向も比較的高いです。

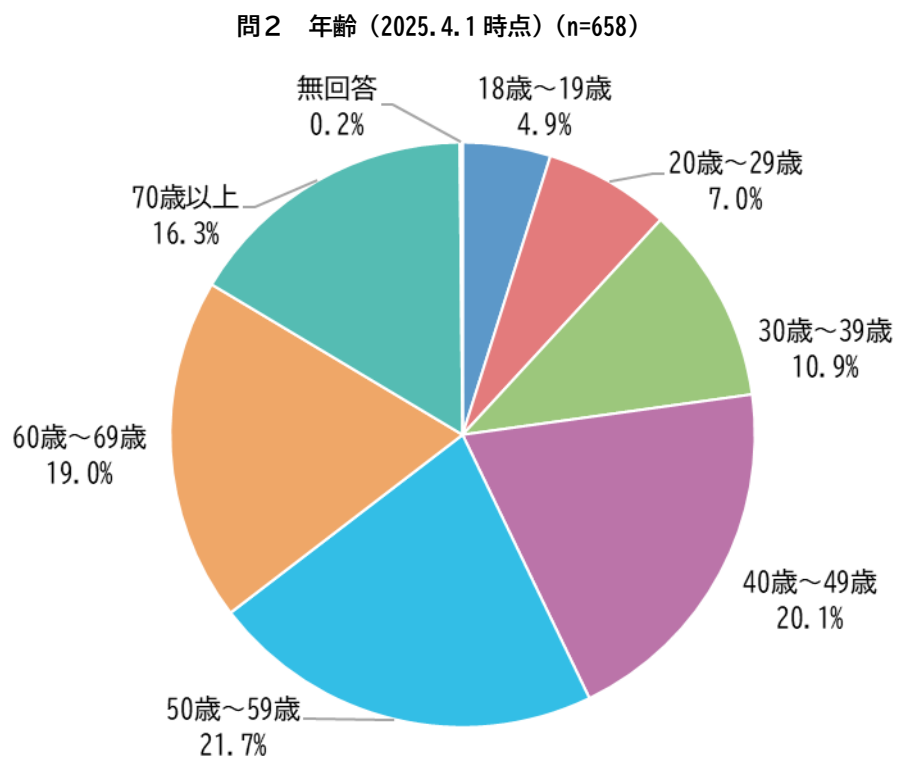
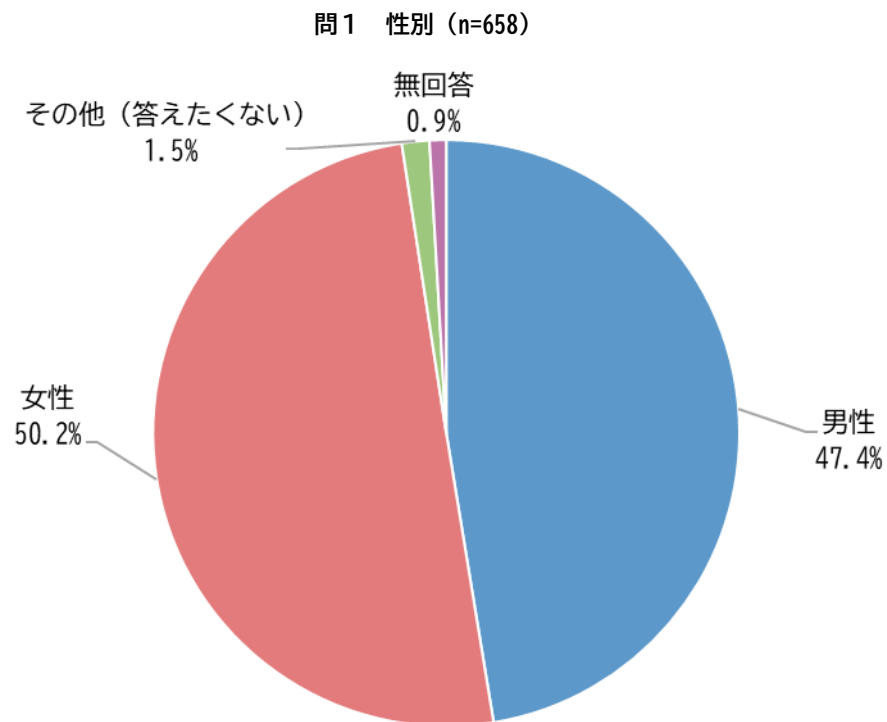
南部圏域は、生活に関わる施設の選択肢があるとする回答が他圏域と比べて低く、愛着や誇り、継続的に住みたいという意向も低めです。対外的なお勧め度合いが低いのも特徴です。

比較項目	北部	東部	中部	西部	南部
生活環境の選択肢（問 13）	ある	ない		ある	ない
今後の市内での継続定住意向（問 16）	ない		ある	ある	ない
愛着（問 17）	ない	ある		ある	ない
誇り（問 18）			ある		ない
対外的なお勧め度（問 19）		低い		高い	低い

※圏域ごとの相対的な関係を大まかに記載しているため、絶対的な回答傾向ではありません。

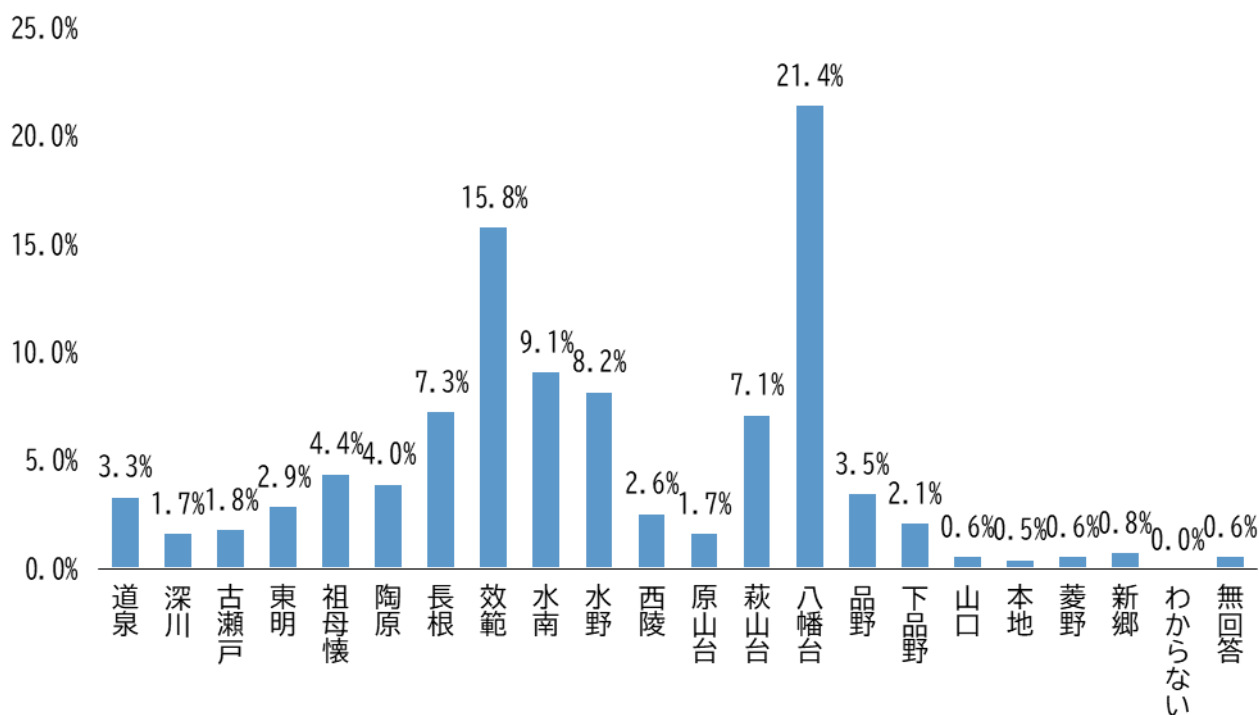
3. 回答者の属性

- 男女比はほぼ等しく、39歳以下が22.8%、40～59歳が41.8%、60歳以上が35.3%。

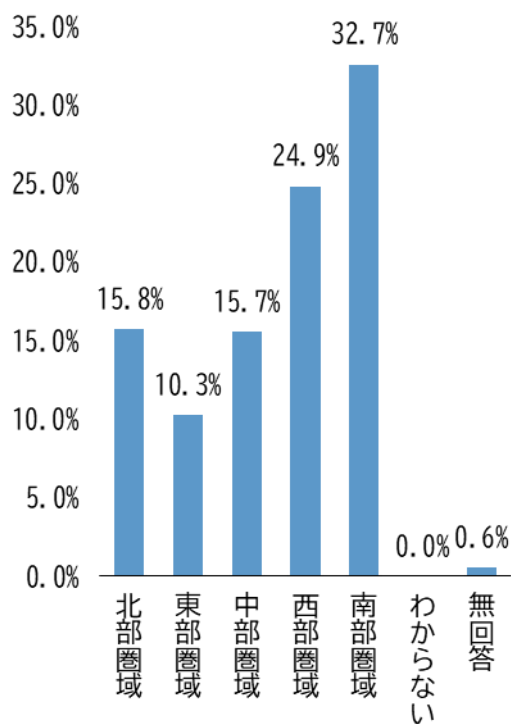


- 居住地域は、八幡台が21.4%で最も多く、效範（15.8%）、水南（9.1%）が続く。

問3 現在の居住地域（n=658）



（参考）連区と日常生活圏域の対応（n=658）

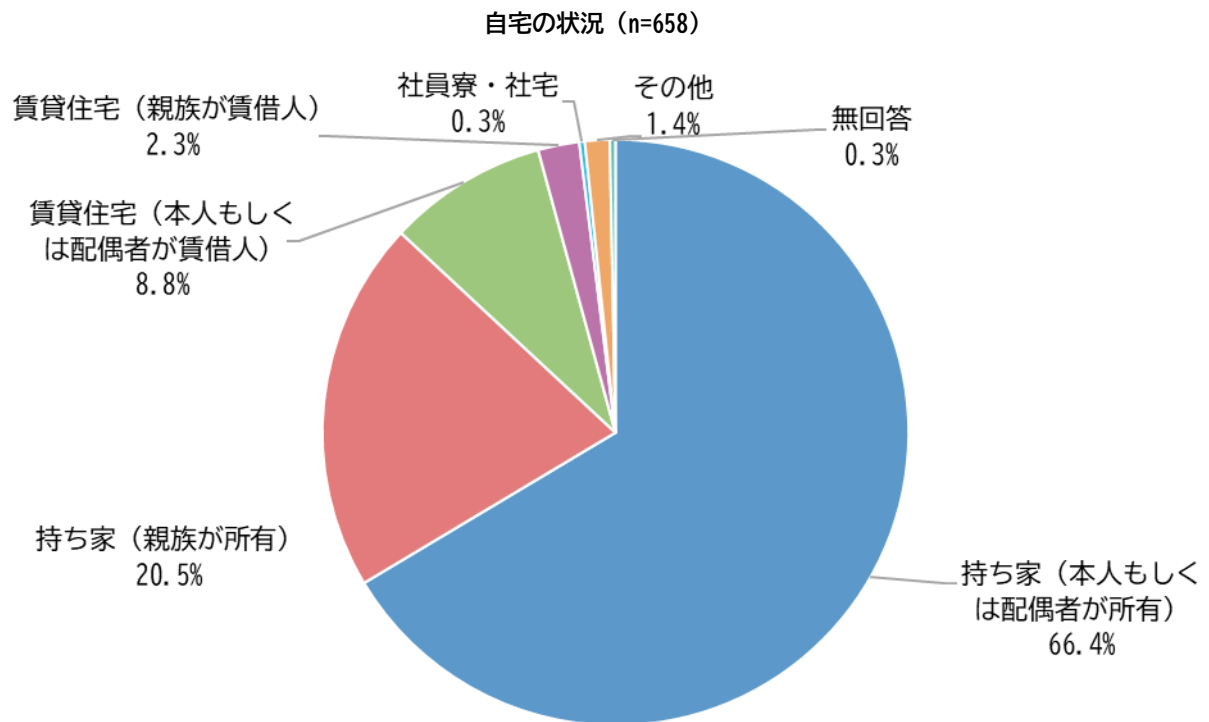


北部圏域	道泉、深川、水野、西陵
東部圏域	古瀬戸、東明、品野、下品野
中部圏域	祖母懐、陶原、長根
西部圏域	效範、水南
南部圏域	原山台、萩山台、八幡台、山口、本地、菱野、新郷

4. 瀬戸市で暮らすきっかけ

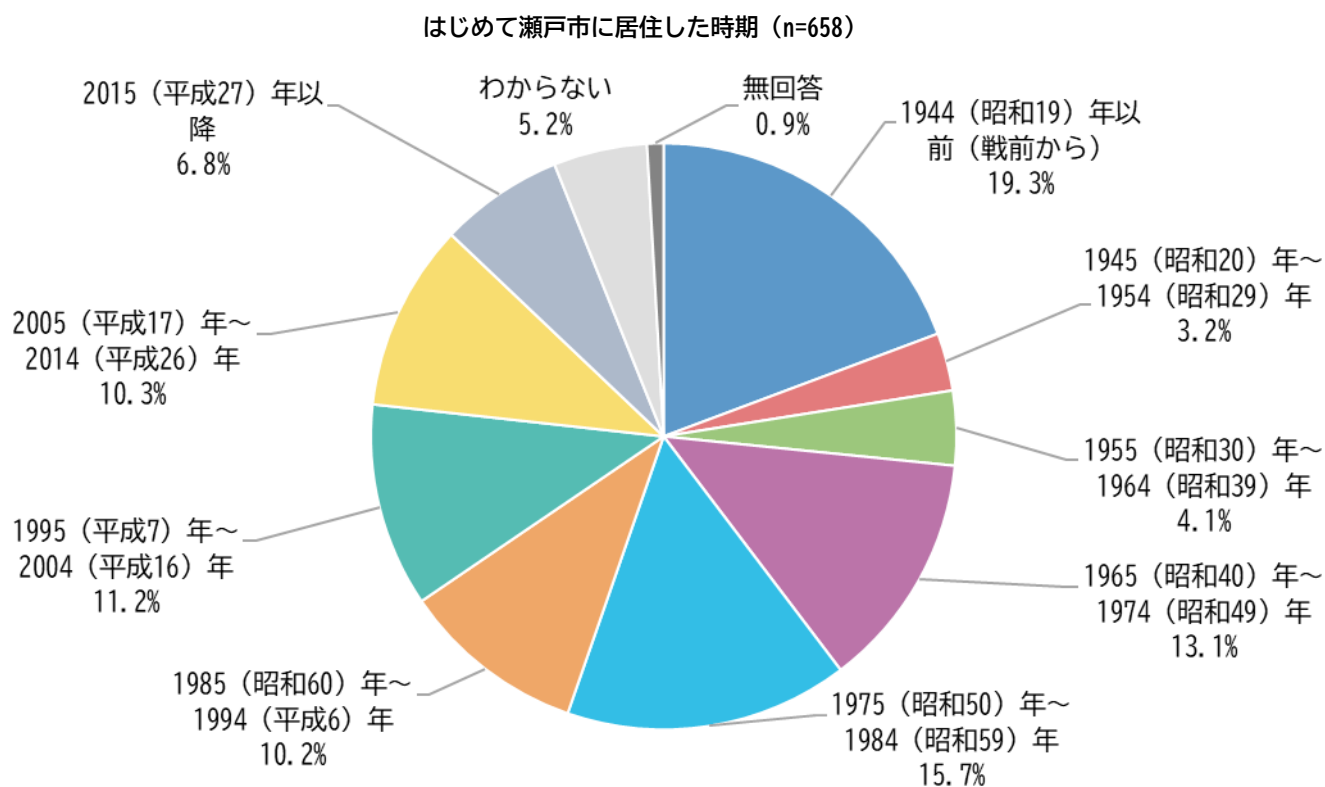
問4 あなたの自宅について当てはまるものを選んでください。

- 持ち家（本人もしくは配偶者が所有）が66.4%で最も多く、持ち家（親族が所有）が20.5%で続く。



問 5 あなたや、あなたの家族がはじめて瀬戸市に居住した時期について回答してください。

- はじめて瀬戸市に居住した時期は、1944（昭和 19）年以前が 19.3%で最も多く、1965（昭和 40）年～1974（昭和 49）年（13.1%）、1995（平成 7）年～2004（平成 16）年（11.2%）が続く。

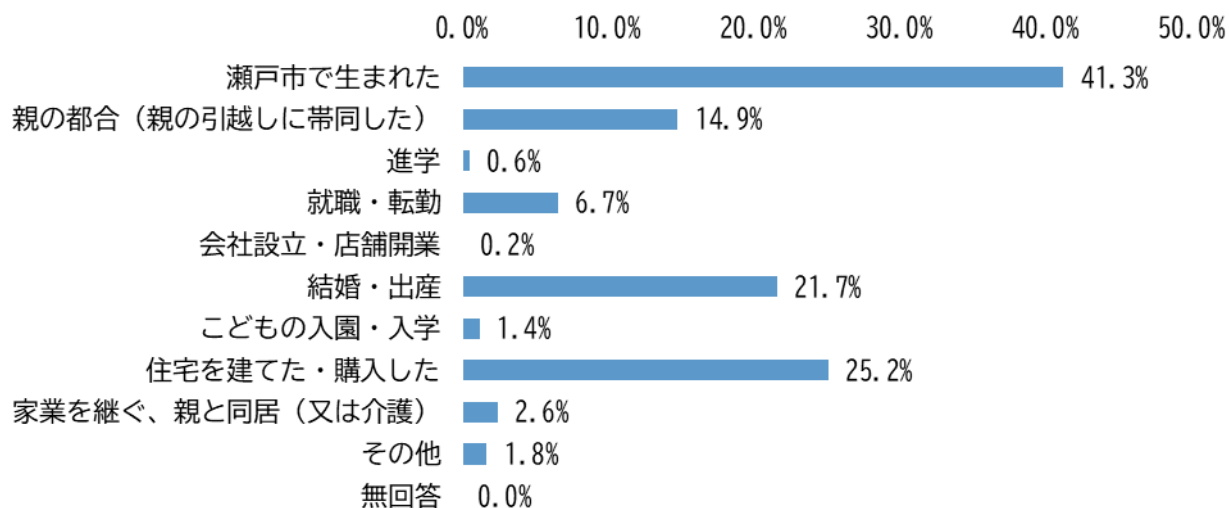


※親世代から瀬戸市に住んでいる場合は、親世代が瀬戸市に転入した時期、祖父母世代からであれば祖父母が転入した時期を選択。親世代等が瀬戸市に住んでいなかった場合は、本人や配偶者が初めて瀬戸市に住んだ時期を選択

問6 あなたが瀬戸市に居住をはじめた「時期」もしくは「きっかけ」について回答してください。

- 瀬戸市に居住をはじめた「時期」もしくは「きっかけ」は、「瀬戸市で生まれた」が41.3%で最も多く、「住宅を購入した」(25.2%)、「結婚・出産」(21.7%)が続く。

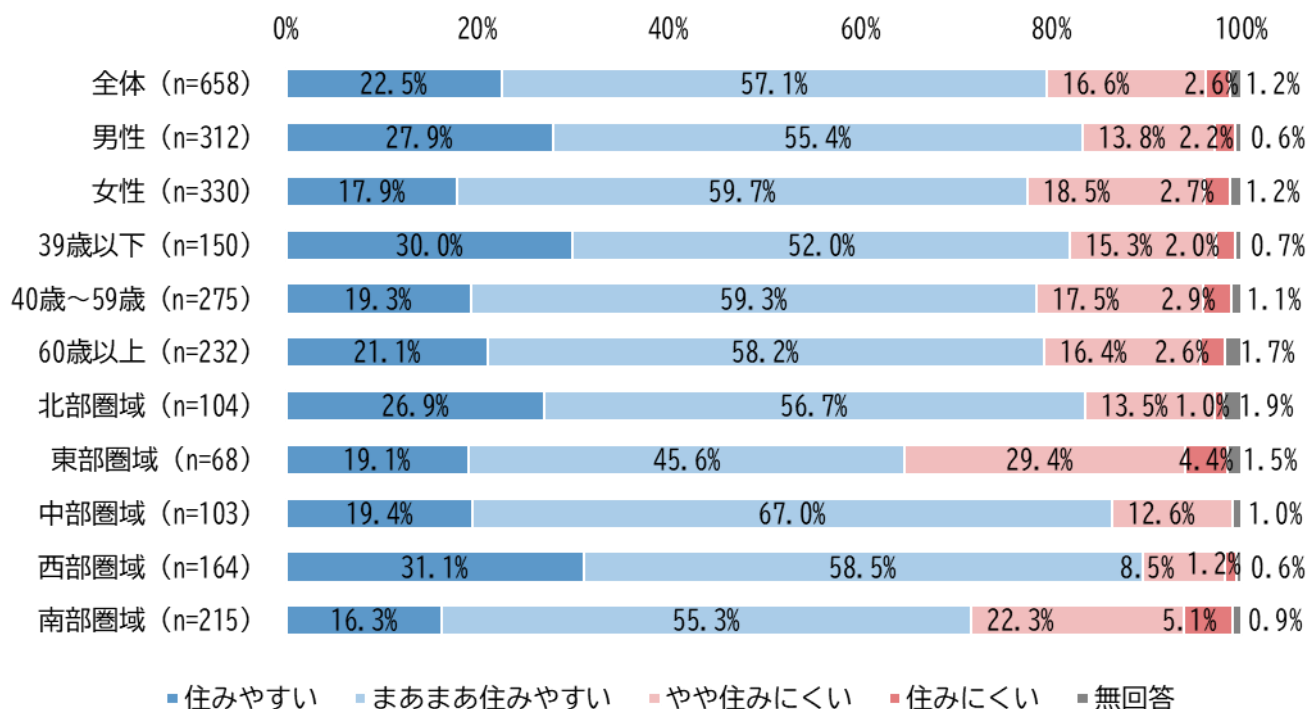
瀬戸市に居住をはじめた「時期」もしくは「きっかけ」(MA※主なもの2つ)(n=658)



問7 あなたにとって、瀬戸市は住みやすいところですか。

- 全体では、『住みやすい』が79.6%、『住みにくい』が19.2%。
- 男性は女性よりも『住みやすい』と回答。
- 年齢別で見ると、39歳以下において『住みやすい』と回答した人が最も多い。
- 地域別で見ると、西部圏域において『住みやすい』と回答した人が最も多く、東部圏域において最も少ない。

瀬戸市の住みやすさ



※「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を合わせたものを『住みやすい』、「住みにくい」、「やや住みにくい」を合わせたものを『住みにくい』として表記

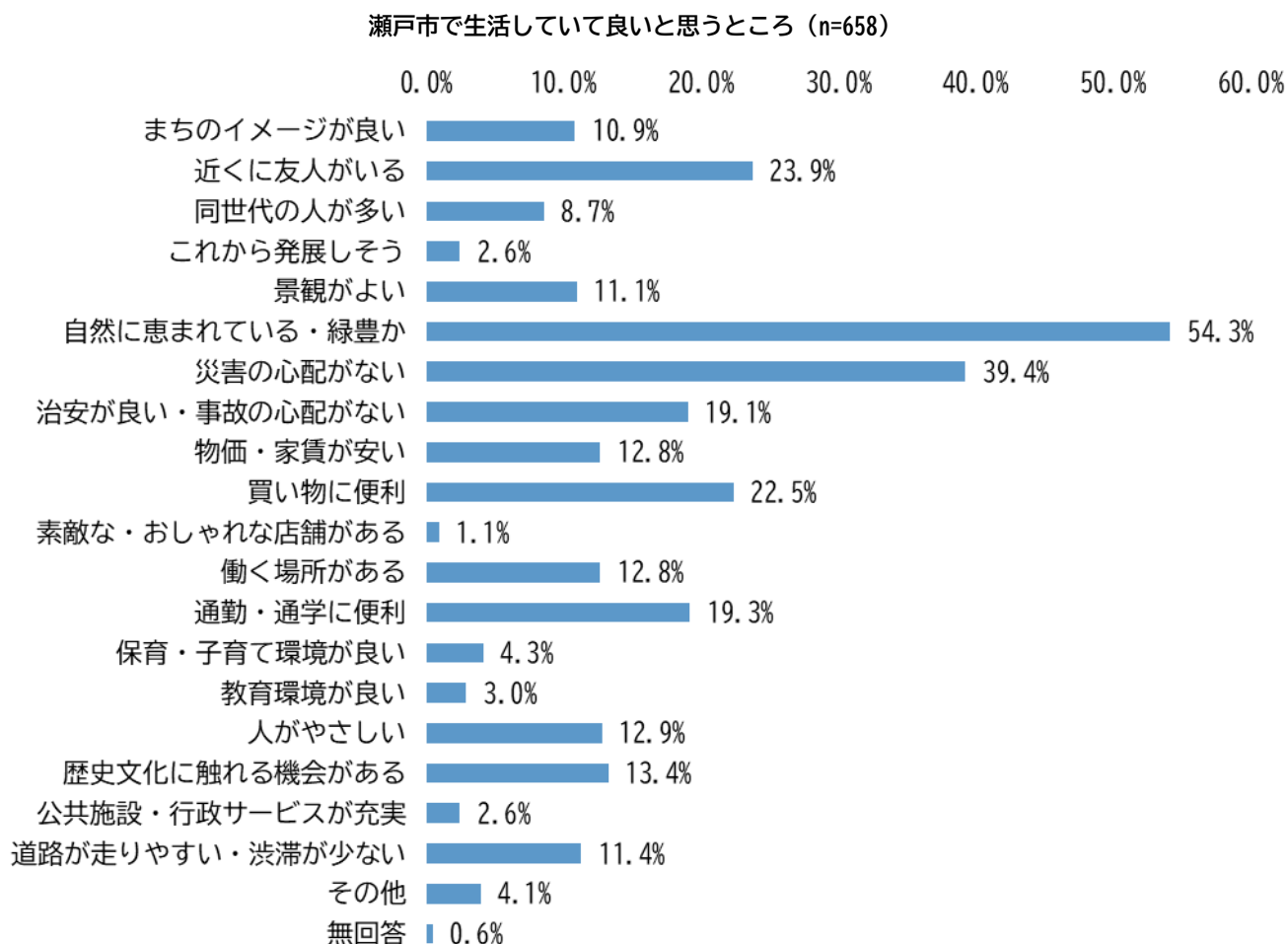
経年比較

	住みやすい	まあまあ住みやすい	やや住みにくい	住みにくい	無回答
R7 (n=658)	22.5%	57.1%	16.6%	2.6%	1.2%
R4 (n=847)	24.1%	54.7%	14.5%	6.7%	0.0%
R1 (n=888)	19.8%	57.8%	16.8%	5.5%	0.1%

5. 日常生活について

問 8 あなたが瀬戸市で生活していて良いと思うところは何ですか。

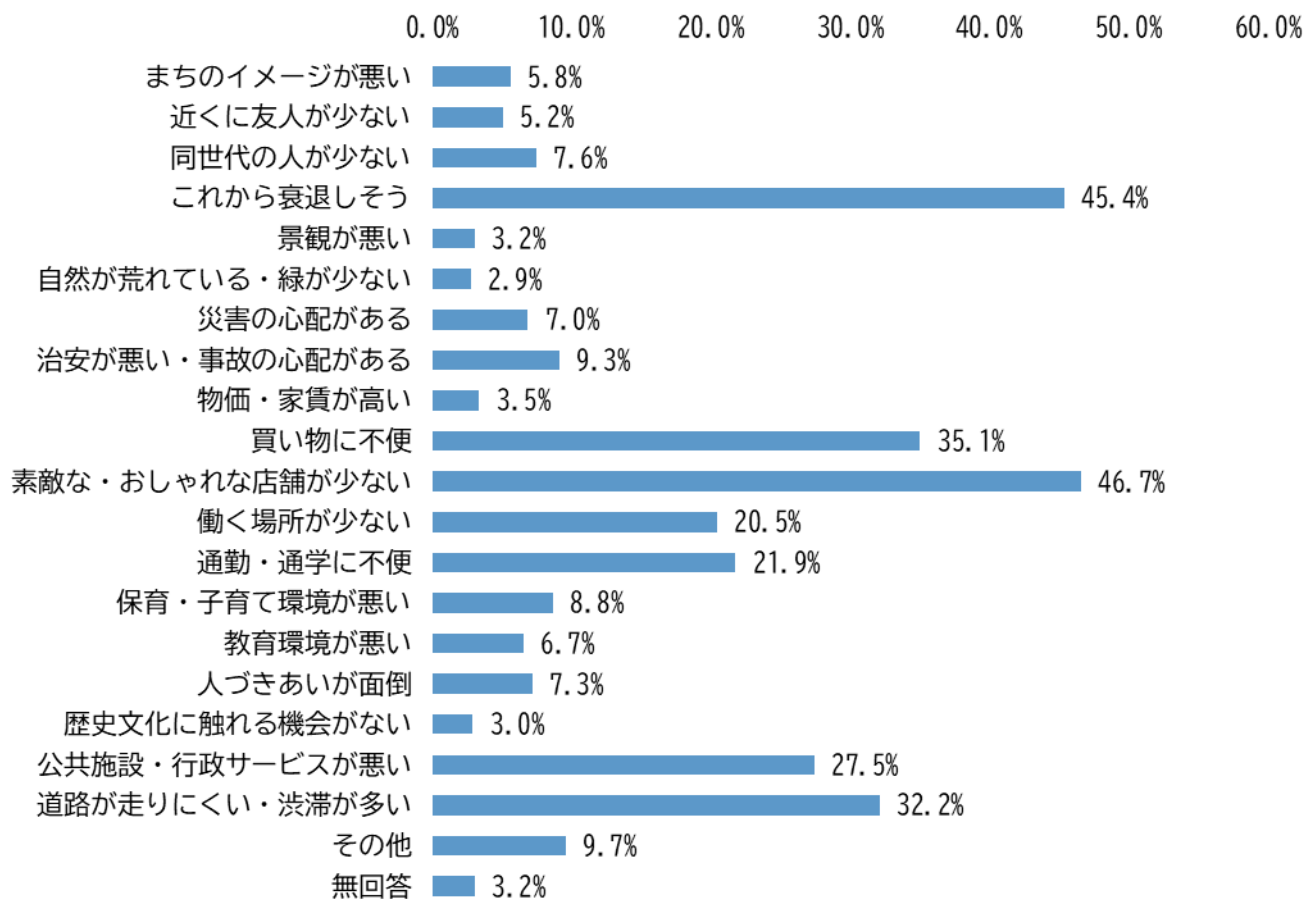
- 「自然に恵まれている・緑豊か」が 54.3%で最も多く、「災害の心配がない」(39.4%)、「近くに友人がいる」(23.9%)が続く。



問9 あなたが瀬戸市で生活していて不満だと思うところは何ですか。

- 「素敵な・おしゃれな店舗が少ない」が46.7%で最も多く、「これから衰退しそう」(45.4%)、「買い物に不便」(35.1%)が続く。

瀬戸市で生活していて不満だと思うところ (n=658)



問 10 あなたが瀬戸市で過ごす中で、楽しみ（場所やイベントなど）は何ですか。自由に記入してください。

- せともの祭への言及が圧倒的に多く、お祭りに関連するイベントが多く挙がっている。また、自然を挙げる人も多い。

【主な回答】※出現回数の多い単語のみ記載

お祭り	せともの祭	192 件
	招き猫まつり	22 件
	品野祇園祭	7 件
	陶祖まつり	7 件
	その他地域の祭り、花火	38 件
自然、史跡	桜（瀬戸川、水野川、定光寺など）	54 件
	岩屋堂（公園・紅葉・ホタルなど）	32 件
	その他自然 （散歩・山歩き・新緑・紅葉・景色など）	41 件
施設	商店街・マルシェ	19 件
	公民館等での活動	15 件
	図書館	10 件

問 11 あなたが瀬戸市で生活する中で、足りないと思うこと、できないため不満に思うことがあれば自由に記入してください。

【主な回答】

■交通・道路整備

- 道路が走りにくい。歩道が狭い。道路の路肩に雑草が生えていて景観が悪い。
- 瀬戸線近くでないと不便。名古屋に行きにくい。
- コミュニティバスのバス停が近くにない。道が狭い所で自転車と車の接触がこわい。
- もう少しバス停を増やすか便を増やすなど高齢者が運転せずとも移動しやすくしてあげてほしい。
- 車がないと不便。車に乗れなくなった時の事を考えると不安。
- 免許証返納後の移動手段を多くしてほしい。

■商業・買い物環境

- 専門店がたくさんはいる商業施設がない。映画館がない。
- スーパー、飲食店が前に比べて早くしまる。
- 市外の友人が遊びにきた時に、案内できる遊び場や食事をする所がない。夜遅くやっている店もない。
- 若い人達のための店が少なすぎる。

■子育て・教育

- 雨の日でも遊べる子供の間、動き回る場が沢山あるとよい。
- 子供を遊ばせる所が少ない。公園など、充実してほしい。
- 学校がにじの丘に統合されて遠くなり、通いにくくなった。不登校の子どもに対するケアが少ない。
- 学生向けの自習室の設備が足りていない。

■高齢者支援・福祉

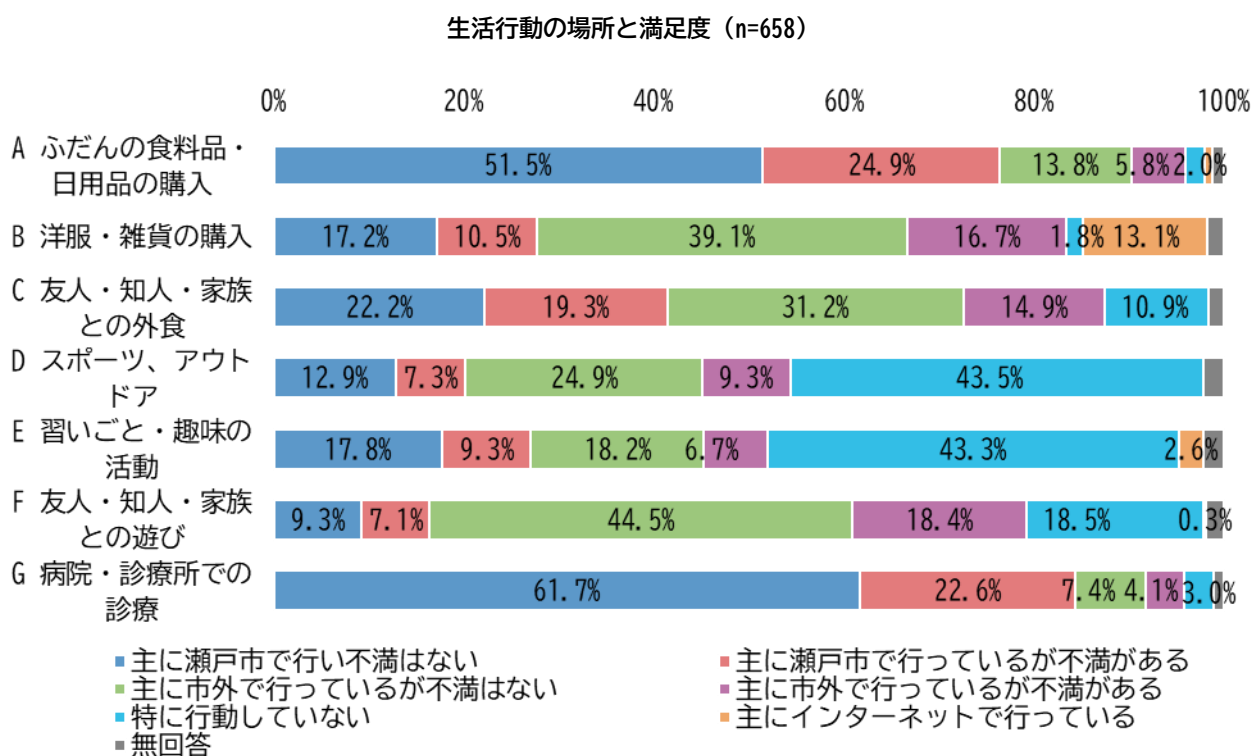
- シニアの仕事をする場が少ない、限られている。
- もっと障害者のためのグループホームに力をいれてほしい。
- 介護サービスに関しての情報が分からないです。

■その他

- 認知度が低い。
- 地域との交流において連区による差が大きい。近隣との交流機会が少なく、つながりがうすい。
- 街灯が少ないため、夜歩くのに不便であり治安が悪い。
- 図書館を充実させてほしい。今リニューアル中で期待しています。体育館・テニスコート等も施設が古い。
- まつりなどのようなイベントが少ない。
- 行政の動き、市長や議員が見えない。
- 高齢化が進み、若い世代が少ない。空き家が多い。観光地が少ない。
- 高度な技術者、研究者が働けるところがない。

問 12 次のAからGに示す生活行動について、あなたの行動場所と満足度をそれぞれ1つずつ選んでください。

- 場所についてみると、主に瀬戸市で行っていると回答した人が多い項目は、「G 病院・診療所での診療」、「A 普段の食料品・日用品の購入」であり、主に瀬戸市外で行っていると回答した人が多い項目は「F 友人・知人・家族との遊び」、「B 洋服・雑貨の購入」である。また、「B 洋服・雑貨の購入」については、主にインターネットで行っていると回答した人が他の項目と比べて最も多い。
- 満足度についてみると、「A 普段の食料品・日用品の購入」、「G 病院・診療所での診療」において不満があると回答した人が他の項目と比較すると多い。

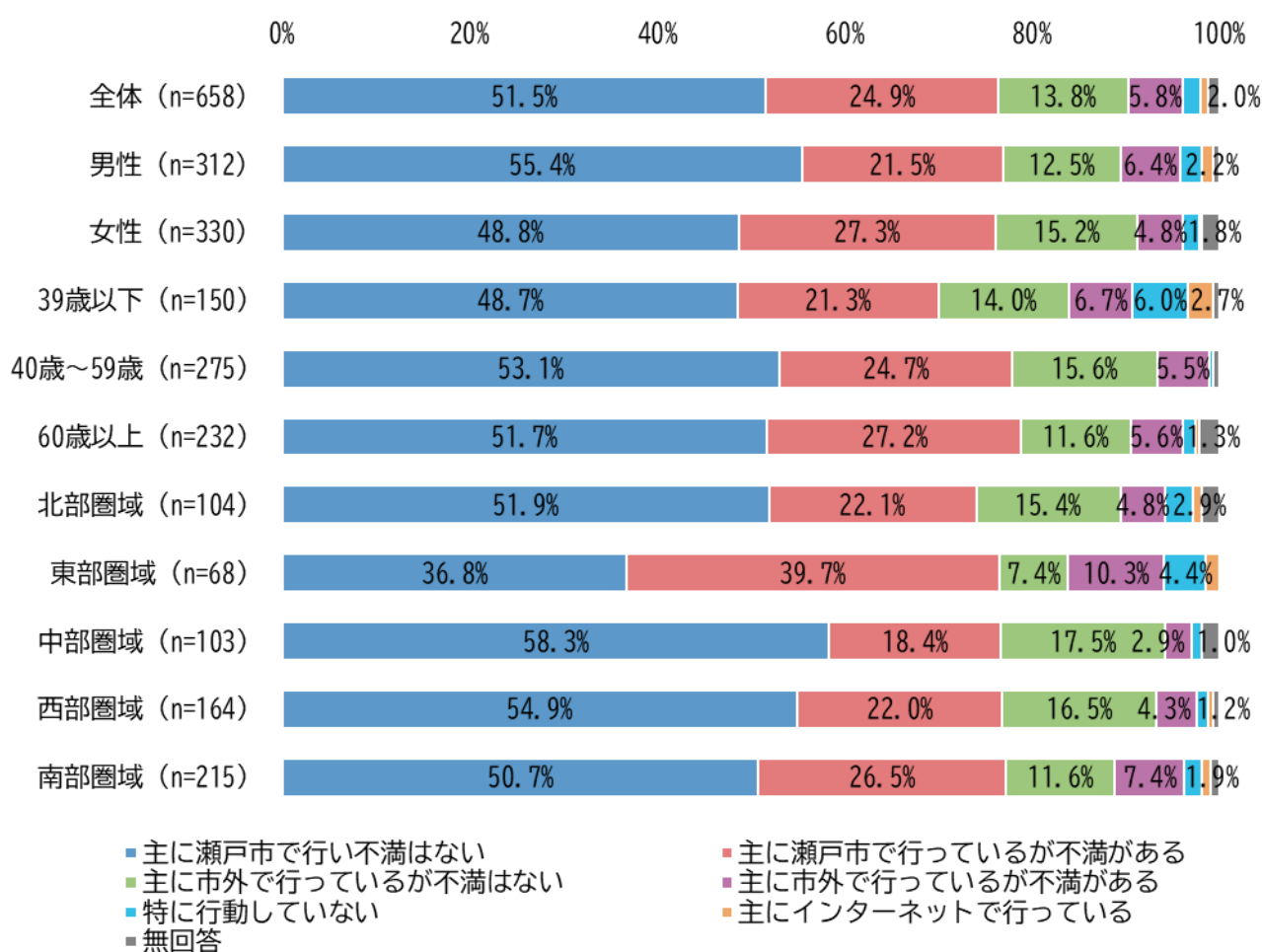


※「C 友人・知人・家族との外食」、「D スポーツ、アウトドア」、「F 友人・知人・家族との遊び」については、主にインターネットで行っているとする選択肢は設定していない。

問 12-A ふだんの食料品・日用品の購入。

- 全体では、「主に瀬戸市で行い不満はない」が 51.5%で最も多く、「主に瀬戸市で行っているが不満がある」(24.9%)が続く。
- 場所について性別による傾向の差はないが、女性の方が不満がある傾向にある。
- 場所について年齢別でみると、40～59 歳、60 歳以上が主に市内で行っており、満足度には大きな差はない。
- 場所について地域による傾向の差はないが、東部圏域において不満がある傾向が顕著である。

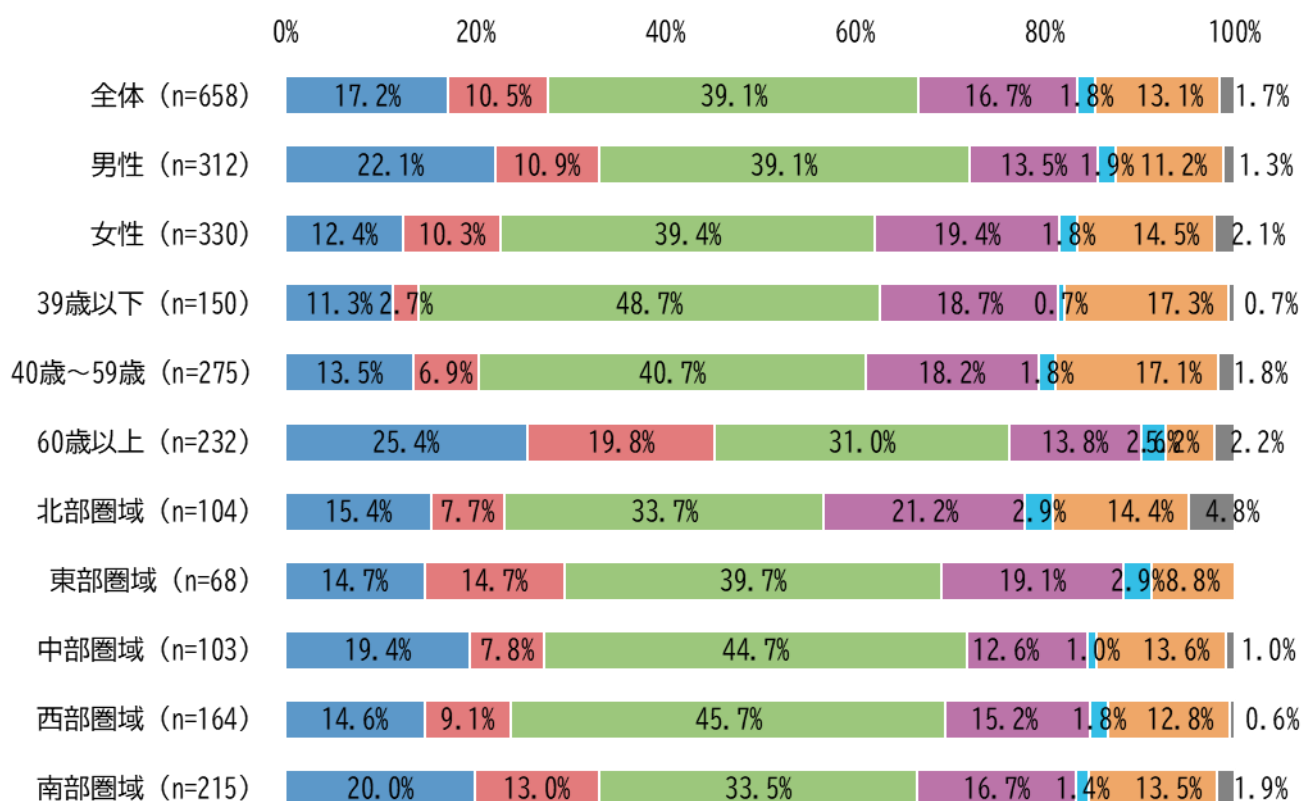
A ふだんの食料品・日用品の購入



問 12-B 洋服・雑貨の購入

- 全体では、「主に市外で行っているが不満はない」が 39.1%と最も多く、「主に市外で行っているが不満がある」(16.7%)が続く。
- 場所については女性の方が男性よりも主に市外で行っており、インターネットで行っている傾向もある。
- 場所について年齢別でみると、若年層になるほど主に市外で行っており、インターネットで行っている傾向もある。
- 場所について地域による傾向の差は大きくない。

B 洋服・雑貨の購入

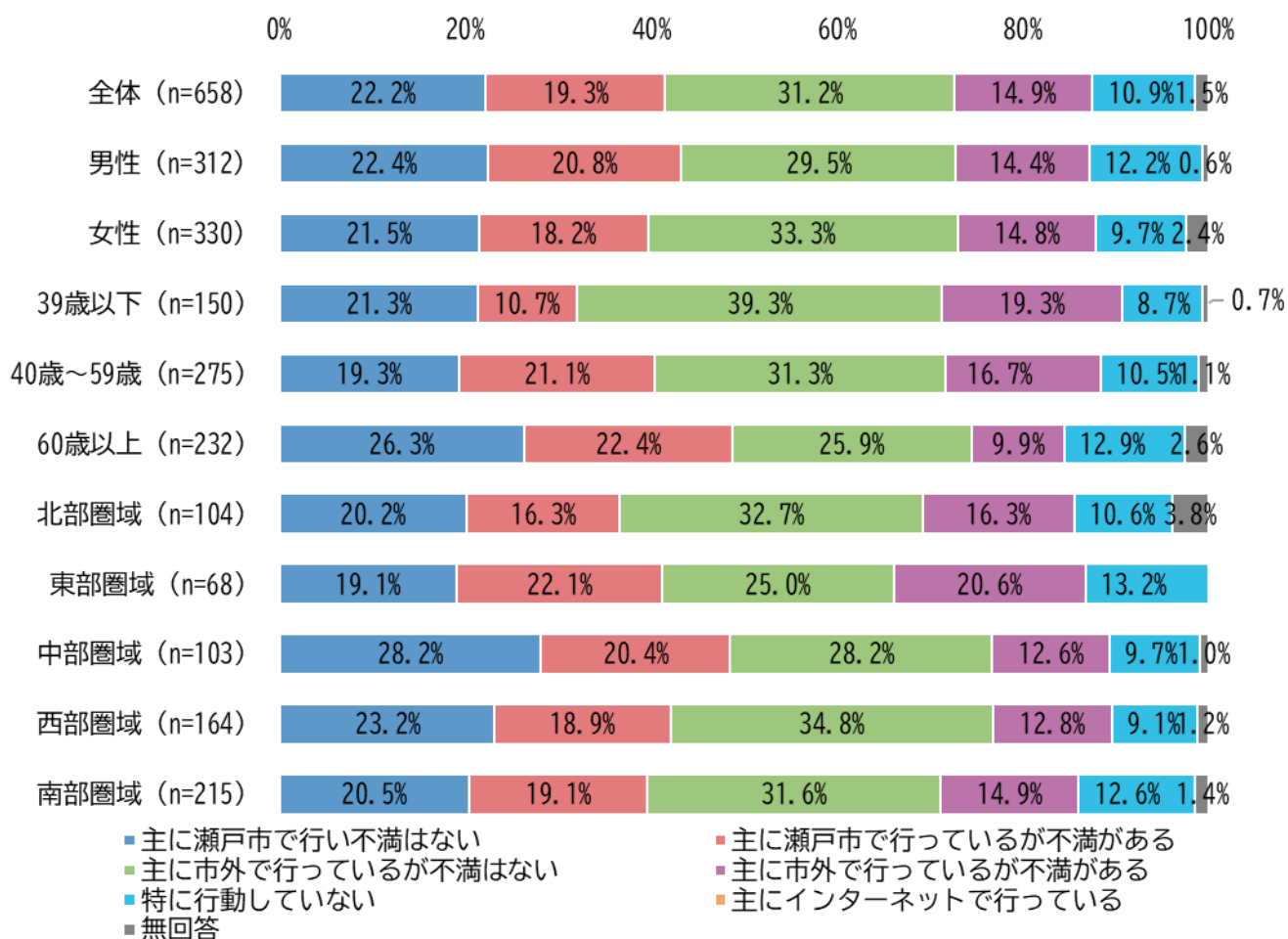


- 主に瀬戸市で行い不満はない
- 主に市外で行っているが不満はない
- 特に行動していない
- 無回答
- 主に瀬戸市で行っているが不満がある
- 主に市外で行っているが不満がある
- 主にインターネットで行っている

問 12-C 友人・知人・家族との外食

- 全体では、「主に市外で行っているが不満はない」が 31.2%で最も多く、「主に瀬戸市で行い不満はない」(22.2%)が続く。
- 場所について性別による傾向の差は大きくない。
- 場所について年齢別でみると、若年層になるほど主に市外で行っている傾向がある。
- 場所について地域別でみると、中部圏域において市内で行っている傾向がある。

C 友人・知人・家族との外食

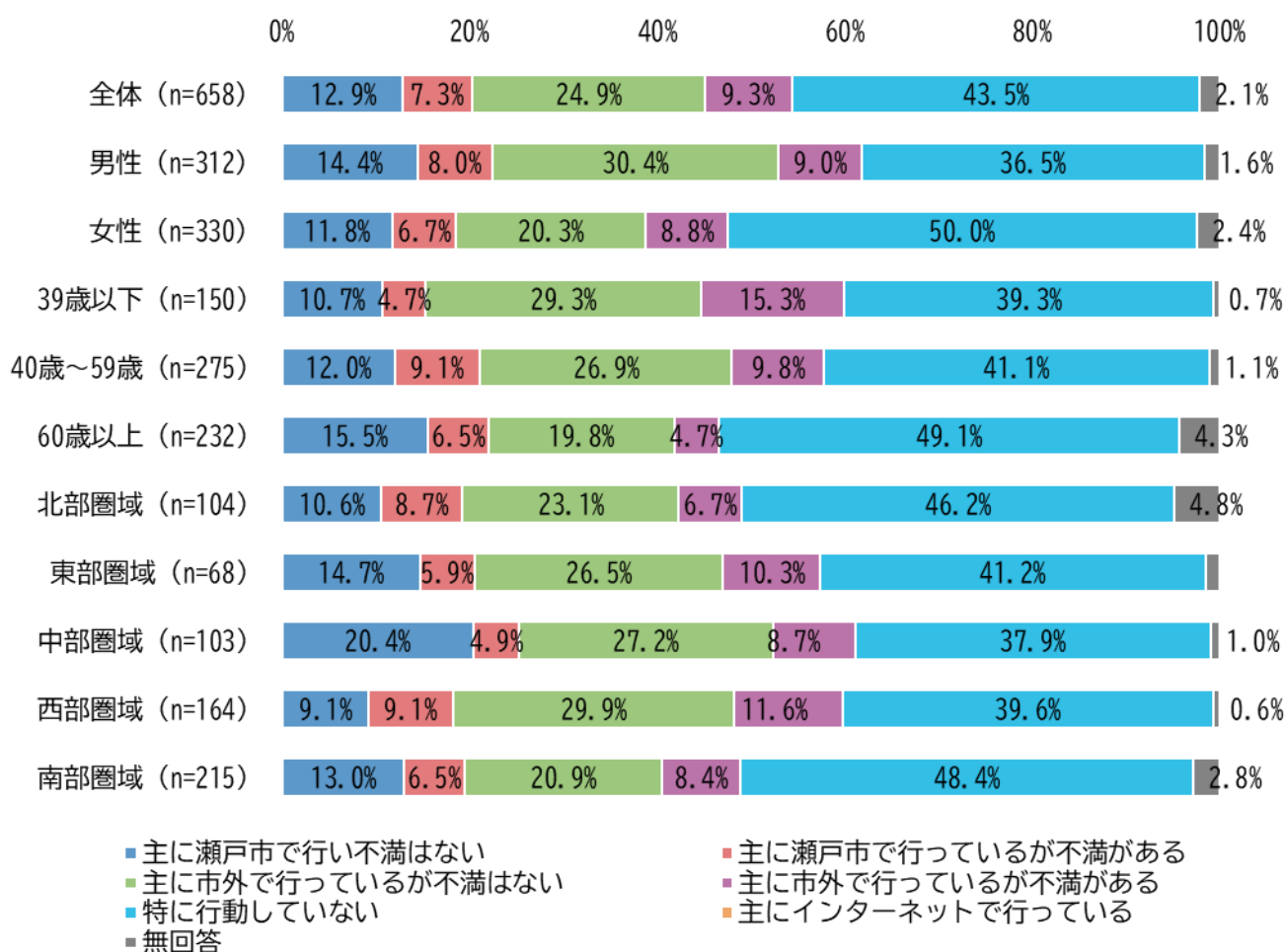


※主にインターネットで行っているとする選択肢は設定していない。

問 12-D スポーツ、アウトドア

- 全体では、「特に行動していない」が 43.5%で最も多く、「主に市外で行っているが不満はない」(24.9%)が続く。
- 男性の方が女性よりも行動している傾向があり、場所については主に市外で行っている傾向がある。
- 年齢別でみると、若年層になるほど行動している傾向があり、場所については主に市外で行っている傾向がある。
- 地域別でみると、中部圏域、西部圏域において行動している傾向があり、場所についてはいずれも主に市外で行っている傾向がある。

D スポーツ、アウトドア

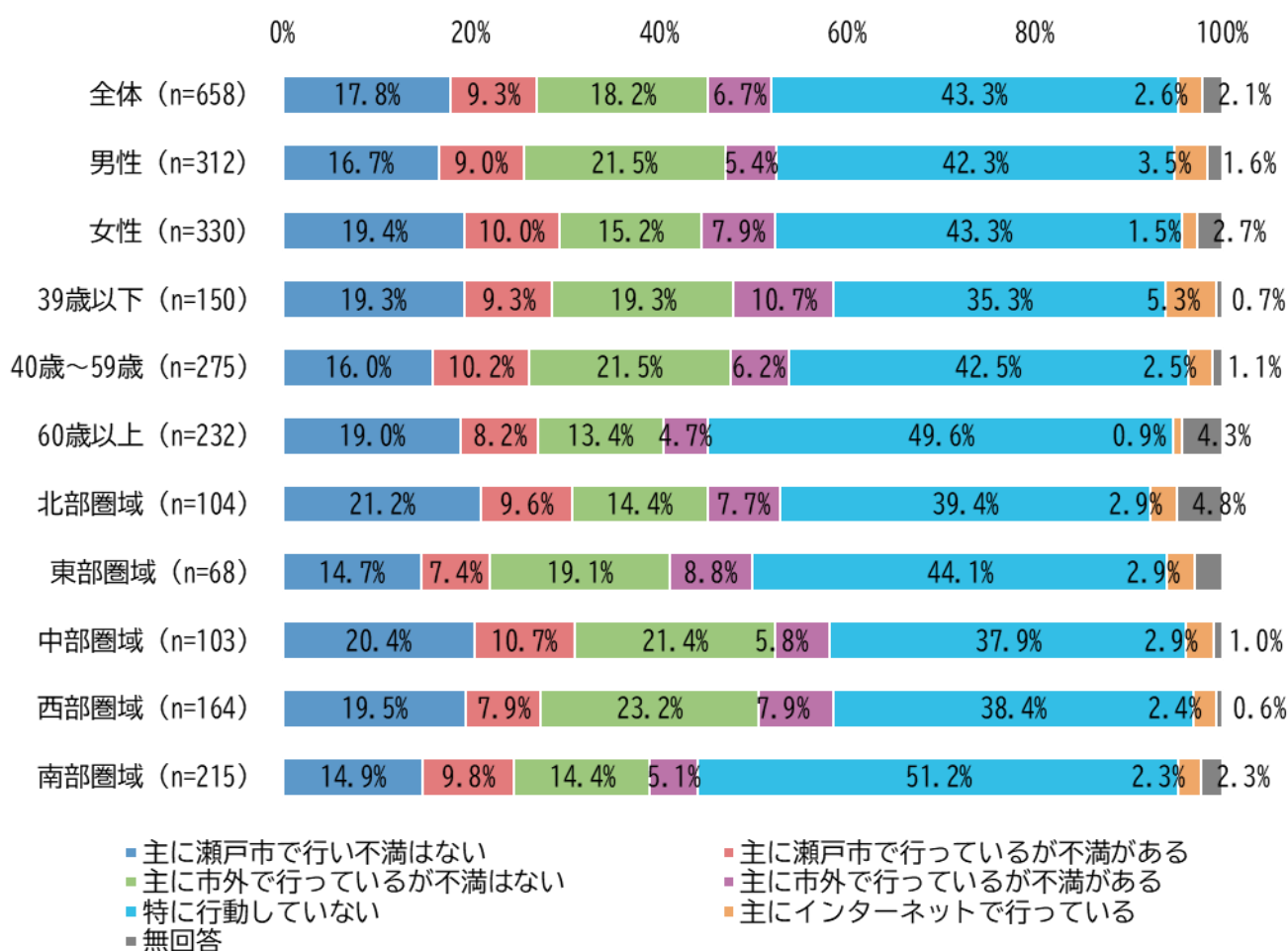


※主にインターネットで行っているとする選択肢は設定していない。

問 12-E 習いごと・趣味の活動

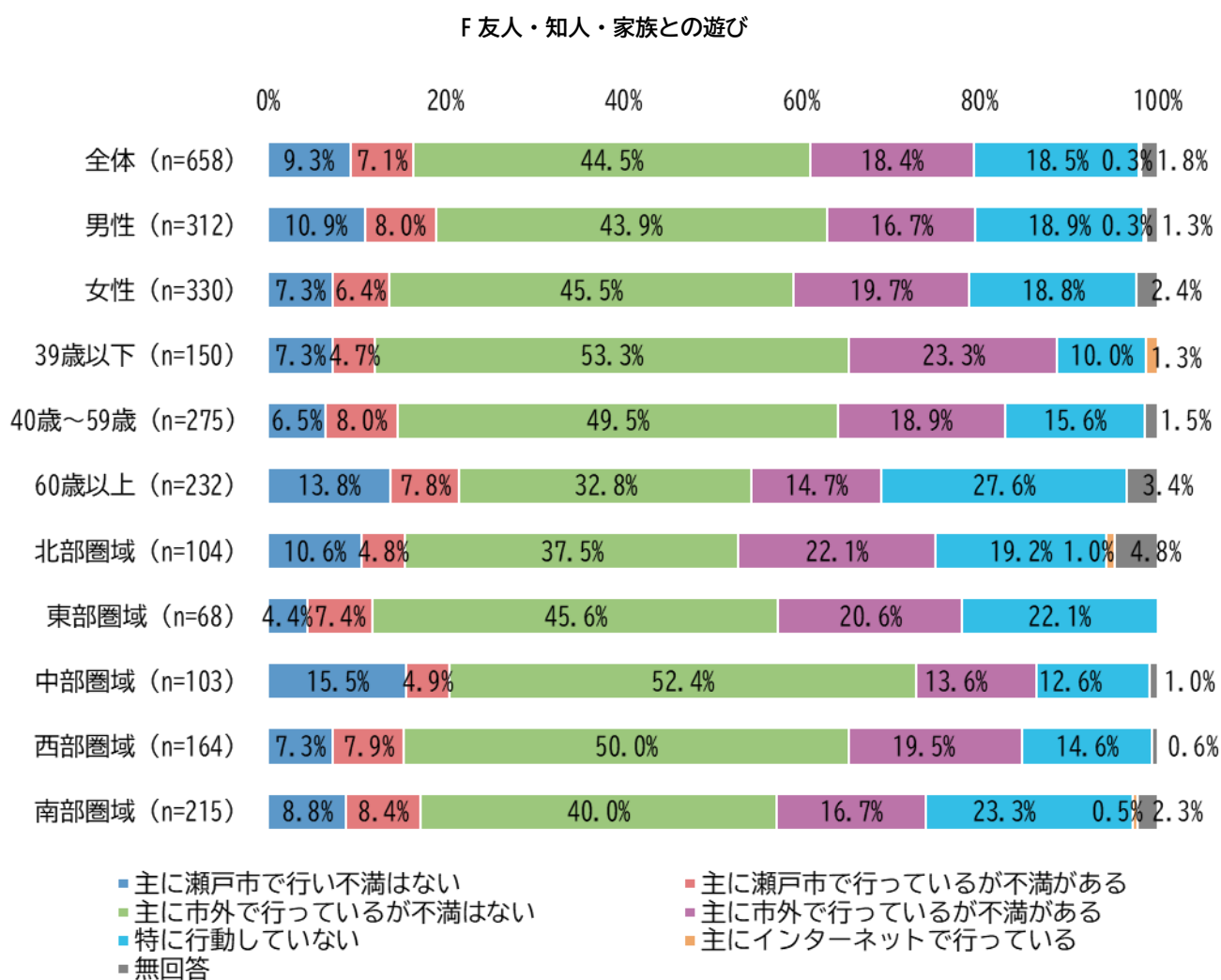
- 全体では、「特に行動していない」が 43.3%で最も多く、「主に市外で行っているが不満はない」(18.2%)が続く。
- 場所については、男性の方が女性よりも市内で行っている傾向がある。
- 年齢別でみると、若年層になるほど行動している傾向があり、場所については主に市外で行っている傾向がある。
- 地域別でみると、中部圏域、西部圏域において行動している傾向があり、場所についてはいずれも主にしない、市外の両方で行っている傾向がある。また、南部圏域においては特に行動していない傾向が顕著である。

E 習いごと・趣味の活動



問 12-F 友人・知人・家族との遊び

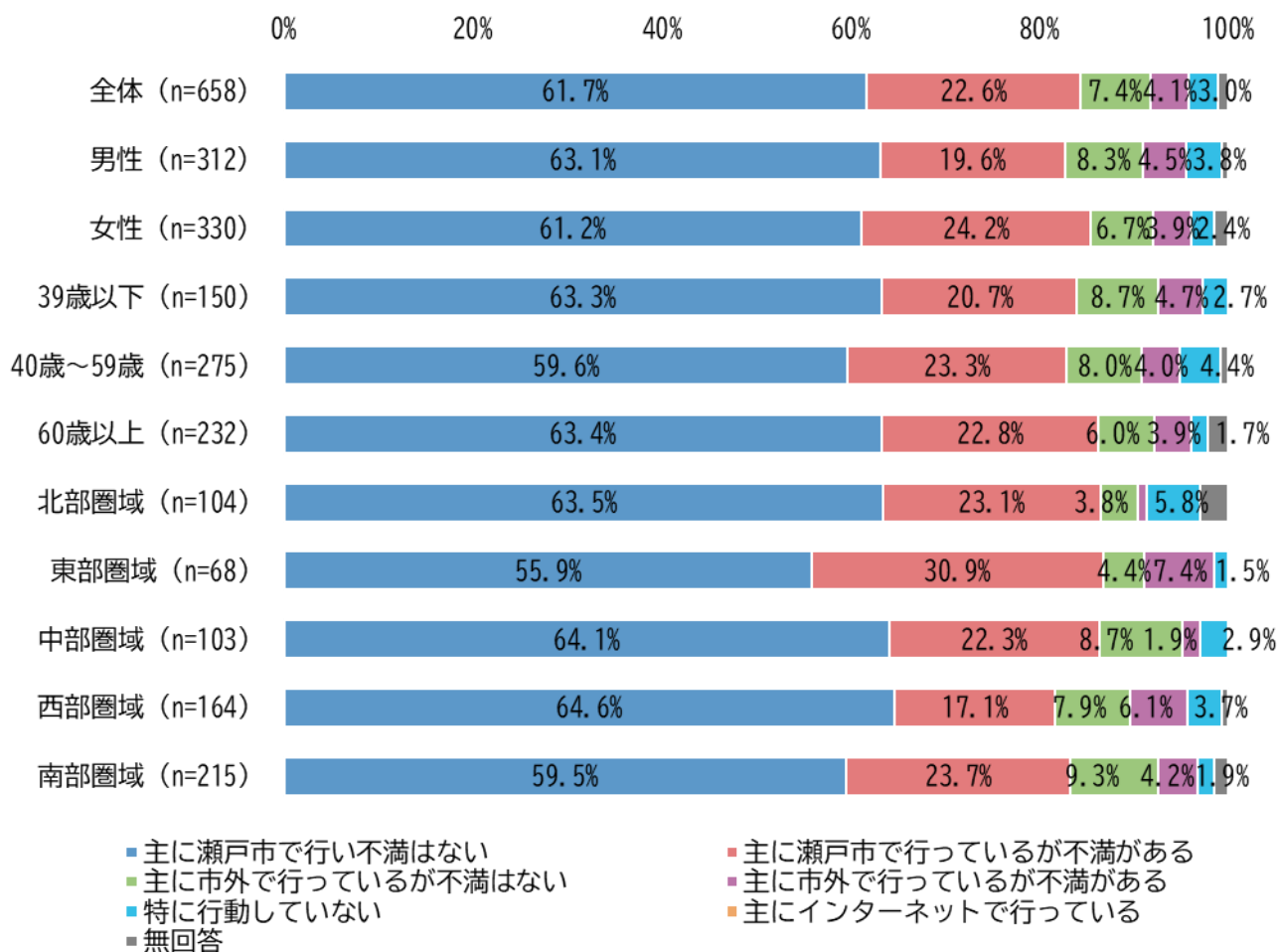
- 全体では、「主に市外で行っているが不満はない」が 44.5%と最も多く、「主に市外で行っているが不満がある」(18.4%)が続く。
- 場所については、女性の方が男性よりも比較的に市外で行っている傾向がある。
- 場所について年齢別でみると、若年層になるほど主に市外で行っている傾向がある。
- 場所について地域別でみると、中部圏域において市内で行っている傾向がある。



問 12-G 病院・診療所での診療

- 全体では、「主に瀬戸市で行い不満はない」が 61.7%と最も多く、「主に瀬戸市で行っているが不満がある」(22.6%)が続く。
- 場所について性別による傾向の差は大きくないが、女性の方が不満がある傾向にある。
- 場所について年齢による傾向の差は大きくない。
- 場所について地域による傾向の差は大きくないが、東部圏域において不満がある傾向にある。

G 病院・診療所での診療

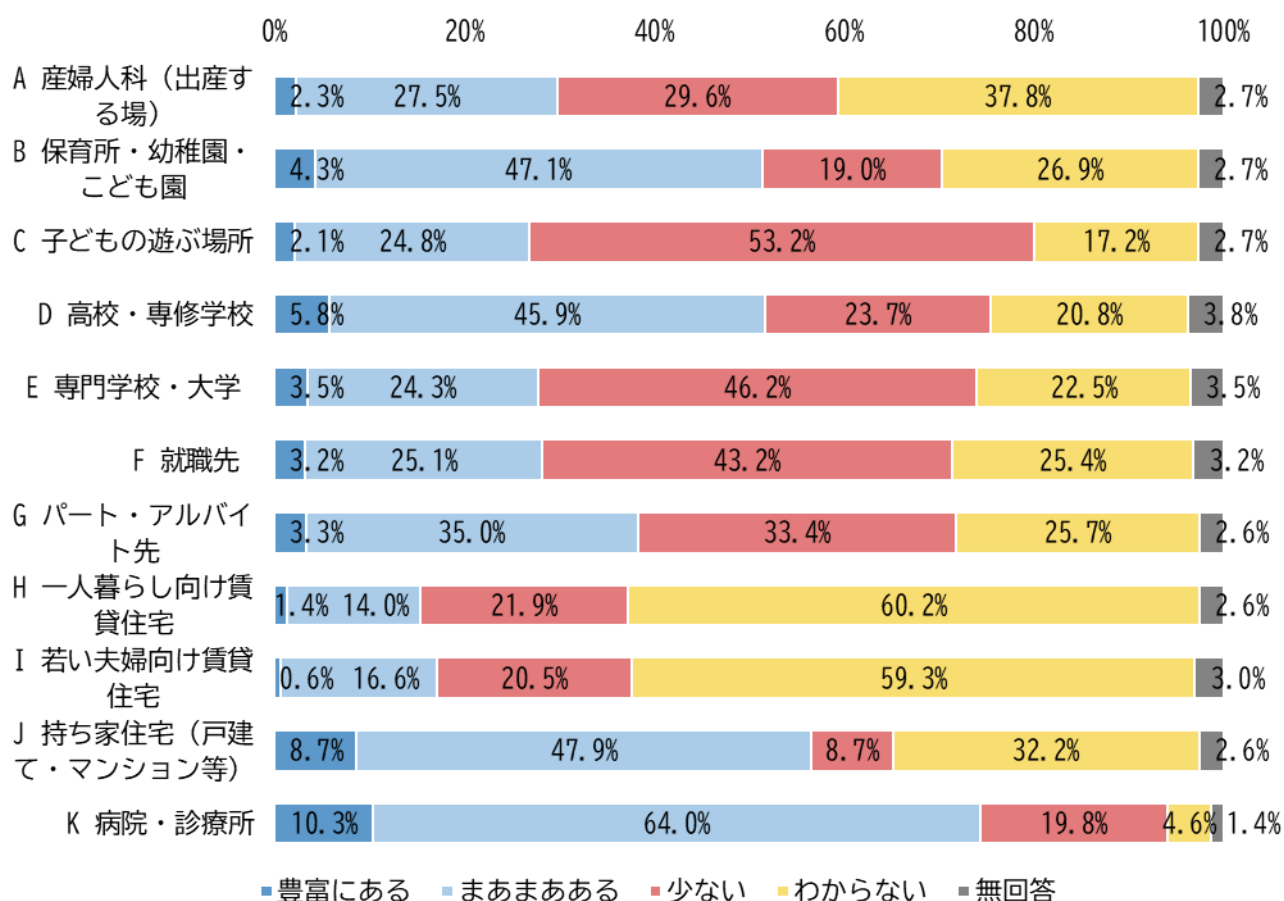


※主にインターネットで行っているとする選択肢は設定していない。

問 13 次のAからKに示す生活に関わる施設の瀬戸市内での選択肢について、あなたはどのように思いますか。それぞれについて1つずつ選んでください。(D～Gは市内から通える市外の場合も含みます)。

- 『ある』と回答した人が「少ない」と回答した人よりも明確に多い項目は、「B 保育所・幼稚園・こども園」、「D 高校・専修学校」、「G パート・アルバイト先」、「J 持ち家住宅（戸建て・マンション等）」、「K 病院・診療所」である。

各施設の瀬戸市内の選択肢 (n=658)

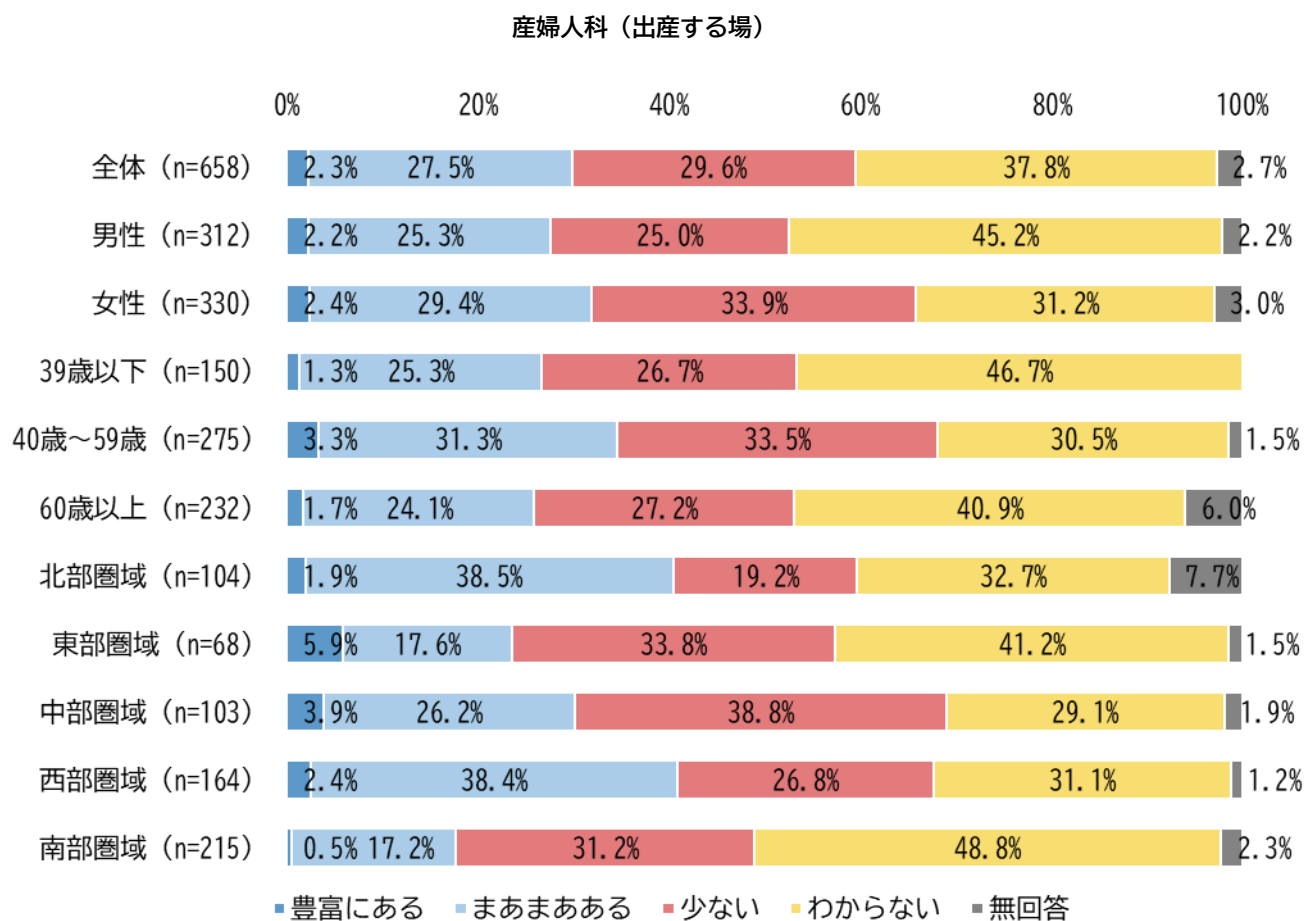


※1 「豊富にある」と「まあまあある」を合わせたものを『ある』として表記。

※2 「D 高校・専修学校」、「E 専門学校、大学」、「F 就職先」、「G パート・アルバイト先」には、市内から通える市外の場合も含む

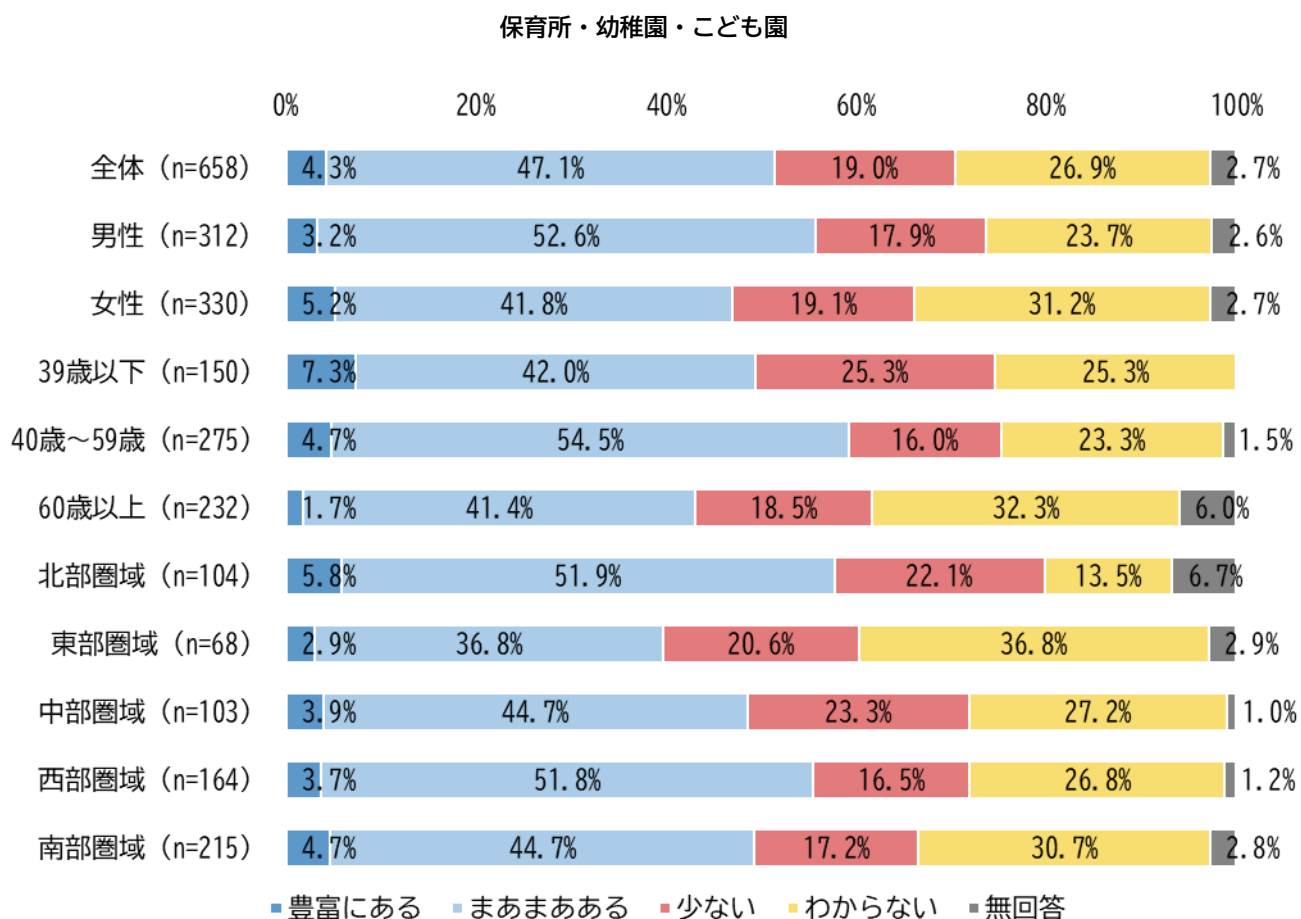
問 13-A 産婦人科（出産する場）

- 全体では、『ある』と「少ない」が同程度である。
- 南部圏域において、『ある』と回答した人が顕著に少ないが、「わからない」も最も多い。「少ない」が最も多いのは中部圏域である。



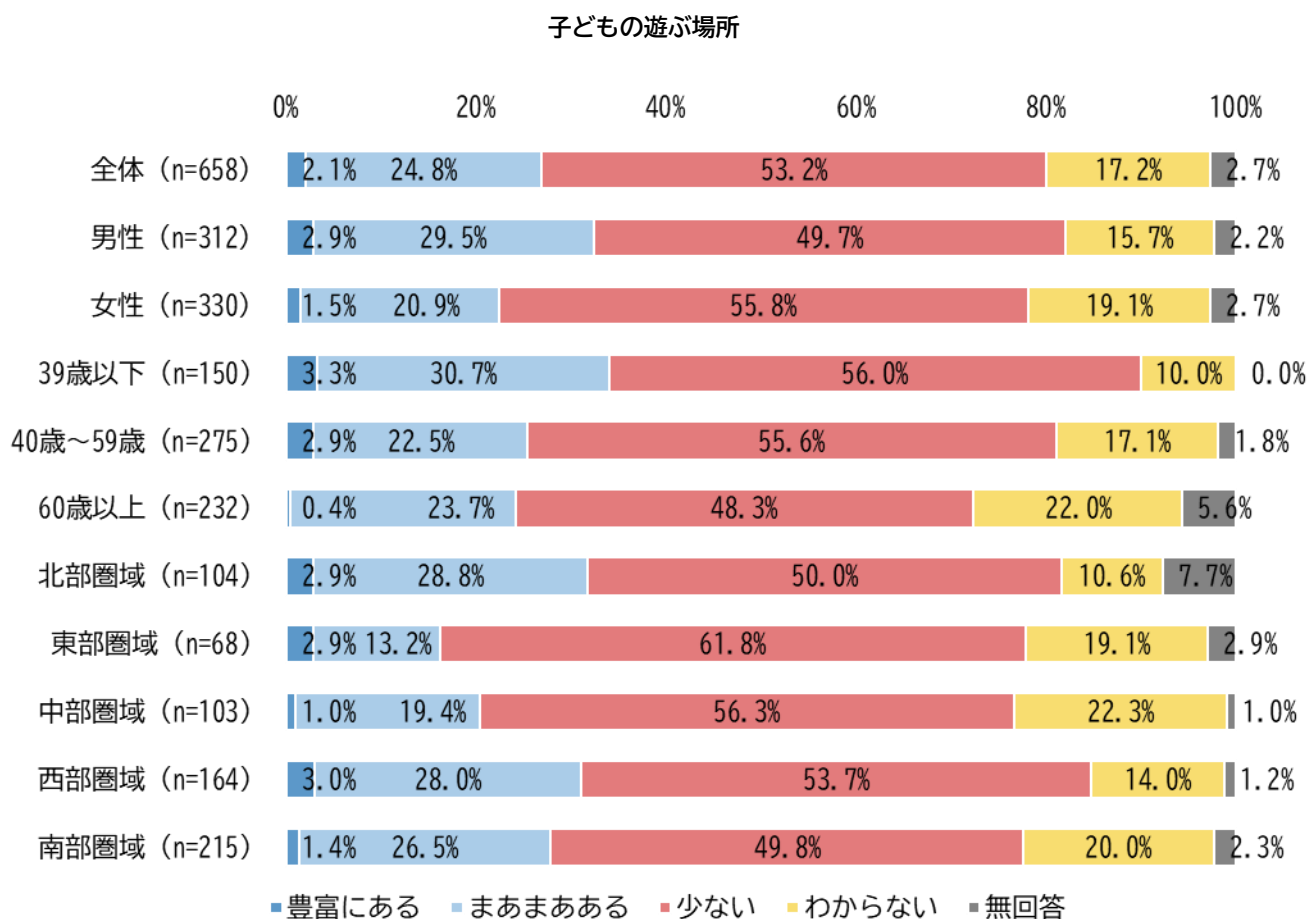
問 13-B 保育所・幼稚園・こども園

- 全体では、『ある』と回答した人が多い。
- 北部圏域において、『ある』と回答した人が多い。



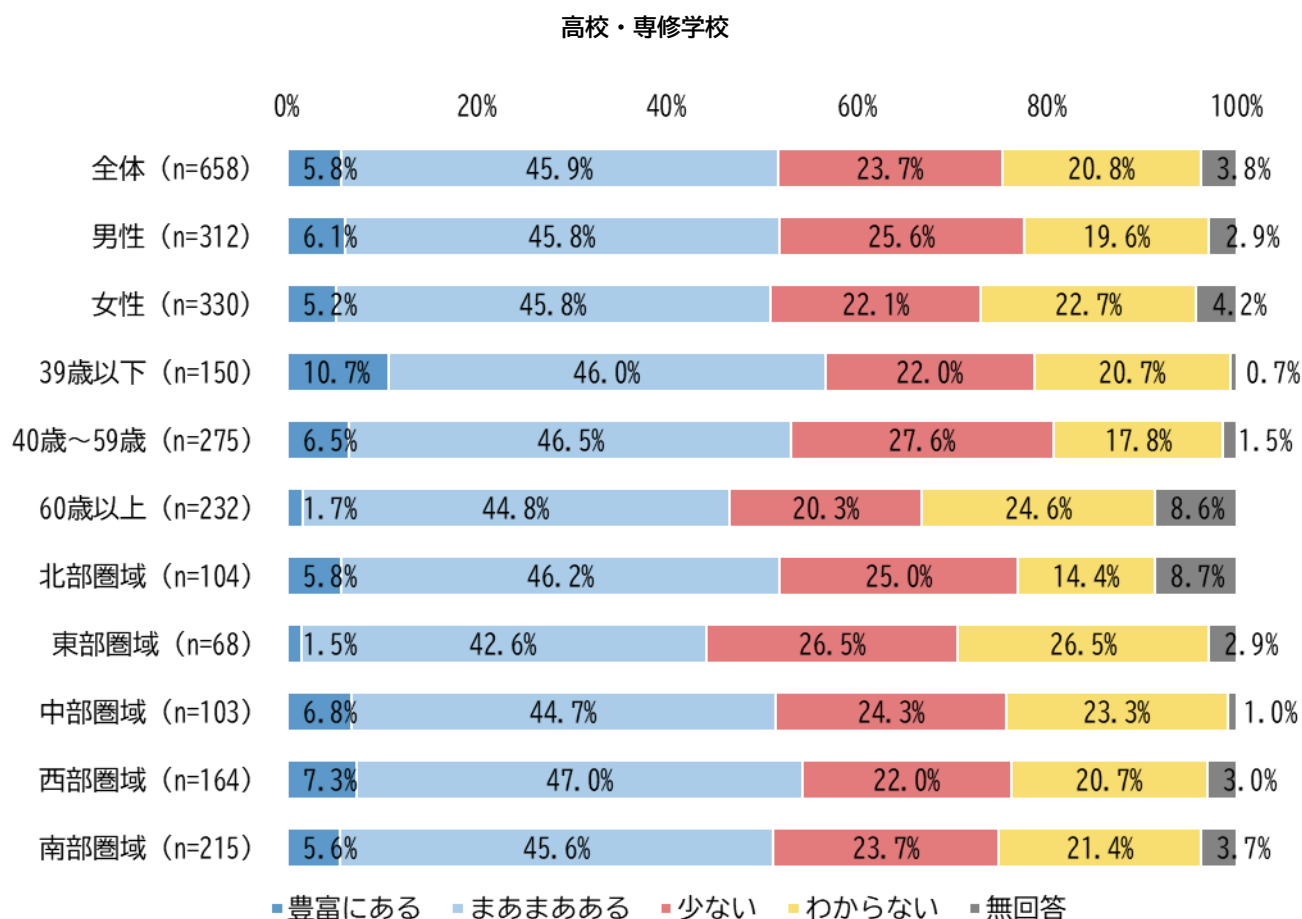
問 13-C 子どもの遊ぶ場所

- 全体では、「すくない」と回答した人が多い。
- 北部圏域、西部圏域において、『ある』と回答した人が比較的に多い。



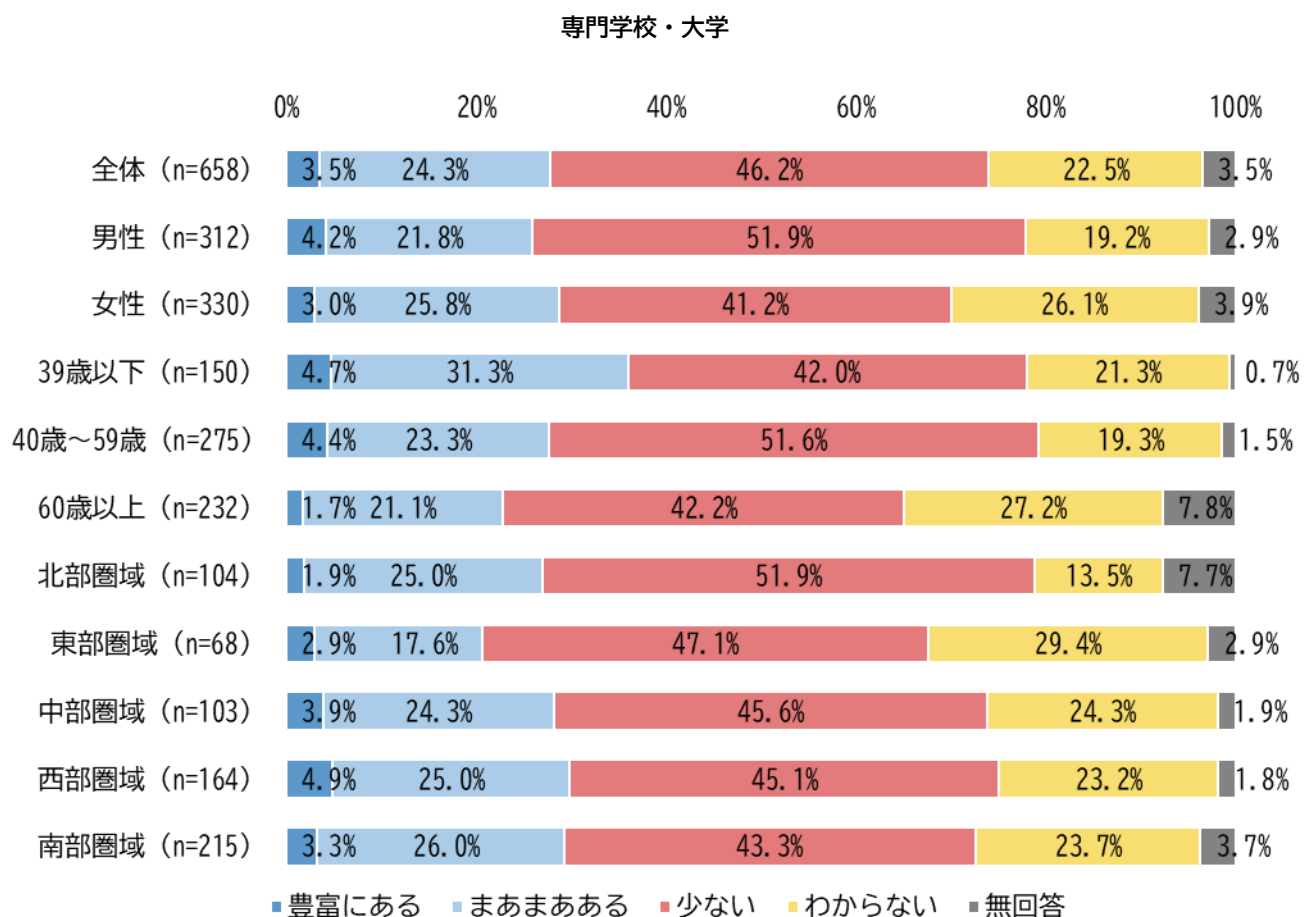
問 13-D 高校・専修学校

- 全体では、『ある』と回答した人が多い。
- 地域による傾向の差は大きくない。



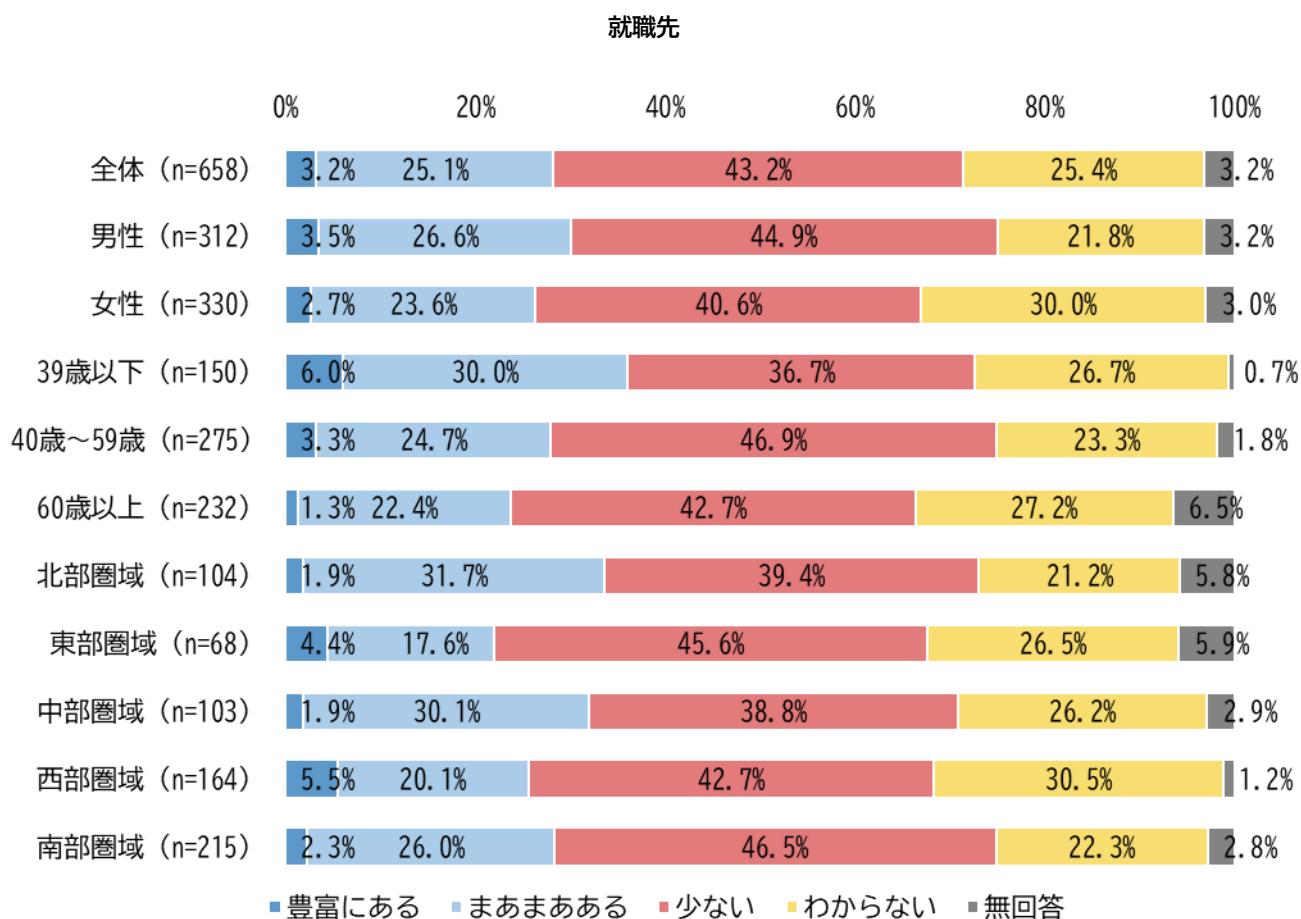
問 13-E 専門学校・大学

- 全体では、「少ない」と回答した人が多い。
- 東部圏域において、『ある』と回答した人が比較的に少ない。



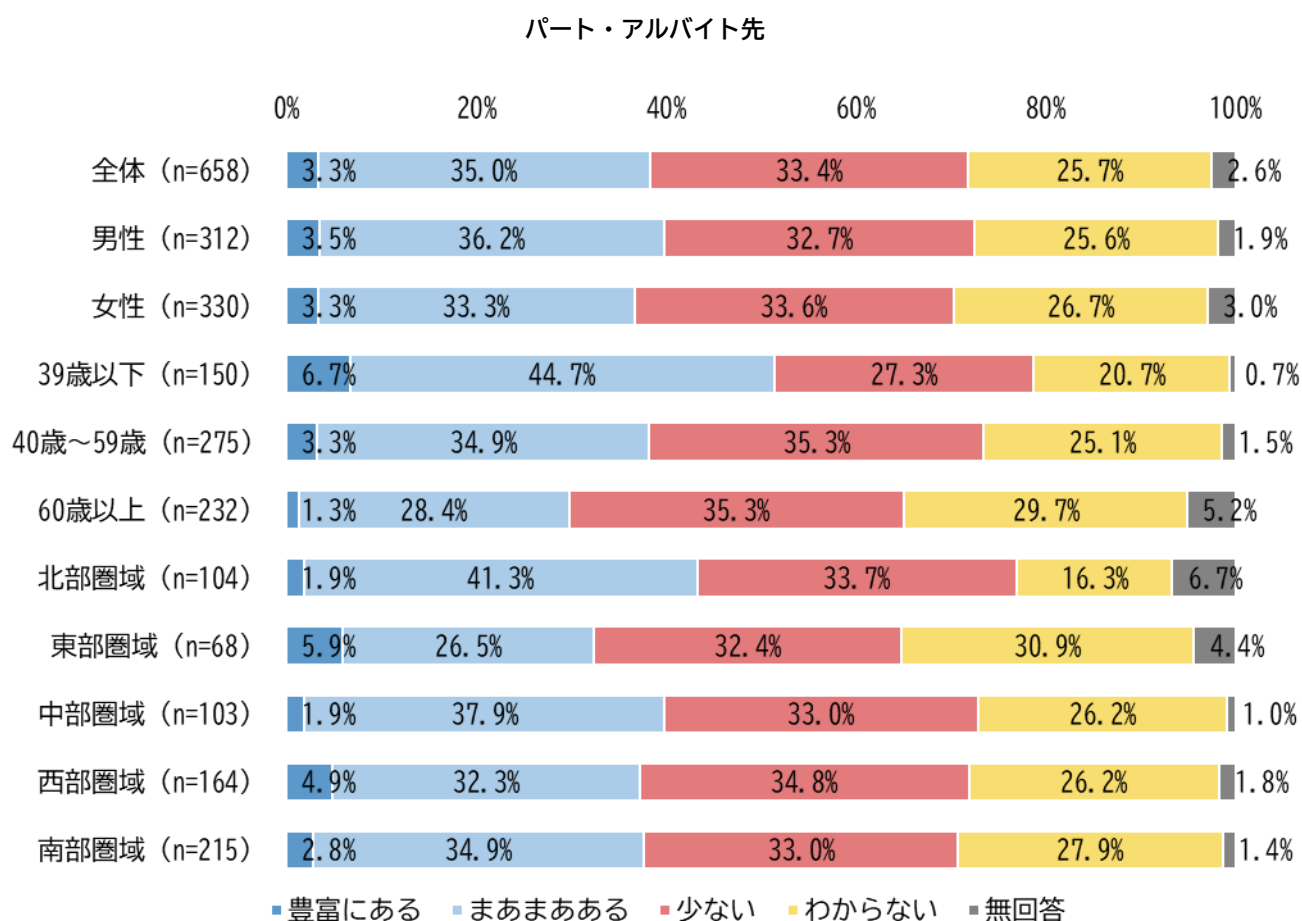
問 13-F 就職先

- 全体では、「少ない」と回答した人が多い。
- 東部圏域において、『ある』と回答した人が少ない。



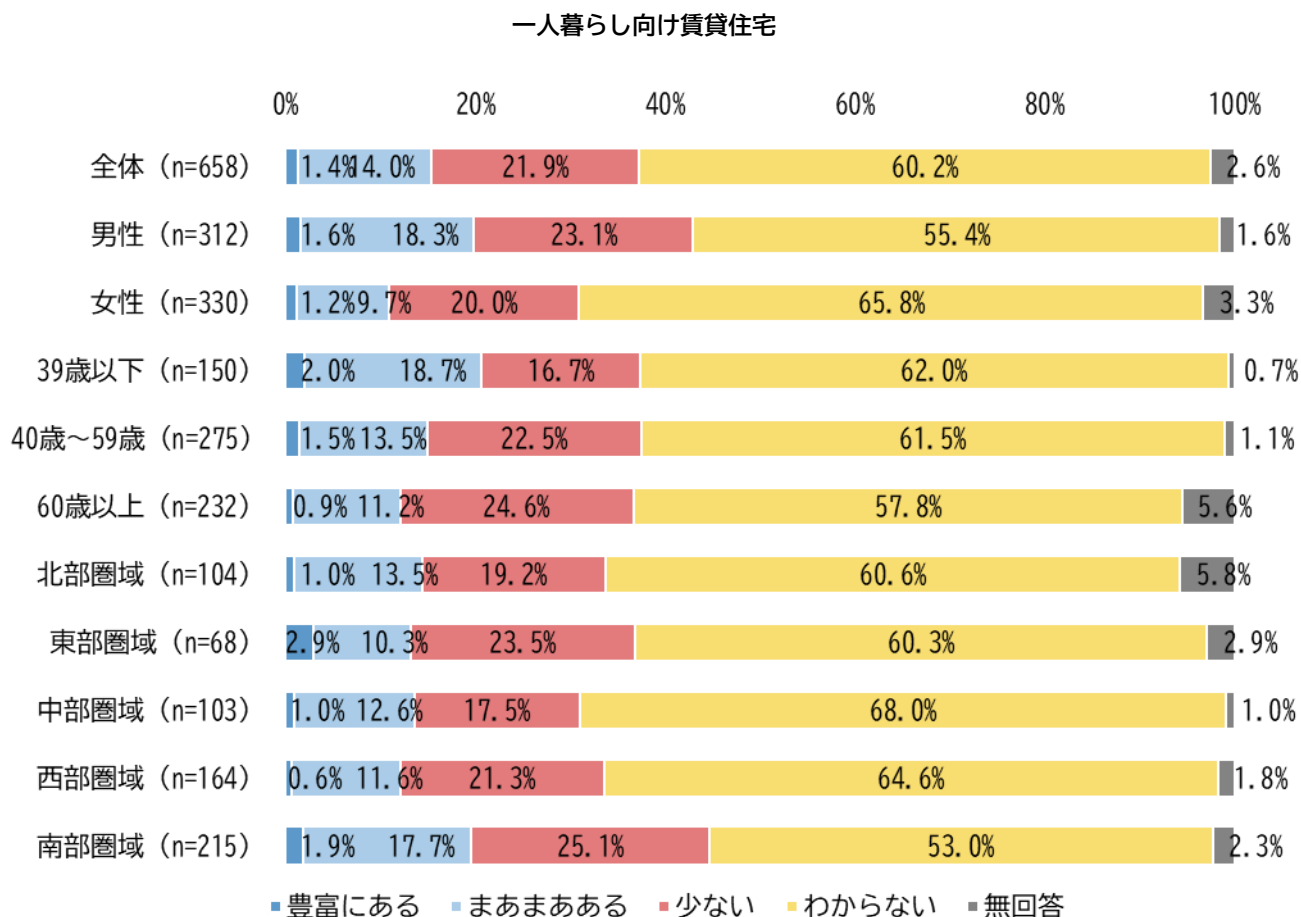
問 13-G パート・アルバイト先

- 全体では、『ある』と回答した人が比較的に多い。
- 39歳以下において、『ある』と回答した人が多い。
- 東部圏域において、『ある』と回答した人が比較的に少ない。



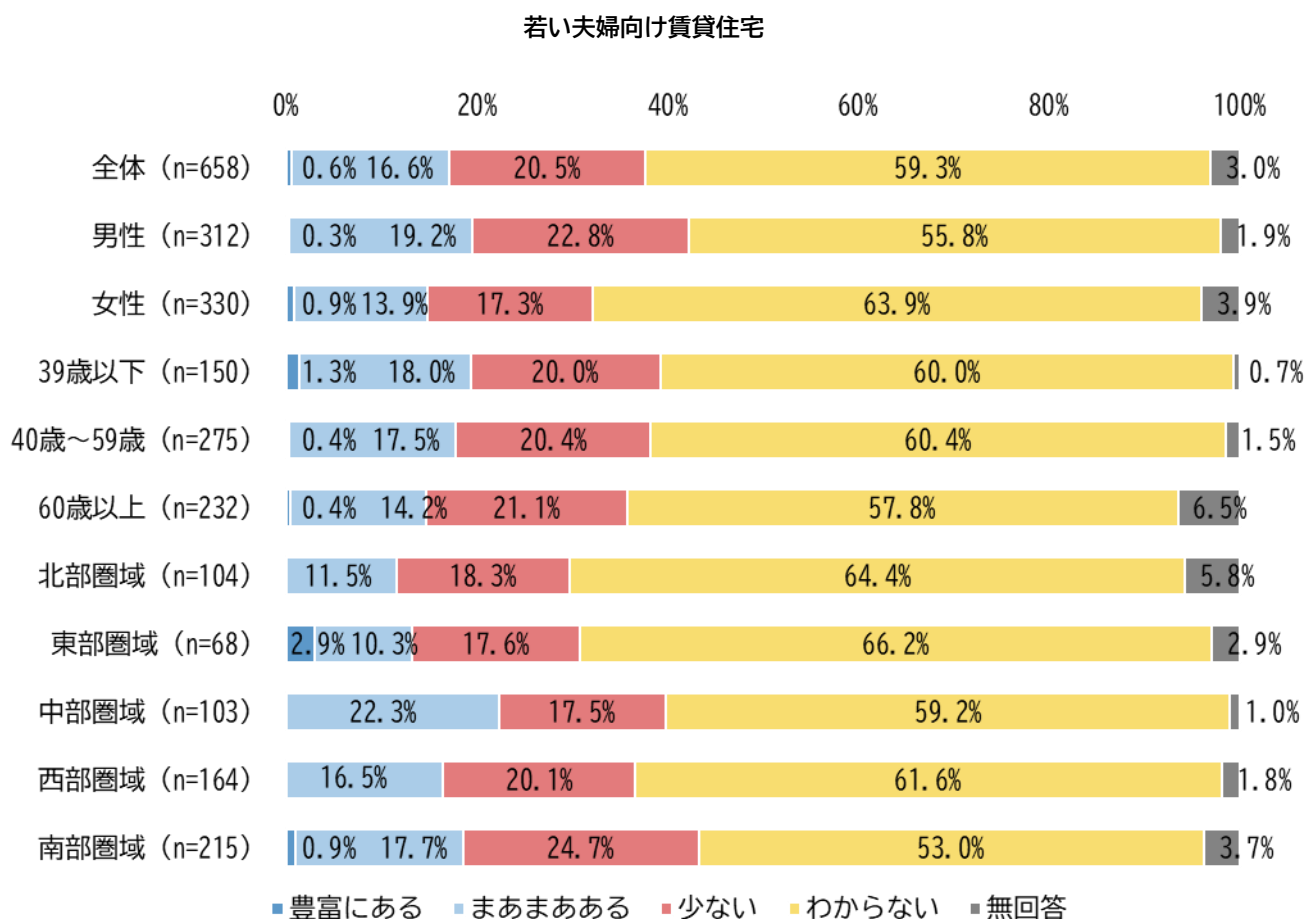
問 13-H 一人暮らし向け賃貸住宅

- 全体的に「わからない」と回答した人が多い。
- 南部圏域において、『ある』と回答した人が多い。



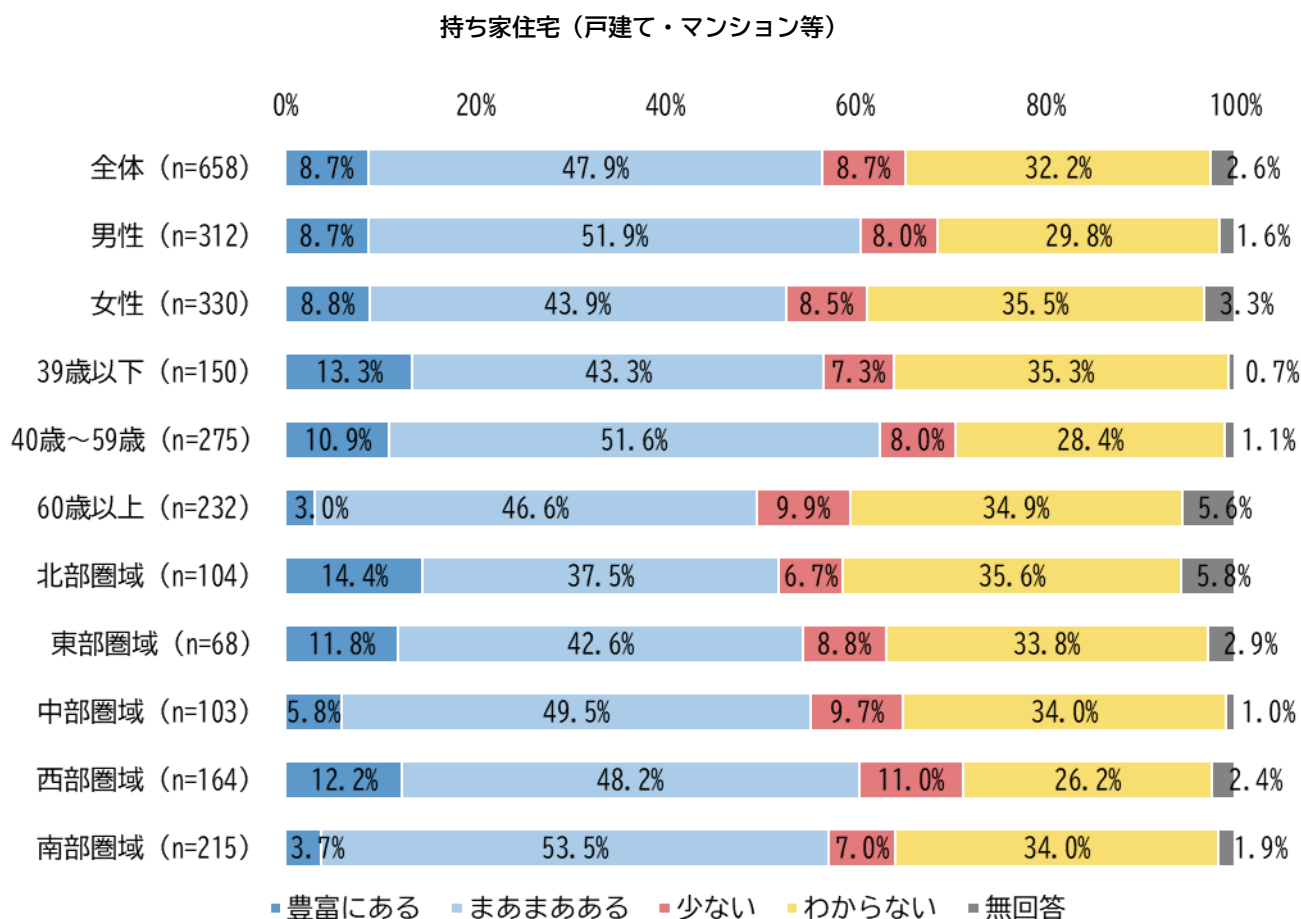
問 13-I 若い夫婦向け賃貸住宅

- 全体的に「わからない」と回答した人が多い。
- 中部圏域において、『ある』と回答した人が多い。



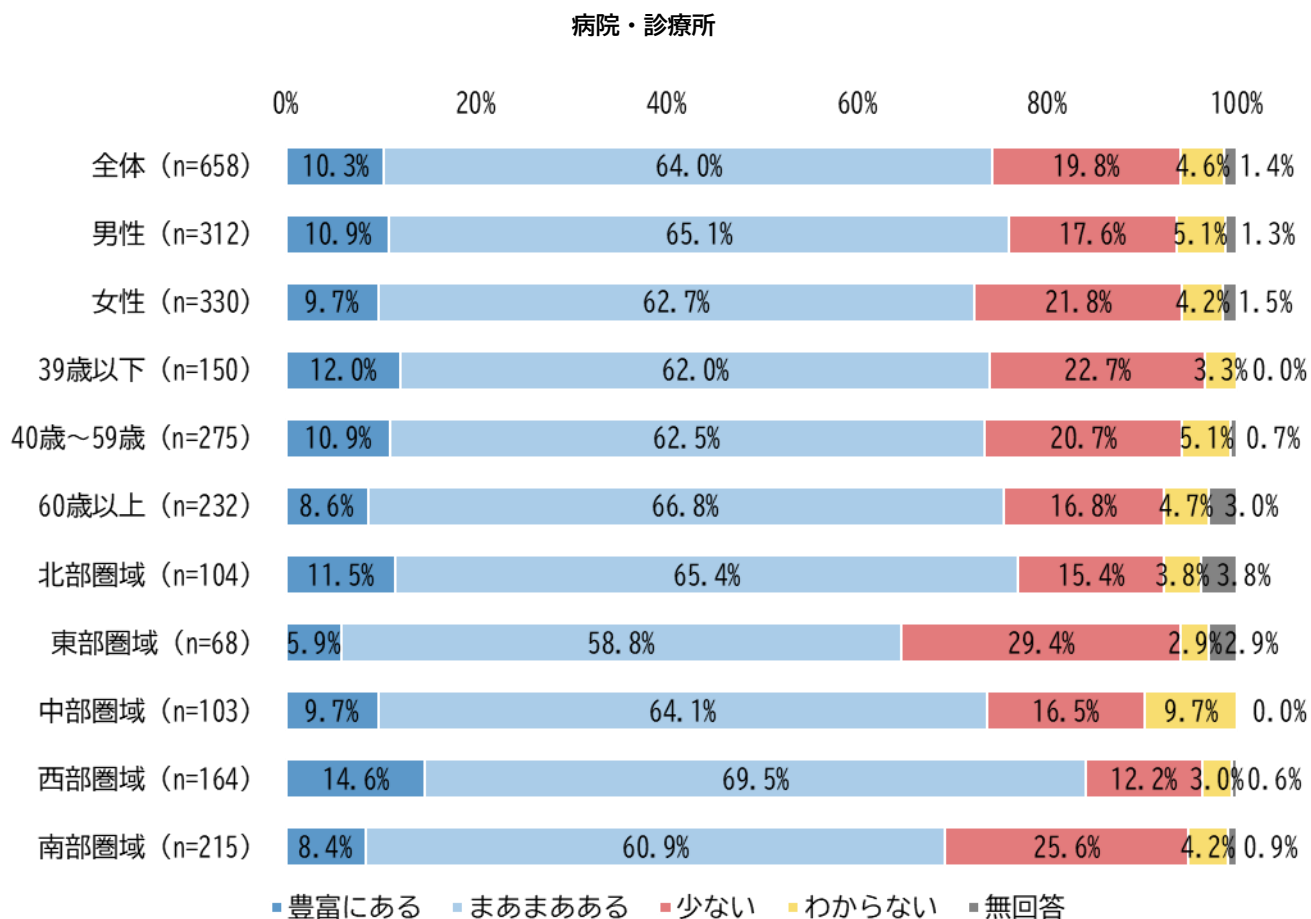
問 13-J 持ち家住宅（戸建て・マンション等）

- 全体では、『ある』と回答した人が多い。
- 西部圏域において、『ある』と回答した人が比較的に多い。



問 13-K 病院・診療所

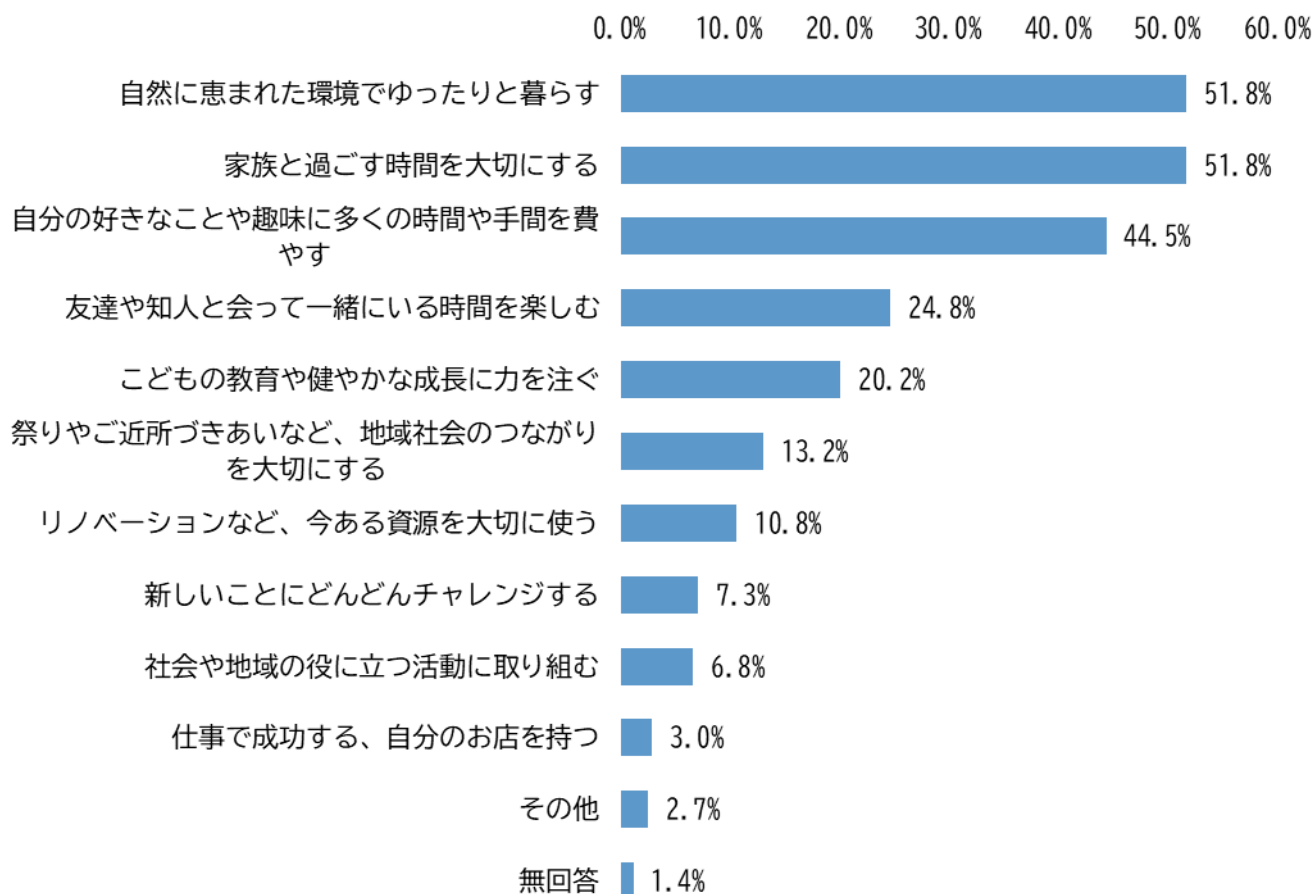
- 全体では、『ある』と回答した人が多い。
- 東部圏域において、『ある』と回答した人が比較的に少ない。



問 14 あなたは瀬戸市でどのような暮らし方を希望しますか。（3つまで）

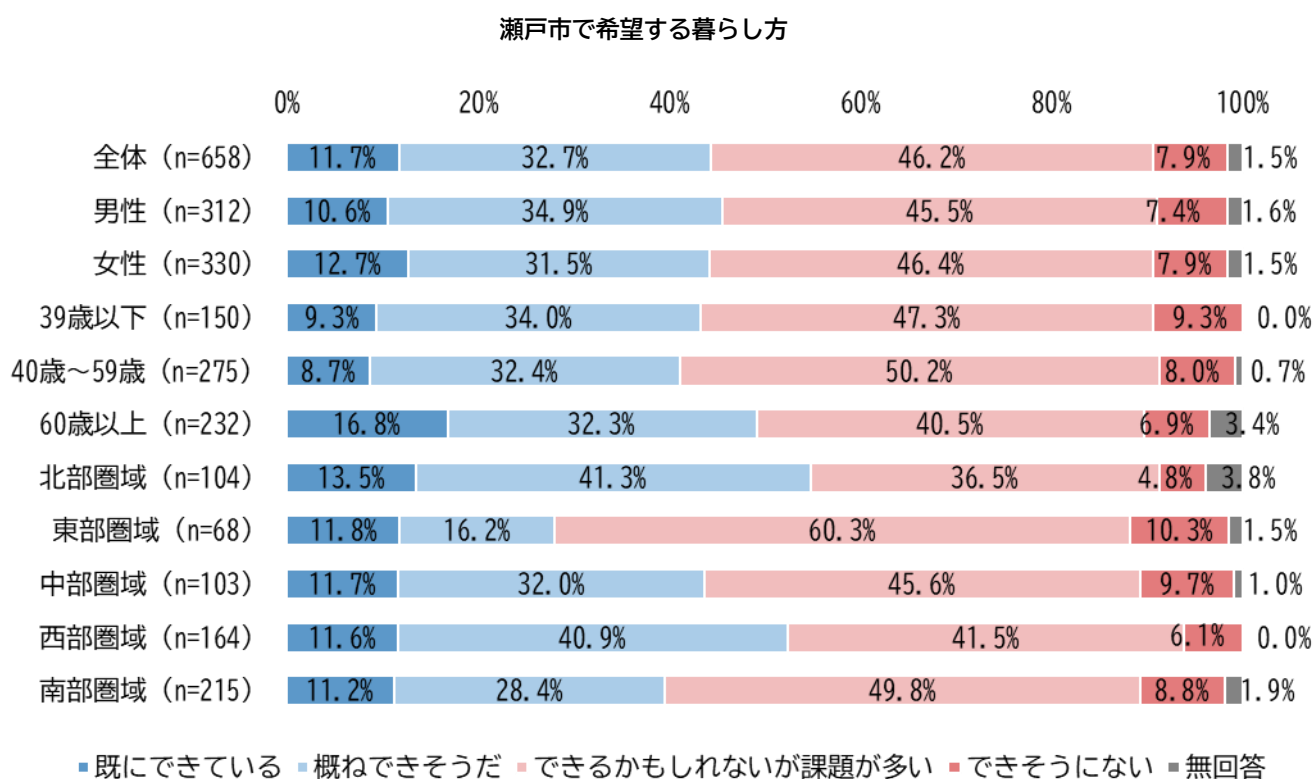
- 「自然に恵まれた環境でゆったりと暮らす」、「家族と過ごす時間を大切にする」が 51.8%で最も多く、「自分の好きなことや趣味に多くの時間や手間を費やす」（44.5%）が続く。

瀬戸市で希望する暮らし方（n=658）



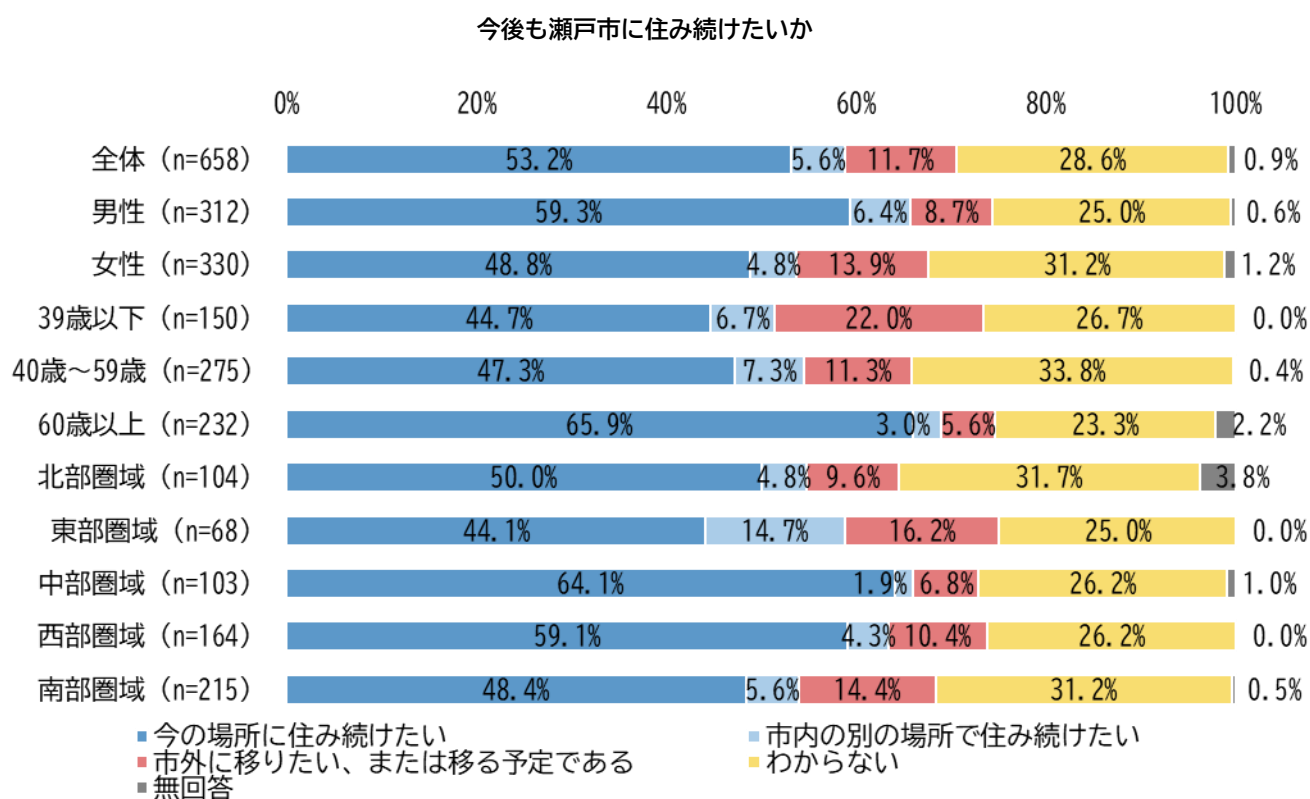
問 15 問 14 で選択した希望する暮らし方について、あなたは瀬戸市で実現できますか。

- 全体では、「既にできている」、「概ねできそう」の合計が 44.4%であるのに対し、「できるかもしれないが課題が多い」（46.2%）が上回っている。
- 性別による傾向の差は大きくない。
- 年齢別でみると、60 歳以上において「既にできている」が最も多い。
- 地域別で見ると、東部圏域において「できるかもしれないが課題が多い」が顕著に多い。



問 16 あなたは、今後も瀬戸市に住み続けたいですか。

- 全体では、「今の場所に住み続けたい」が 53.2%で最も多い。
- 男性の方が女性よりも「今の場所に住み続けたい」が多い。
- 年齢別でみると、60 歳以上において「今の場所に住み続けたい」が最も多い。また、39 歳以下において、「市外に移りたい、または移る予定である」顕著に多い。
- 地域別で見ると、中部圏域において「今の場所に住み続けたい」が最も多い。



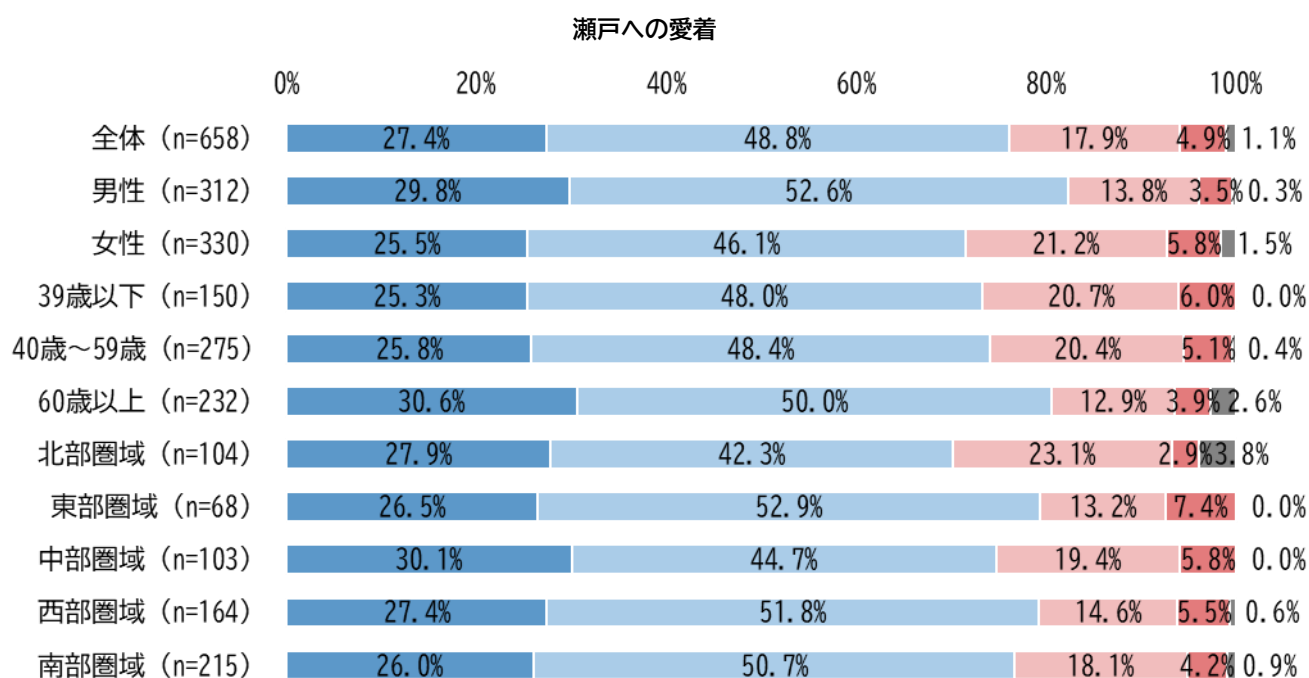
経年比較

	今の場所に住み続けたい	市内の別の場所で住み続けたい	市外に移りたい、または移る予定である	わからない	無回答
R7 (n=658)	53.2%	5.6%	11.7%	28.6%	0.9%
R4 (n=847)	53.5%	9.3%	10.7%	26.4%	0.0%
R1 (n=888)	55.2%	6.1%	10.9%	27.7%	0.1%

6. 瀬戸市に対する愛着やイメージについて

問 17 あなたは、瀬戸市に愛着がありますか。

- 全体では、『愛着がある』が76.2%を占めている。
- 男性の方が女性よりも『愛着がある』が多い傾向がある。
- 年齢別でみると、年齢の増加に伴って『愛着がある』が多くなる傾向がある。
- 地域による傾向の差は大きくないが、北部圏域において『愛着はない』が比較的に多い。



■ 愛着がある ■ まあまあ愛着がある ■ あまり愛着はない ■ 愛着はない ■ 無回答

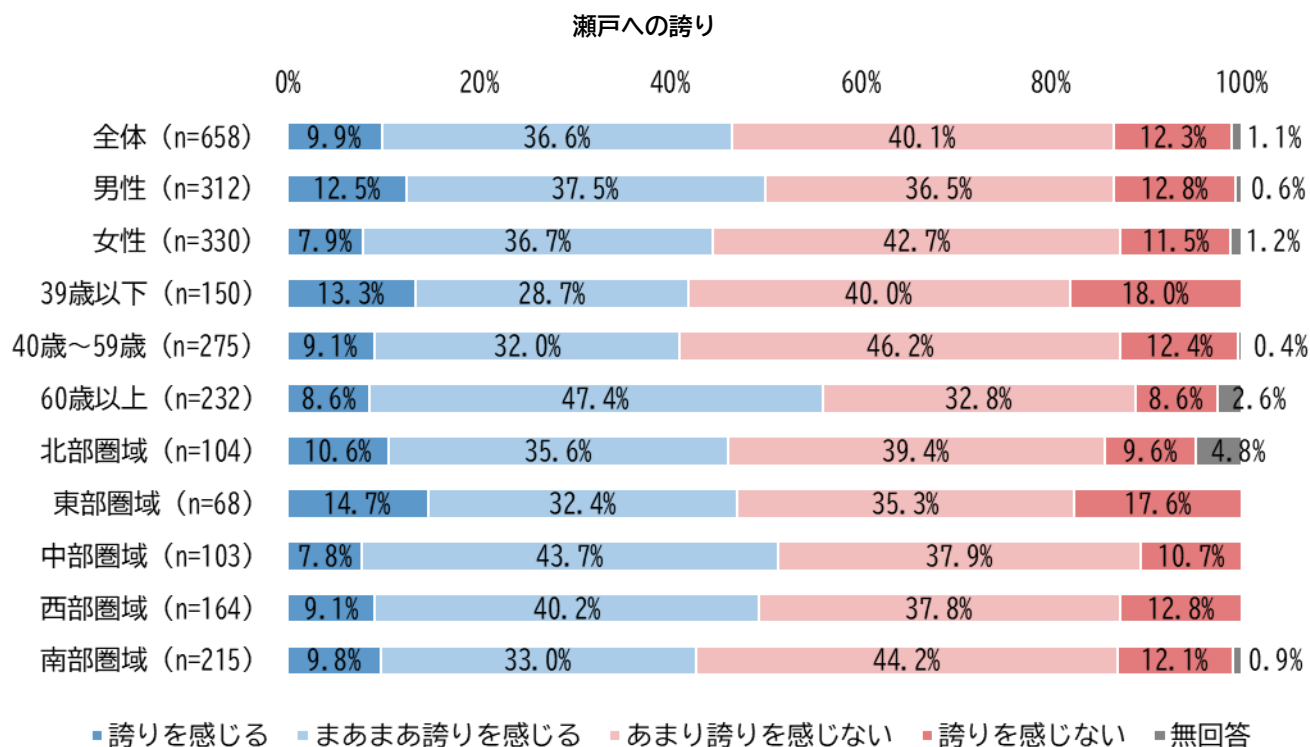
※「愛着がある」と「まあまあ愛着がある」を合わせたものを『愛着がある』、「愛着はない」、「あまり愛着はない」を合わせたものを『愛着はない』として表記

経年比較

	愛着がある	まあまあ愛着がある	あまり愛着はない	愛着はない	無回答
R7 (n=658)	27.4%	48.8%	17.9%	4.9%	1.1%
R4 (n=847)	30.1%	47.1%	15.9%	6.8%	0.0%
R1 (n=888)	29.6%	44.8%	19.3%	6.2%	0.1%

問 18 あなたは、瀬戸市に住んでいること、瀬戸市民であることに誇りを感じますか。

- 全体では、『誇りを感じない』が 52.4%を占めており、『誇りを感じる』(46.5%)を上回っている。
- 男性の方が女性よりも『誇りを感じる』が多い傾向がある。
- 年齢別でみると、60 歳以上において『誇りを感じる』が顕著に多い。
- 地域による傾向の差は大きくないが、南部圏域において『誇りを感じない』が比較的に多い。

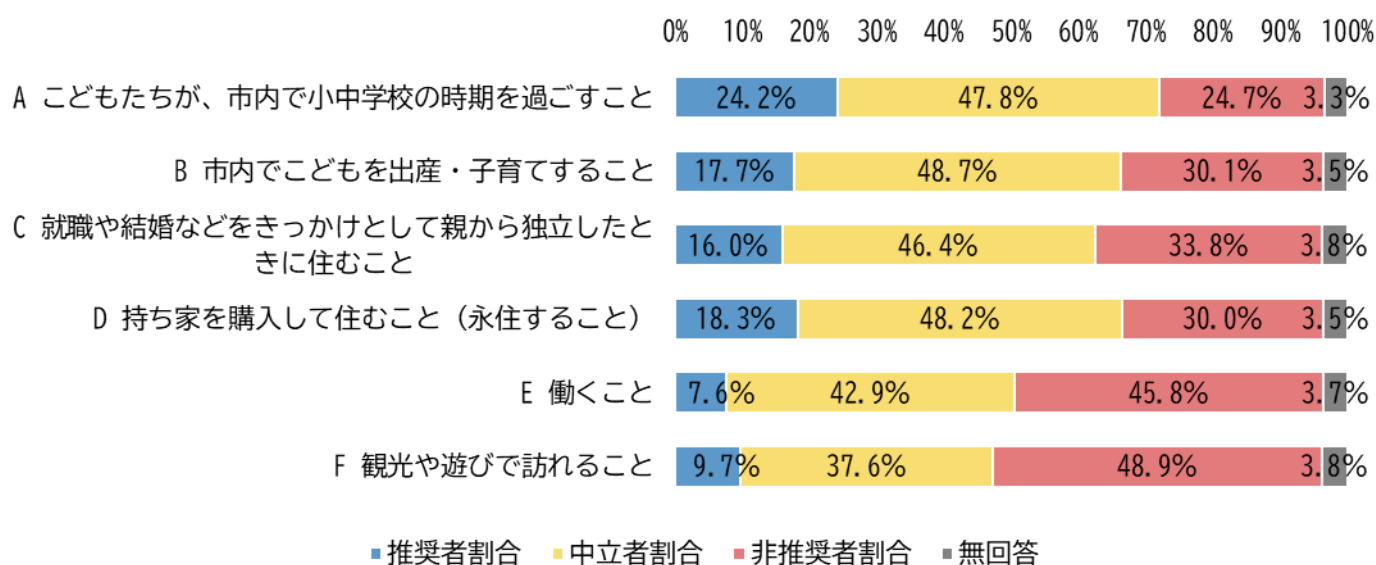


※「誇りを感じる」と「まあまあ誇りを感じる」を合わせたものを『誇りを感じる』、「誇りを感じない」、「あまり誇りを感じない」を合わせたものを『誇りを感じない』として表記

問 19 あなたは、次の A～F に示す行動について、市外に住んでいる友人・知人に瀬戸市を勧められますか。「勧められる」を 10 点、「勧められない」を 0 点としたときの点数をそれぞれ 1 つずつ選んでください。

- 全体において『中立者割合』が最も大きく、A～F いずれの項目も、程度の大小はあるが『非推奨者割合』の方が『推奨者割合』よりも大きい。
- 項目ごとの NPS (Net Promotor Score) をみると、「E 働くこと」、「F 観光や遊びで訪れること」勧める人は顕著に少なく、「A こどもたちが、市内で小中学校の時期を過ごすこと」は比較的に勧める人が多い。

市外の友人・知人へのおすすめ度 (n=658)



※「0 点」から「4 点」までの合計を『非推奨者割合』、「5 点」から「7 点」までの合計を『中立者割合』、「8 点」から「10 点」までの合計を『推奨者割合』、として計算、表記。

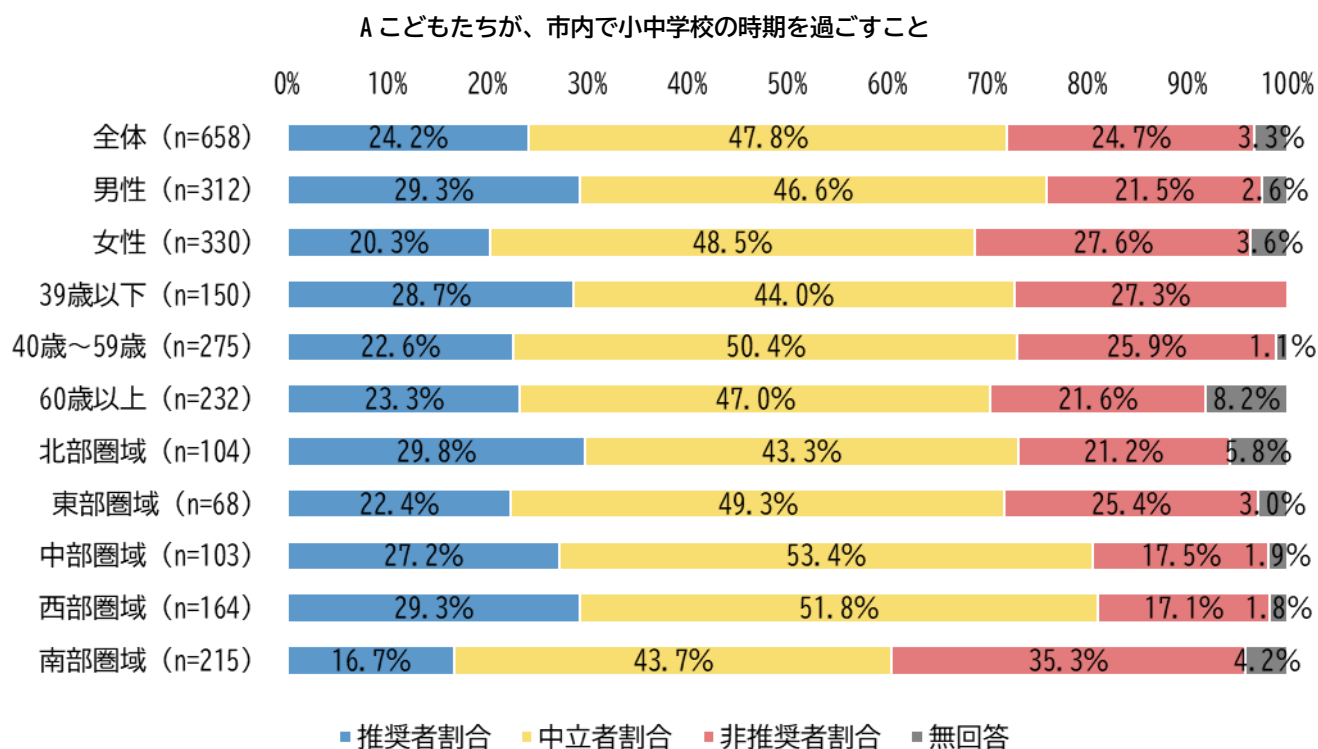
項目ごとの NPS

項目	NPS
A こどもたちが、市内で小中学校の時期を過ごすこと	-0.5
B 市内でこどもを出産・子育てすること	-12.5
C 就職や結婚などをきっかけとして親から独立したときに住むこと	-17.8
D 持ち家を購入して住むこと (永住すること)	-11.7
E 働くこと	-38.2
F 観光や遊びで訪れること	-39.1

※NPS とは、あるものに対してどれだけ他人に勧めたいと思っているかを測定するための指標であり、(推奨者割合) - (非推奨者割合) で算出されます。値は-100～+100 の間に分布し、値が大きいほど多くの人が勧めたいと思っている状態を表します。なお、割合を算出するにあたり含めた得点の範囲は、一般的な算出方法における範囲とは異なりますので、ご注意ください。

問 19-A こどもたちが、市内で小中学校の時期を過ごすこと

- 回答者属性別の NPS において特徴的な値をみると、男性、北部圏域、中部圏域、西部圏域においては勧める人が多く、女性、南部圏域においては勧める人が少ないことがわかる。

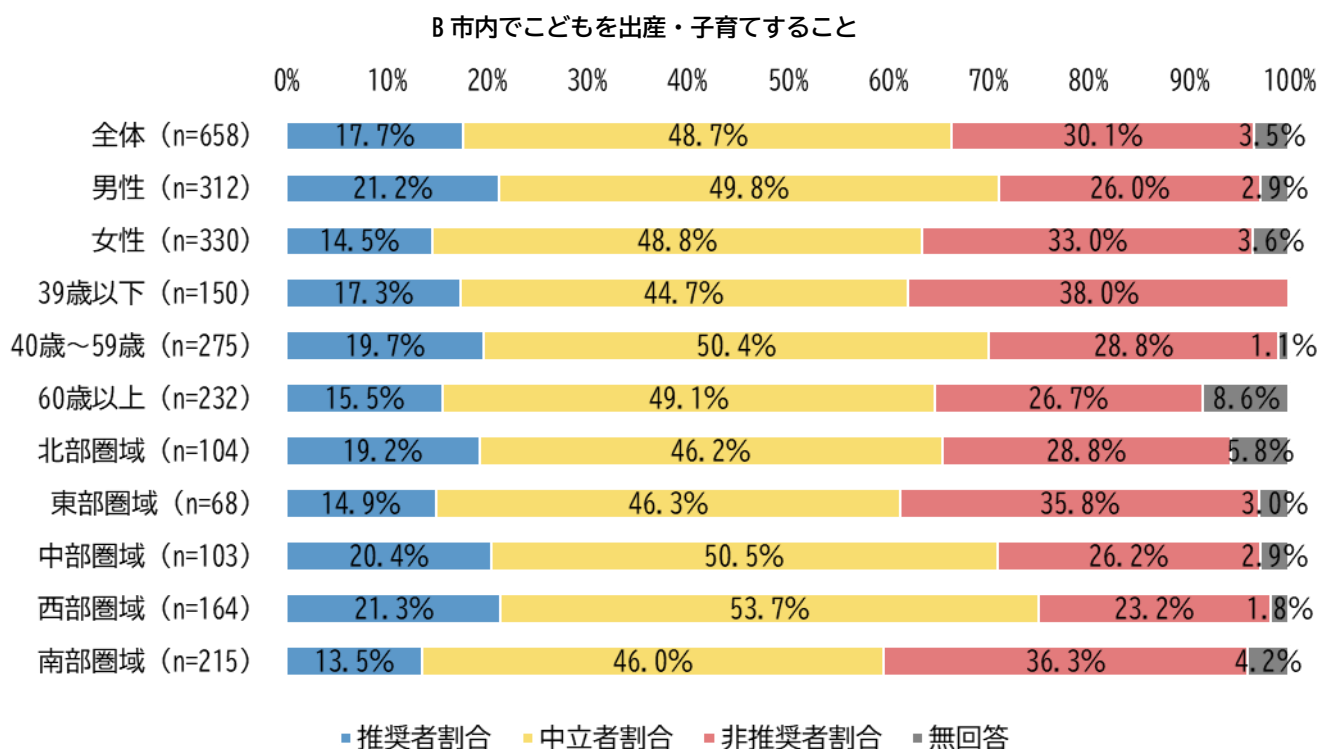


回答者属性別の NPS (A こどもたちが、市内で小中学校の時期を過ごすこと)

項目	NPS
全体 (再掲)	-0.5
男性	7.7
女性	-7.3
39 歳以下	1.3
40 歳～59 歳	-3.3
60 歳以上	1.7
北部圏域	8.7
東部圏域	-3.0
中部圏域	9.7
西部圏域	12.2
南部圏域	-18.6

問 19-B 市内で子どもを出産・子育てすること

- 回答者属性別の NPS において特徴的な値をみると、南部圏域、東部圏域、39 歳以下においては勧める人が顕著に少ないことがわかる。

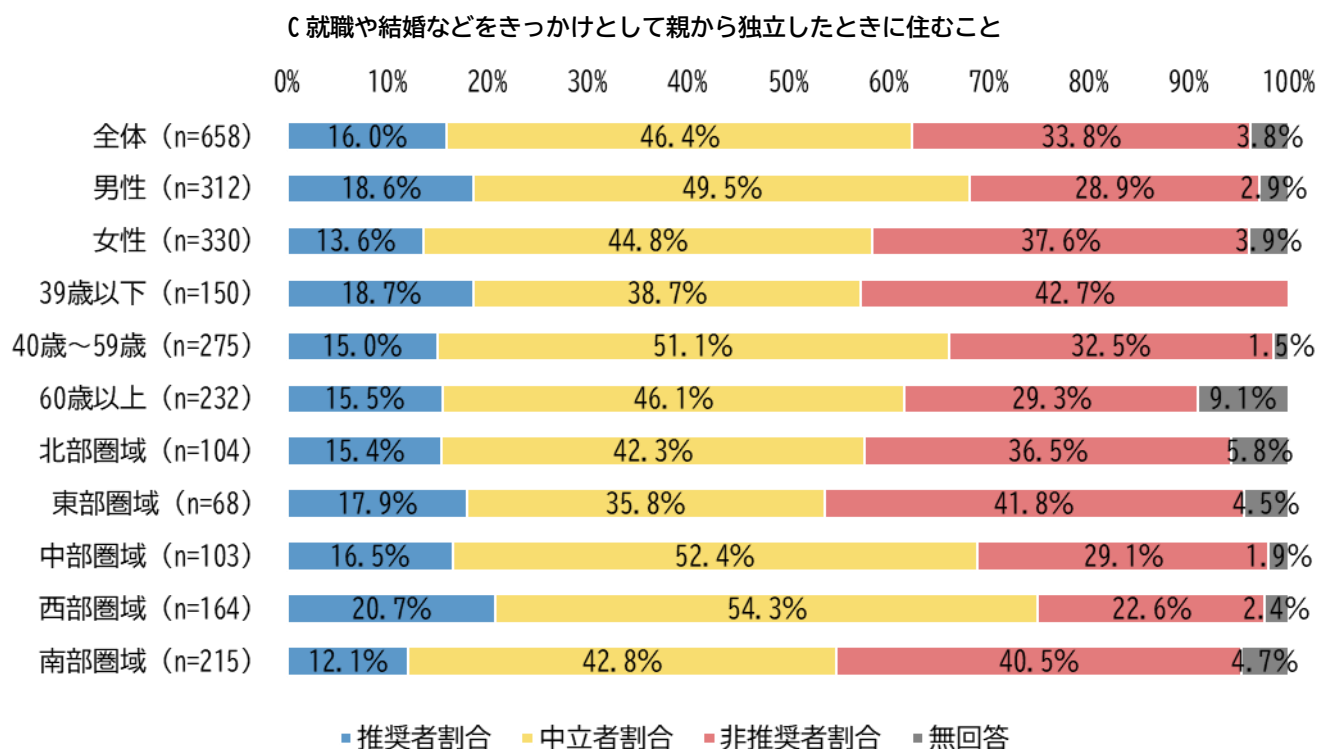


回答者属性別の NPS (B 市内で子どもを出産・子育てすること)

項目	NPS
全体 (再掲)	-12.5
男性	-4.8
女性	-18.5
39 歳以下	-20.7
40 歳～59 歳	-9.1
60 歳以上	-11.2
北部圏域	-9.6
東部圏域	-20.9
中部圏域	-5.8
西部圏域	-1.8
南部圏域	-22.8

問 19-C 就職や結婚などをきっかけとして親から独立したときに住むこと

- 回答者属性別の NPS において特徴的な値をみると、南部圏域、東部圏域、39 歳以下、女性においては勧める人が顕著に少ないことがわかる。

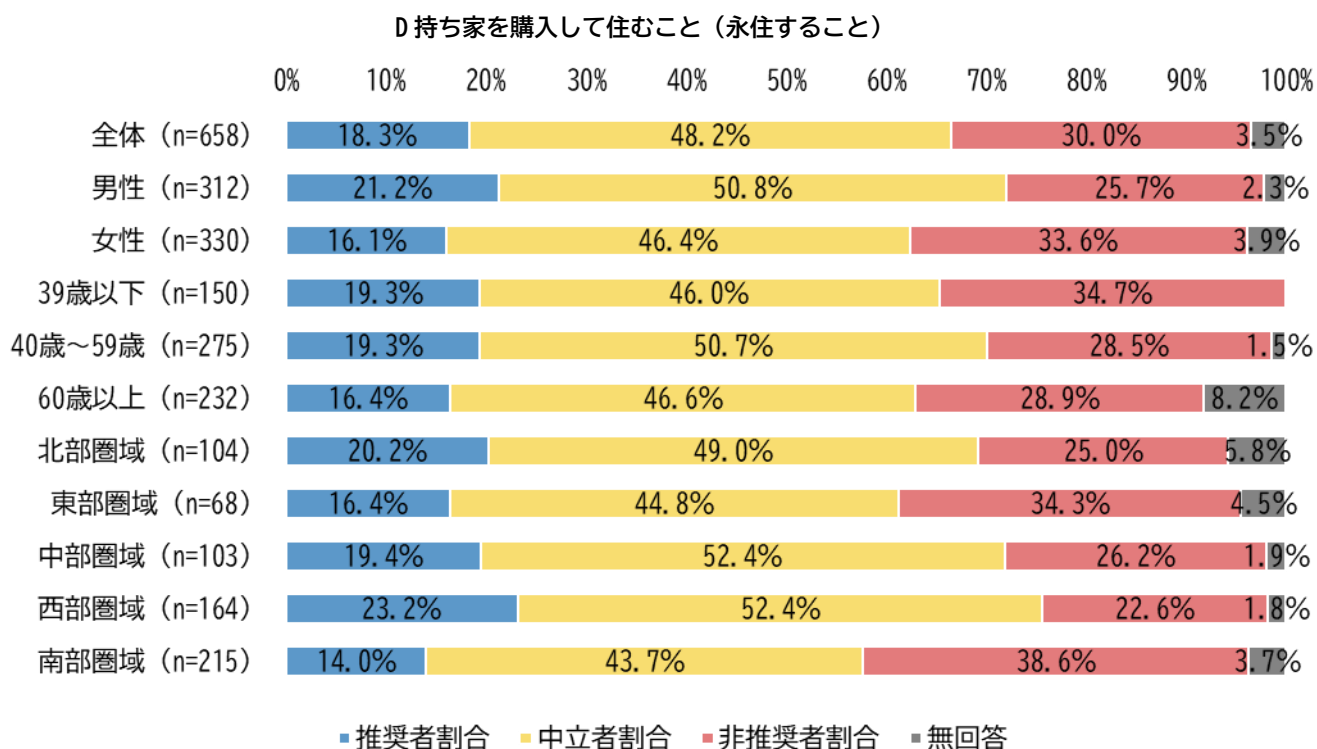


回答者属性別の NPS (C 就職や結婚などをきっかけとして親から独立したときに住むこと)

項目	NPS
全体 (再掲)	-17.8
男性	-10.3
女性	-23.9
39 歳以下	-24.0
40 歳～59 歳	-17.5
60 歳以上	-13.8
北部圏域	-21.2
東部圏域	-23.9
中部圏域	-12.6
西部圏域	-1.8
南部圏域	-28.4

問 19-D 持ち家を購入して住むこと（永住すること）

- 回答者属性別の NPS において特徴的な値をみると、南部圏域、東部圏域、女性においては勧める人が顕著に少ないことがわかる。

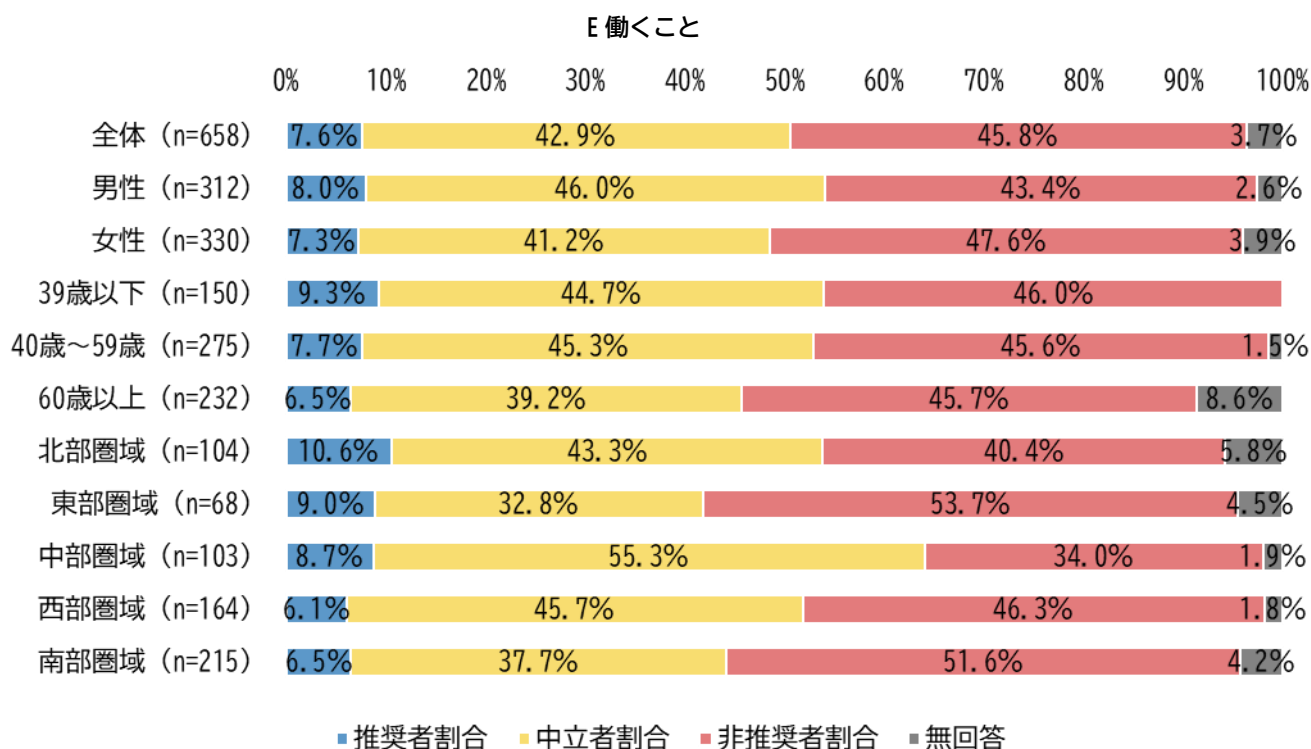


回答者属性別の NPS（D 持ち家を購入して住むこと（永住すること））

項目	NPS
全体（再掲）	-11.7
男性	-4.5
女性	-17.6
39 歳以下	-15.3
40 歳～59 歳	-9.1
60 歳以上	-12.5
北部圏域	-4.8
東部圏域	-17.9
中部圏域	-6.8
西部圏域	0.6
南部圏域	-24.7

問 19-E 働くこと

- 回答者属性別の NPS において特徴的な値をみると、南部圏域、東部圏域、西部圏域、女性においては勧める人が顕著に少ないことがわかる。

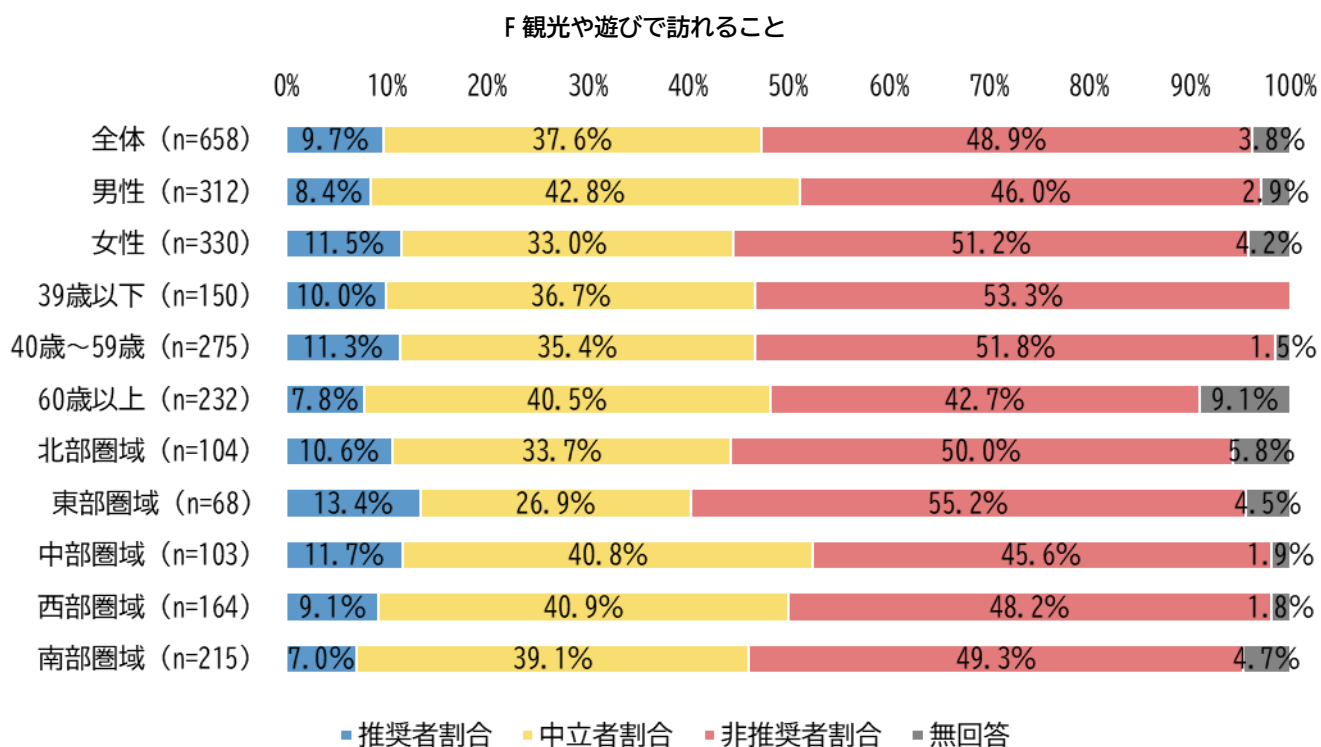


回答者属性別の NPS (E 働くこと)

項目	NPS
全体 (再掲)	-38.2
男性	-35.4
女性	-40.3
39 歳以下	-36.7
40 歳～59 歳	-38.0
60 歳以上	-39.2
北部圏域	-29.8
東部圏域	-44.8
中部圏域	-25.2
西部圏域	-40.2
南部圏域	-45.1

問 19-F 観光や遊びで訪れること

- 回答者属性別の NPS において特徴的な値をみると、南部圏域、東部圏域、39 歳以下においては勧める人が顕著に少ないことがわかる。

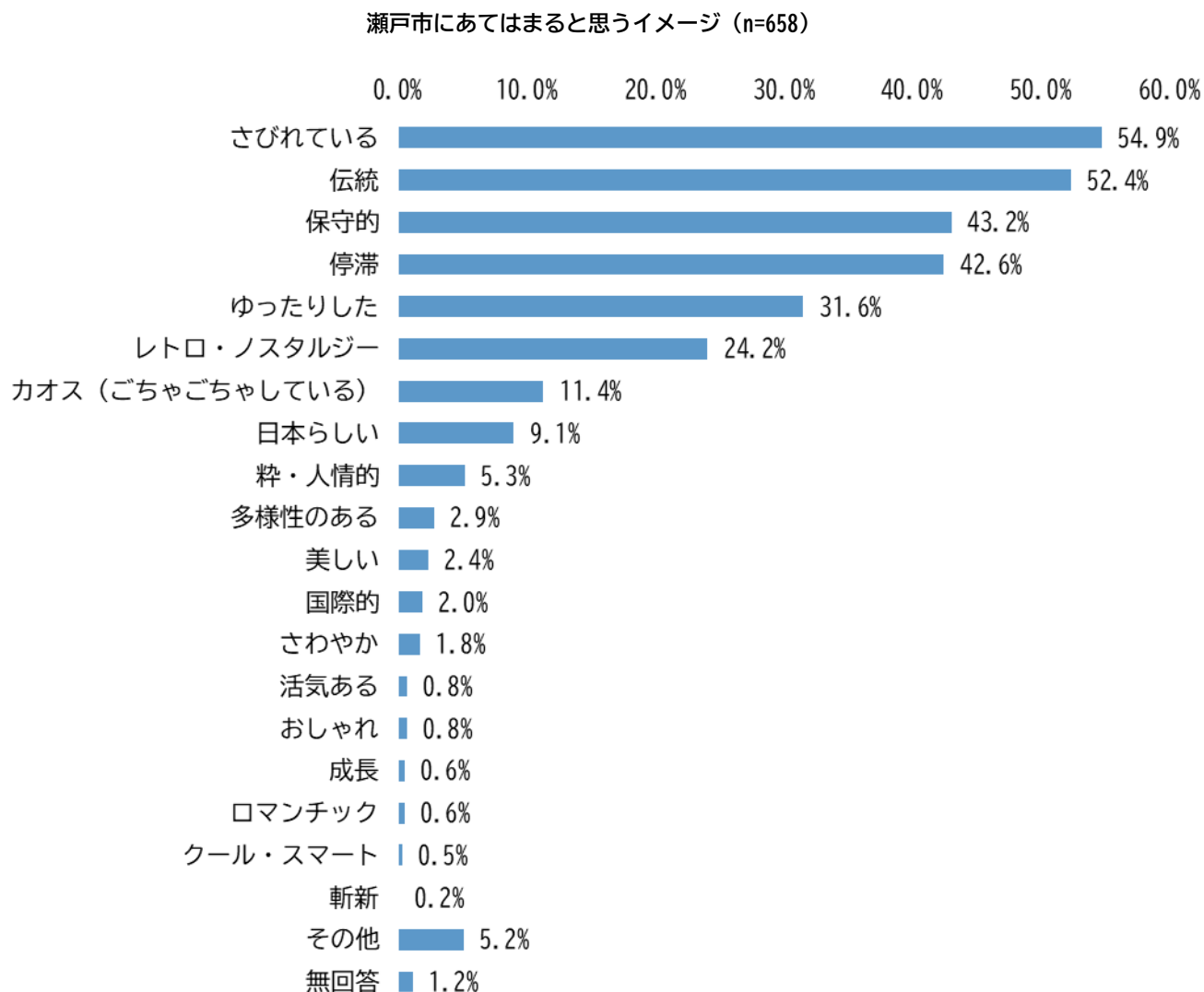


回答者属性別の NPS (F 観光や遊びで訪れること)

項目	NPS
全体 (再掲)	-39.1
男性	-37.6
女性	-39.7
39 歳以下	-43.3
40 歳～59 歳	-40.5
60 歳以上	-34.9
北部圏域	-39.4
東部圏域	-41.8
中部圏域	-34.0
西部圏域	-39.0
南部圏域	-42.3

問 20 あなたが瀬戸市にあてはまると思うイメージを選んでください。(当てはまるものすべて)

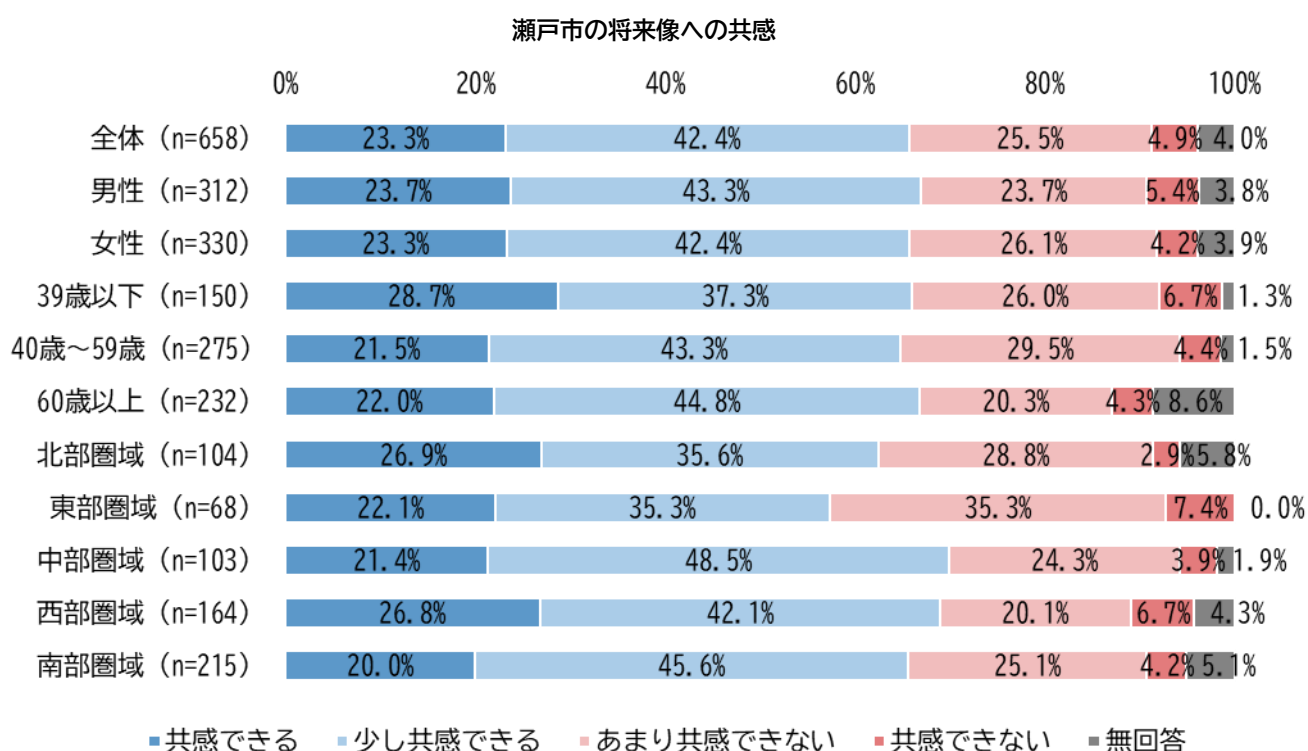
- 「さびれている」が 54.9%と最も多く、「伝統」(52.4%)、「保守的」(43.2%)、「停滞」(42.6%)が続く。



7. 総合計画や瀬戸市のまちづくりについて

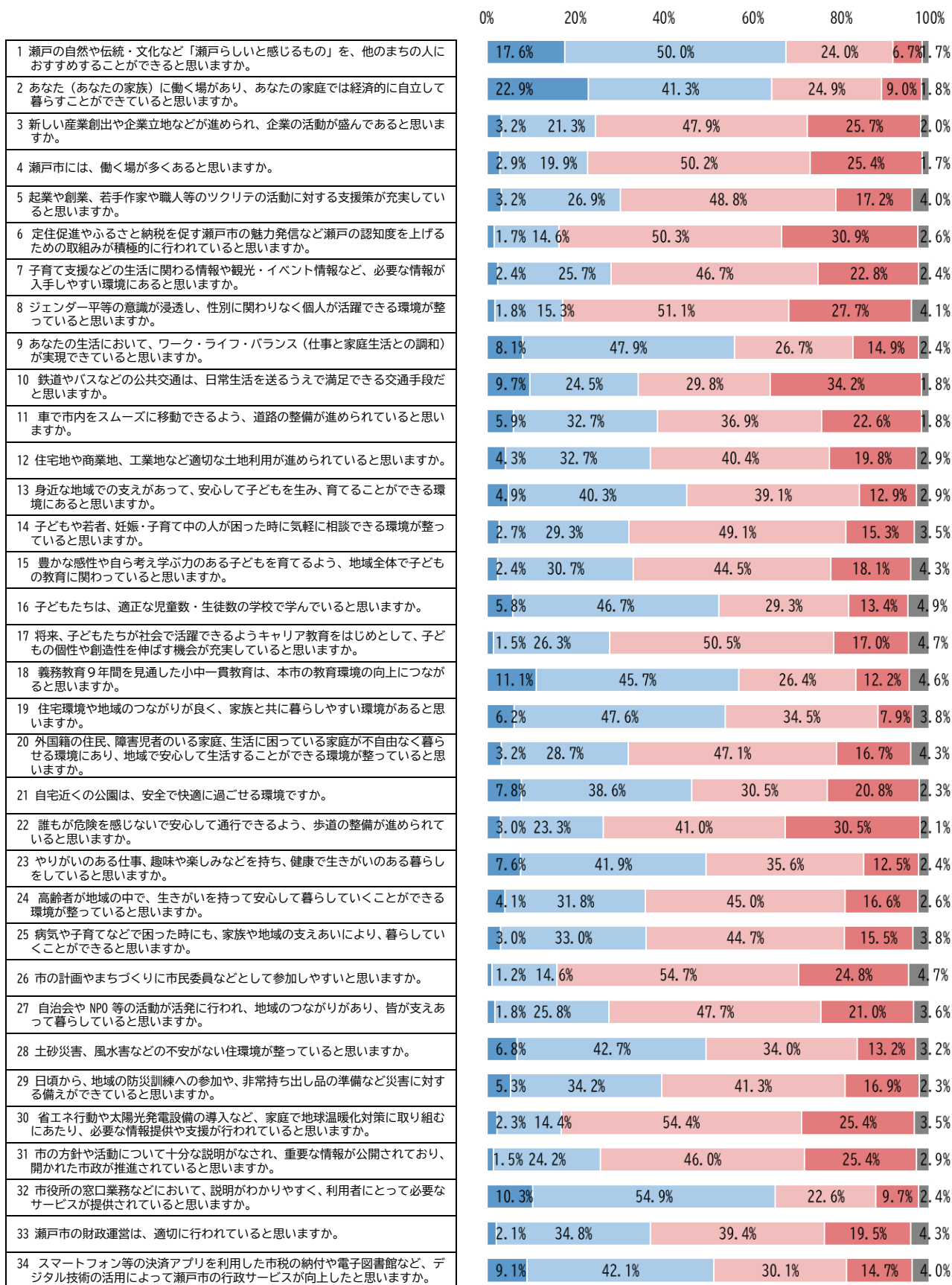
問 21 瀬戸市では、まちづくりの基本方向を示す総合計画を策定し、計画的にまちづくりを進めています。現在の総合計画では、本市が10年先の瀬戸市を見据えて「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」を将来像として掲げていますが、この将来像にあなたは共感できますか。

- ・ 全体では、『共感できる』が65.7%を占めている。
- ・ 性別による傾向の差はみられない。
- ・ 年齢による傾向の差は大きくないが、39歳以下においては特に「共感できる」が多い。
- ・ 地域による傾向の差は大きくないが、東部圏域において『共感できない』が比較的に多い。



※「共感できる」と「少し共感できる」を合わせたものを『共感できる』、「共感できない」、「あまり共感できない」を合わせたものを『共感できない』として表記

問 22 市のまちづくりに対するあなたのご意見をお伺いします。以下の設問ごとに、あてはまる番号を「回答番号1～4」の中から1つずつ選んでください。(n=658)

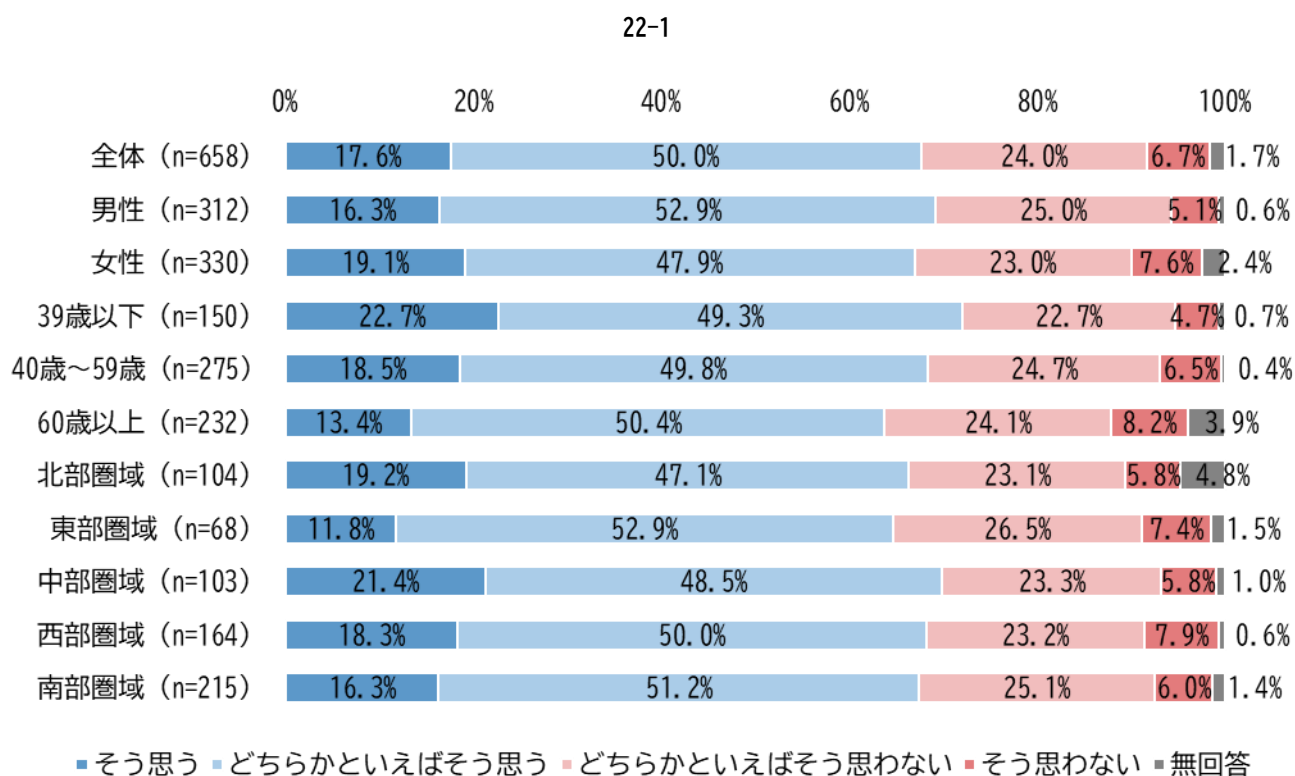


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

※問 22-1 から問 22-34 まで、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせたものを『そう思う』、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」を合わせたものを『そう思わない』として表記し、回答者の属性別項目については特徴的なものに限り記載している。

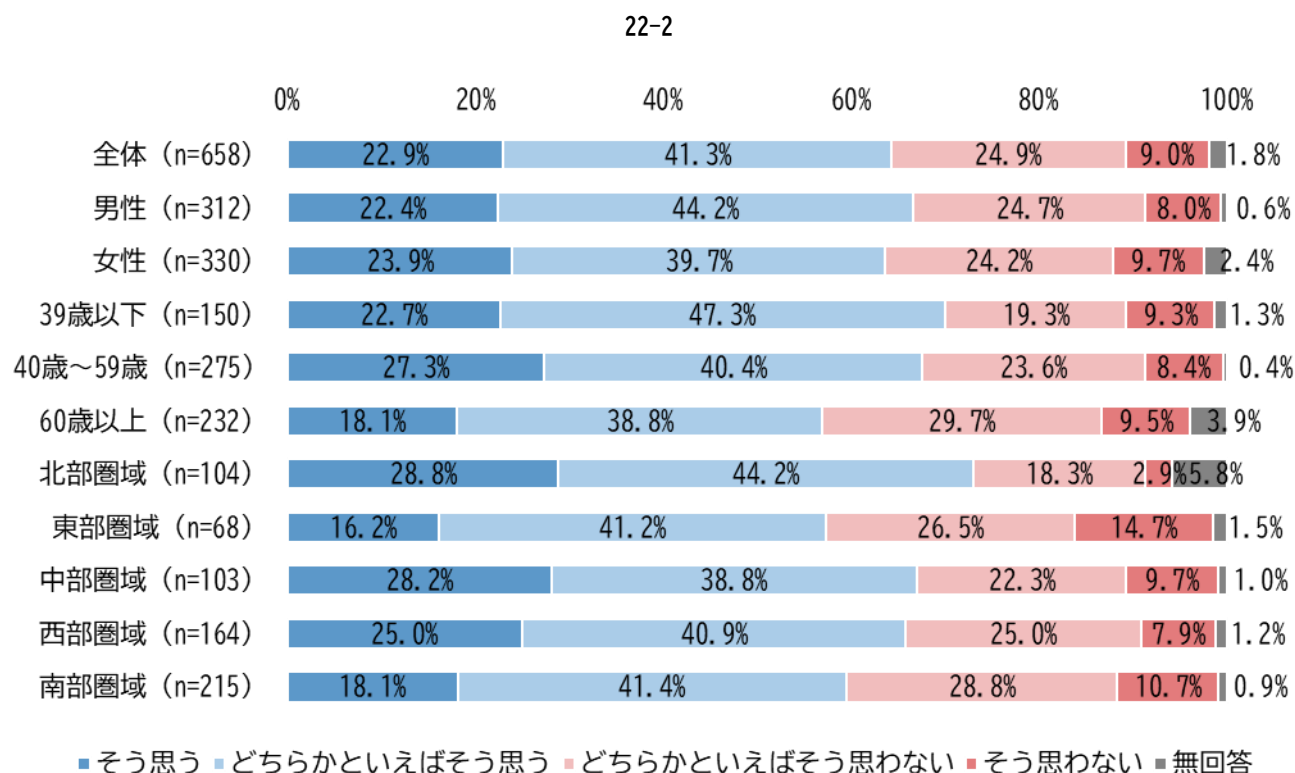
問 22-1 瀬戸の自然や伝統・文化など「瀬戸らしいと感じるもの」を、他のまちの人におすすめすることができると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が 67.6%を占めている。



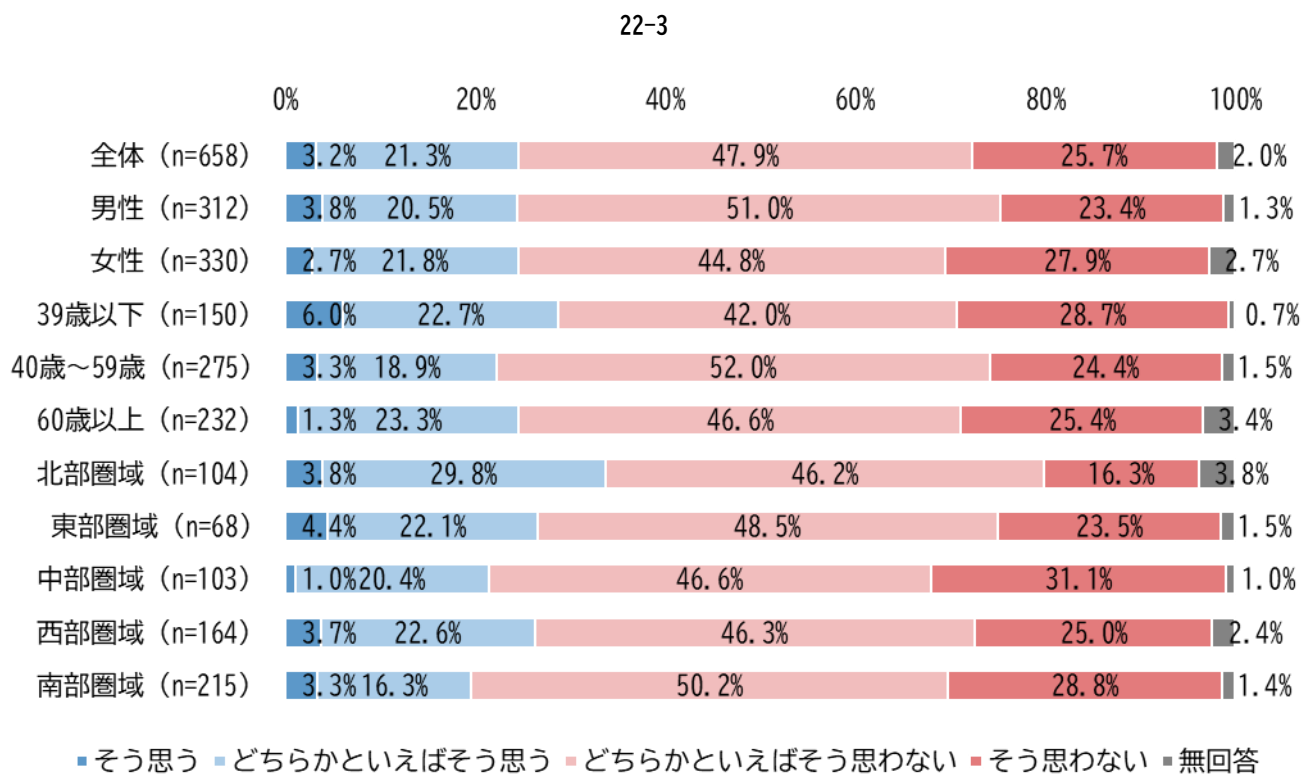
問 22-2 あなた（あなたの家族）に働く場があり、あなたの家庭では経済的に自立して暮らすことができますか。

- 全体では、『そう思う』が64.3%を占めている。
- 北部圏域において、『そう思う』が特に多い。
- 40歳～59歳、東部圏域において、『そう思う』が比較的に少ない。



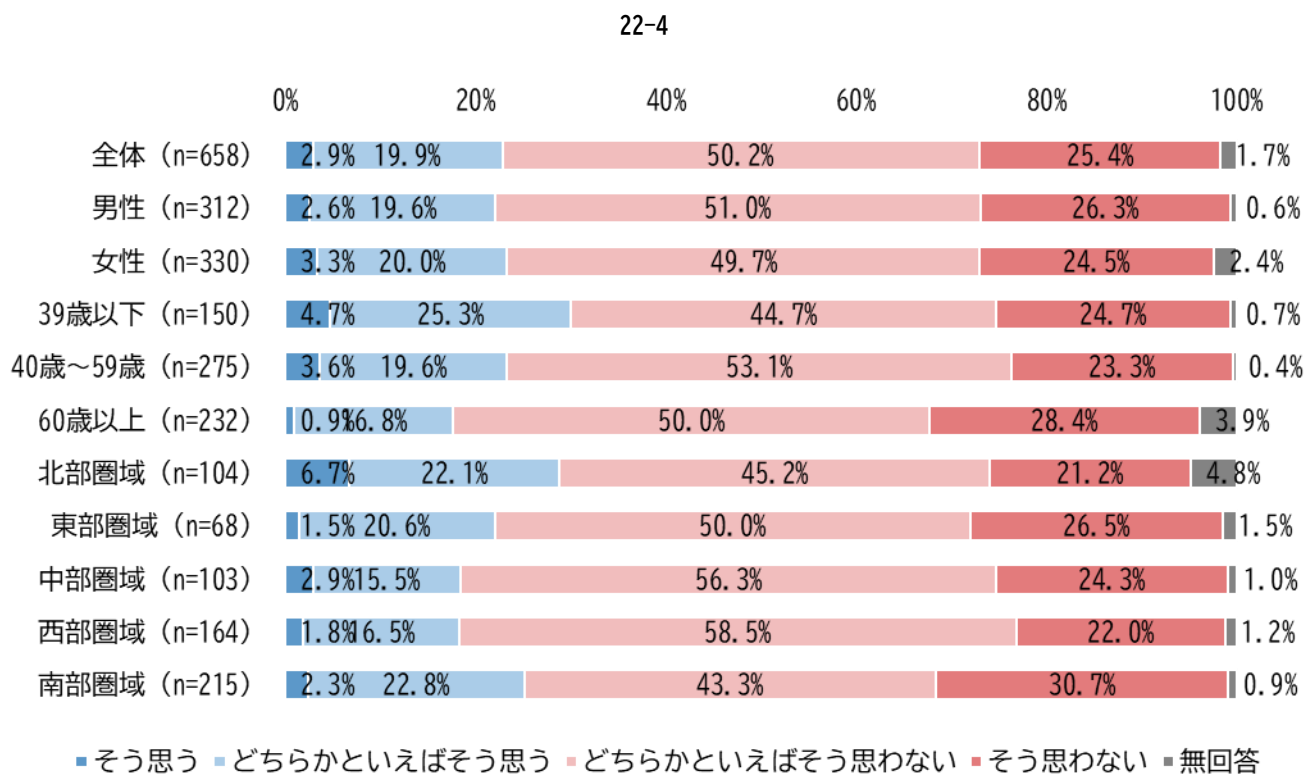
問 22-3 新しい産業創出や企業立地などが進められ、企業の活動が盛んであると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が24.5%を占めている。
- 北部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



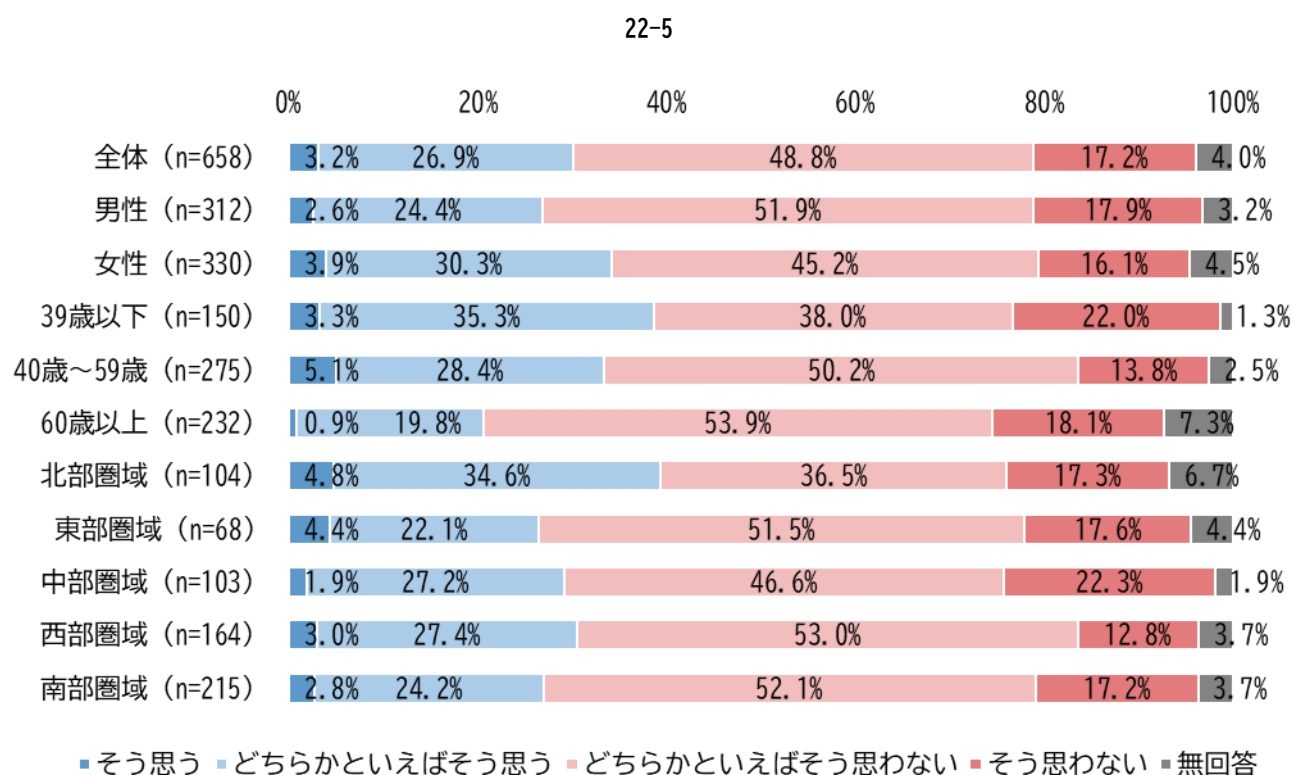
問 22-4 瀬戸市には、働く場が多くあると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が22.8%を占めている。
- 39歳以下、北部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



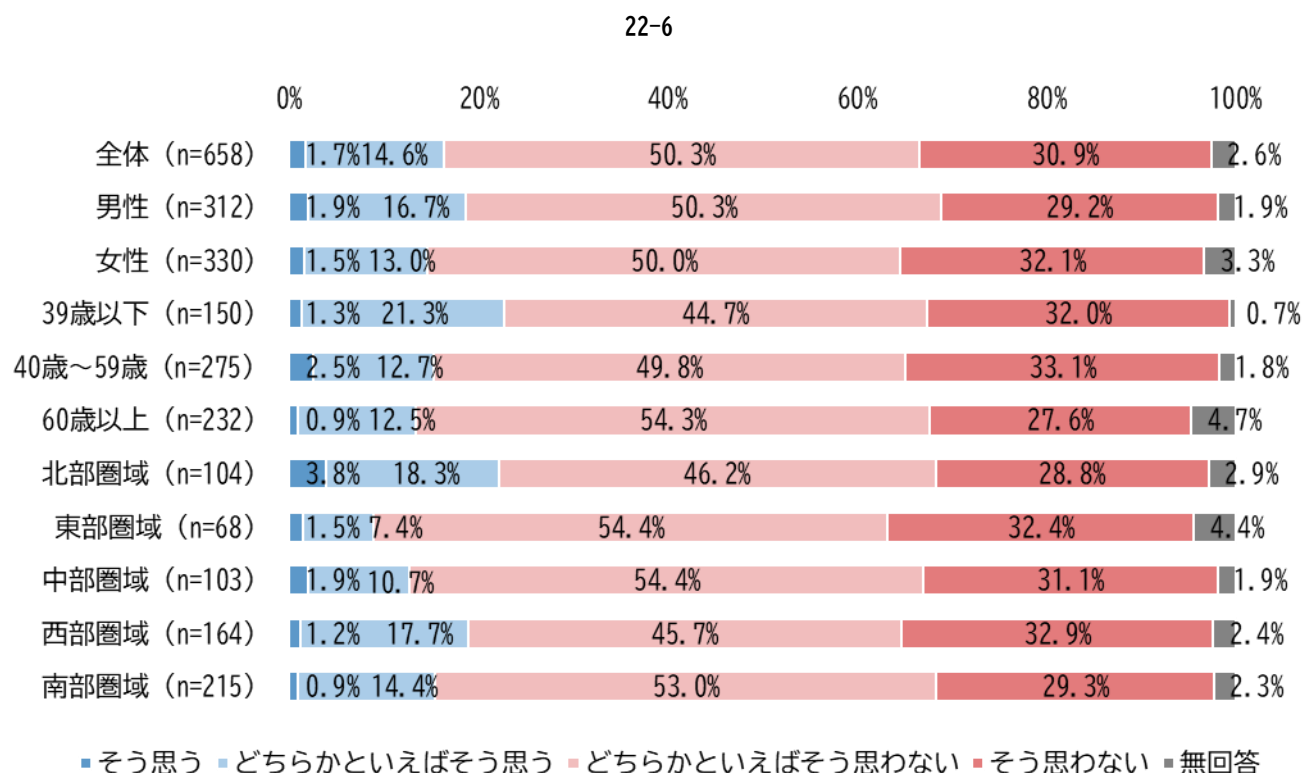
問 22-5 起業や創業、若手作家や職人等のツクリテの活動に対する支援策が充実していると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が30.1%を占めている。
- 60歳以上において『そう思う』が少ない。
- 39歳以下、北部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



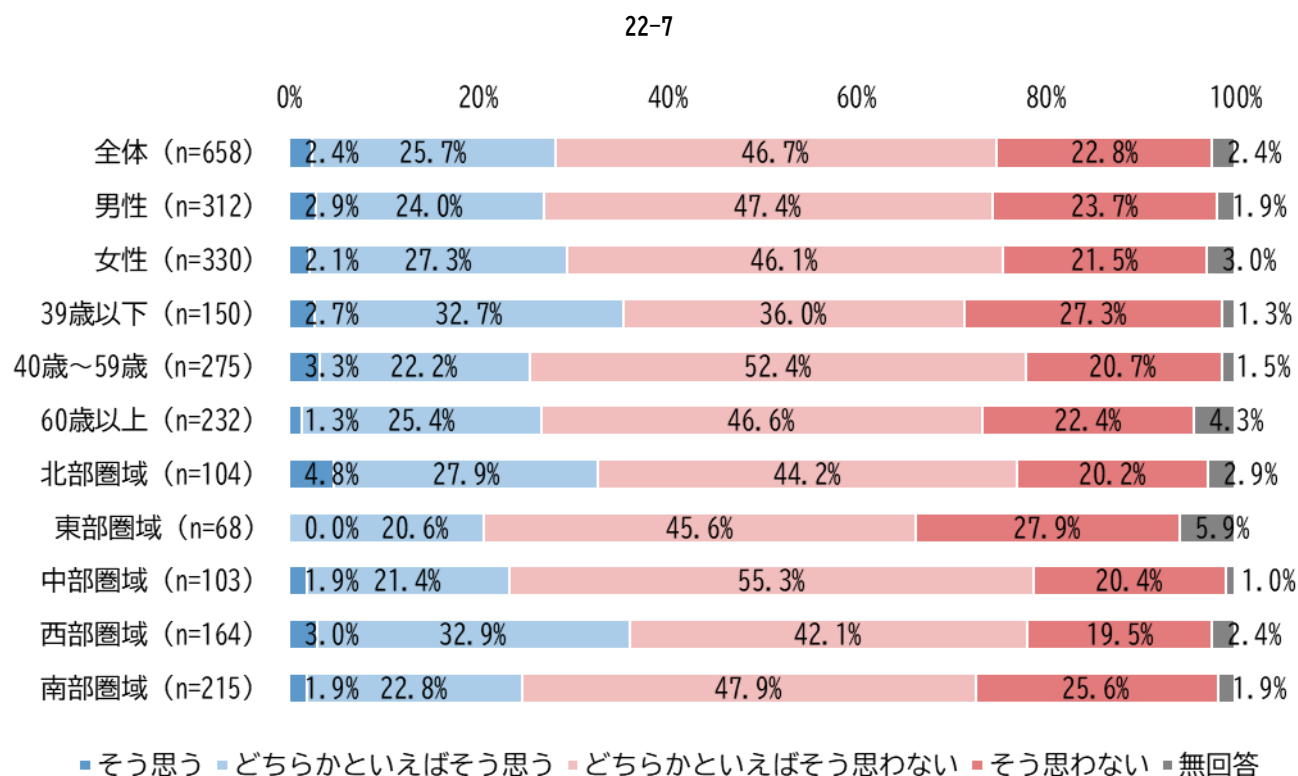
問 22-6 定住促進やふるさと納税を促す瀬戸市の魅力発信など瀬戸の認知度を上げるための取組みが積極的に行われていると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が16.3%を占めている。
- 東部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 39歳以下、北部圏域、西部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



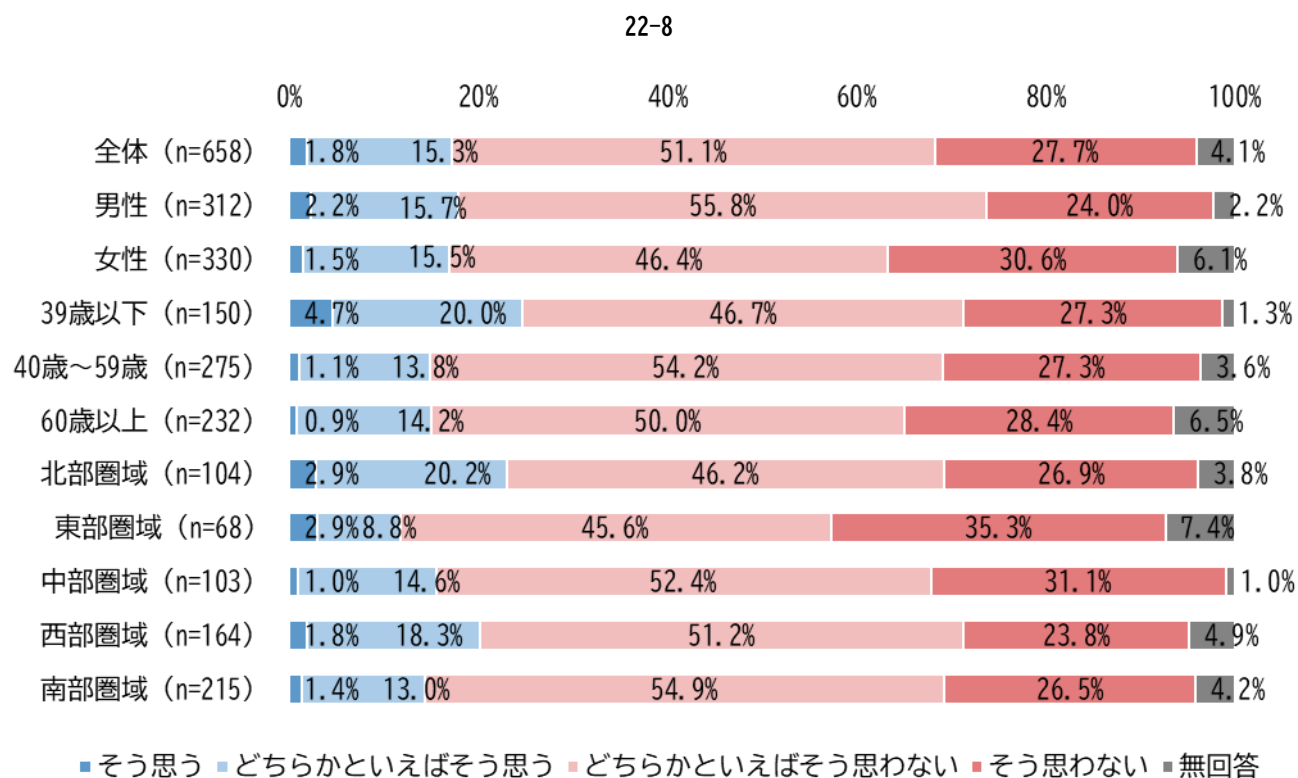
問 22-7 子育て支援などの生活に関わる情報や観光・イベント情報など、必要な情報が入手しやすい環境にあると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が28.1%を占めている。
- 東部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 39歳以下、北部圏域、西部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



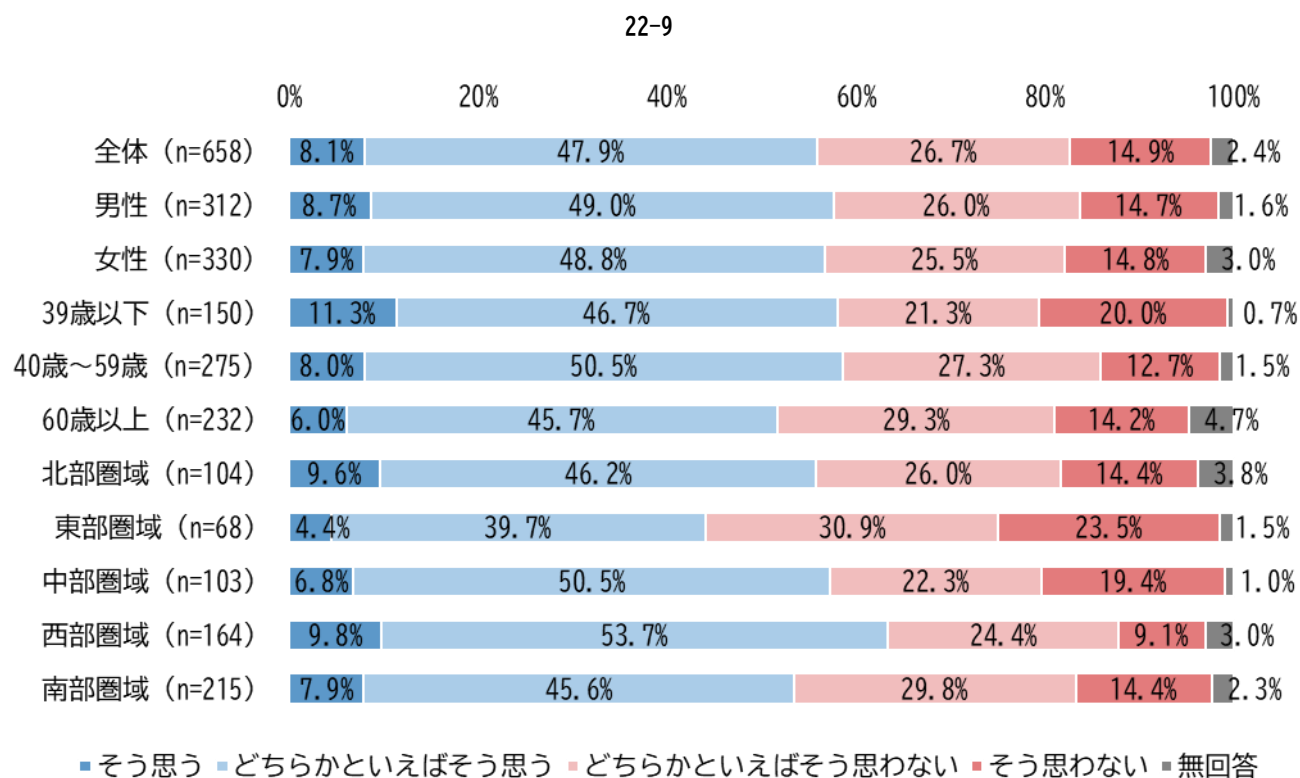
問 22-8 ジェンダー平等の意識が浸透し、性別に関わりなく個人が活躍できる環境が整っていると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が17.2%を占めている。
- 東部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 39歳以下、北部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



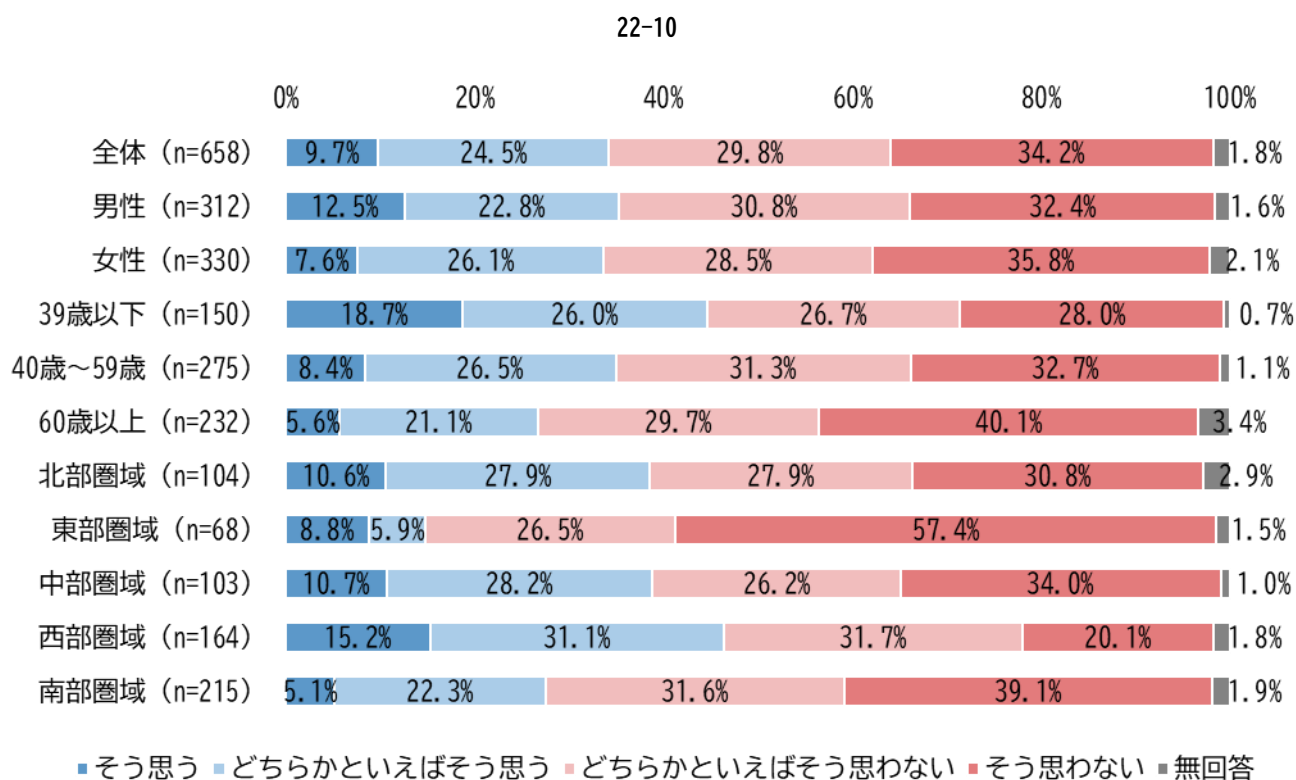
問 22-9 あなたの生活において、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活との調和）が実現できていると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が55.9%を占めている。
- 西部圏域において『そう思う』が特に多い。
- 東部圏域において、『そう思う』が少ない。



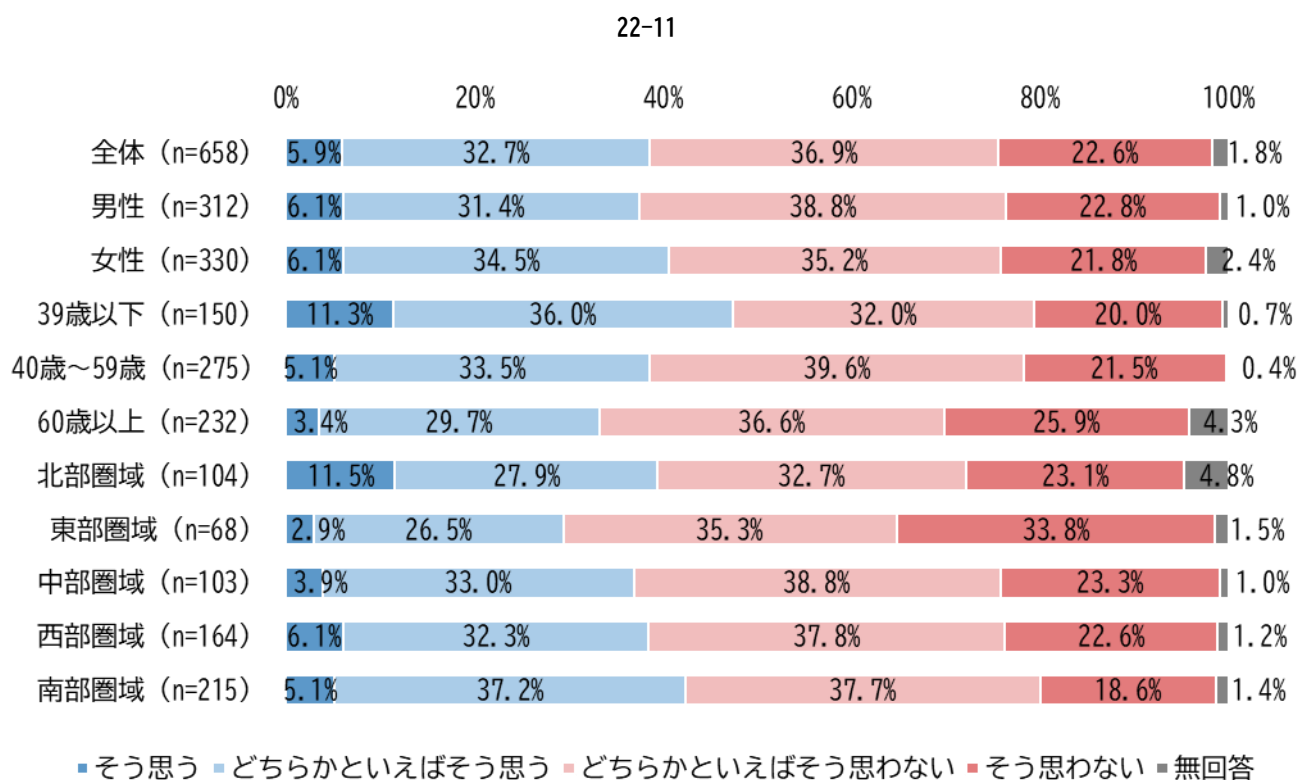
問 22-10 鉄道やバスなどの公共交通は、日常生活を送るうえで満足できる交通手段だと思いますか。

- 全体では、『そう思う』が34.2%を占めている。
- 東部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 39歳以下、北部圏域、西部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



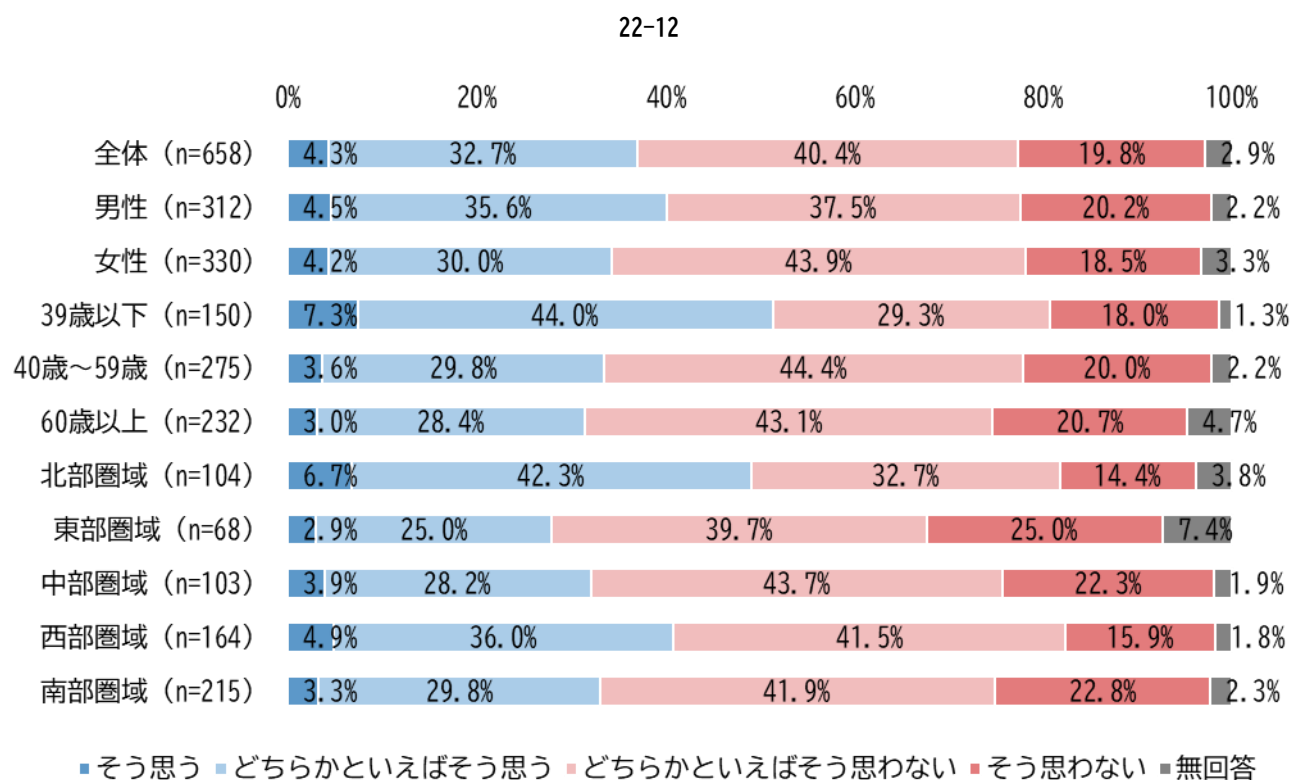
問 22-11 車で市内をスムーズに移動できるよう、道路の整備が進められていると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が38.6%を占めている。
- 60歳以上、東部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 39歳以下において、『そう思う』が比較的に多い。



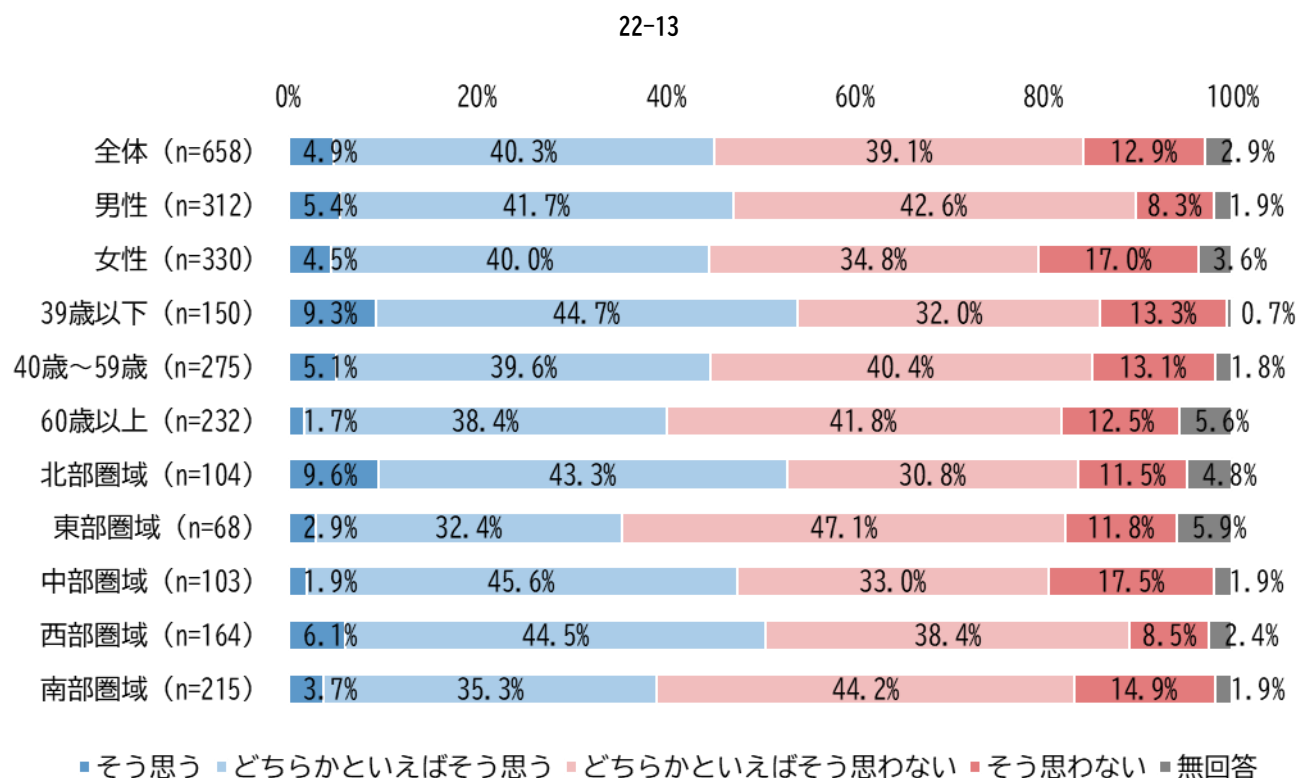
問 22-12 住宅地や商業地、工業地など適切な土地利用が進められていると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が36.9%を占めている。
- 東部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 39歳以下、北部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



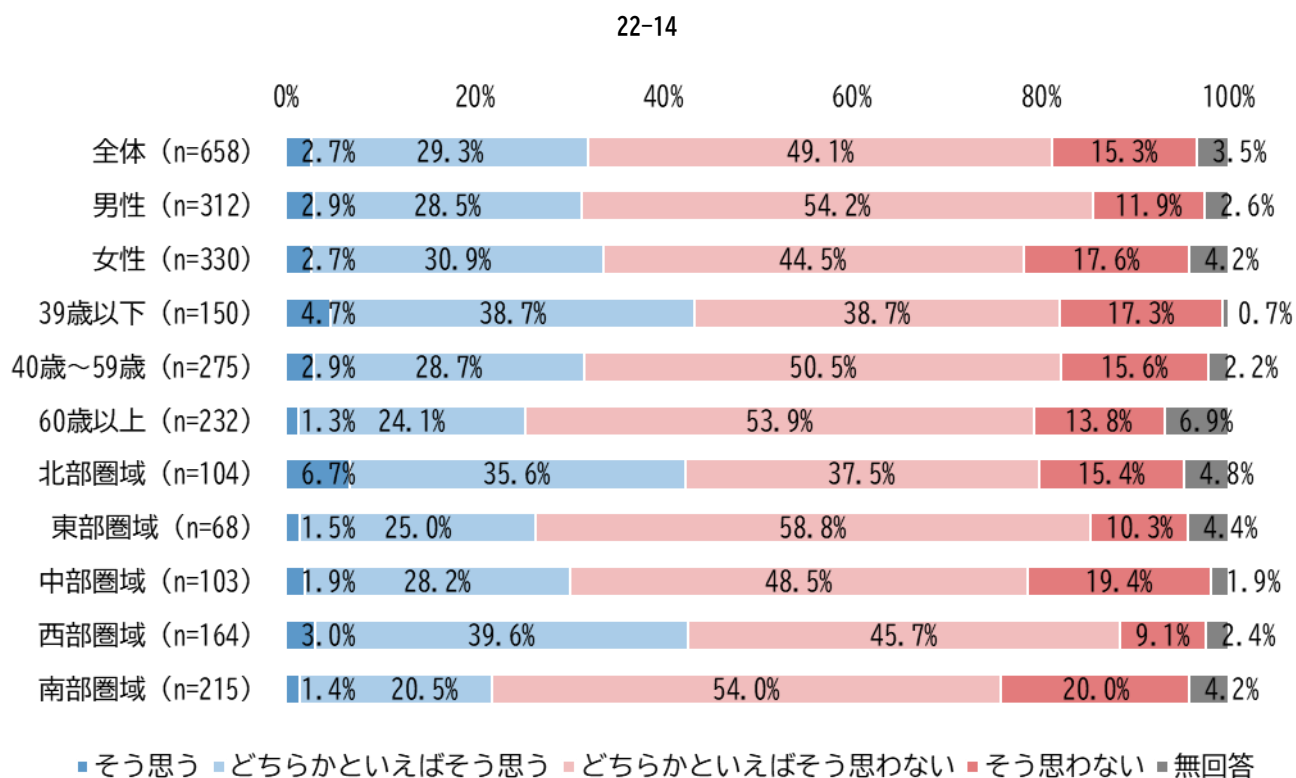
問 22-13 身近な地域での支えがあって、安心して子どもを生み、育てることができる環境にあると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が45.1%を占めている。
- 東部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 39歳以下、北部圏域、西部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



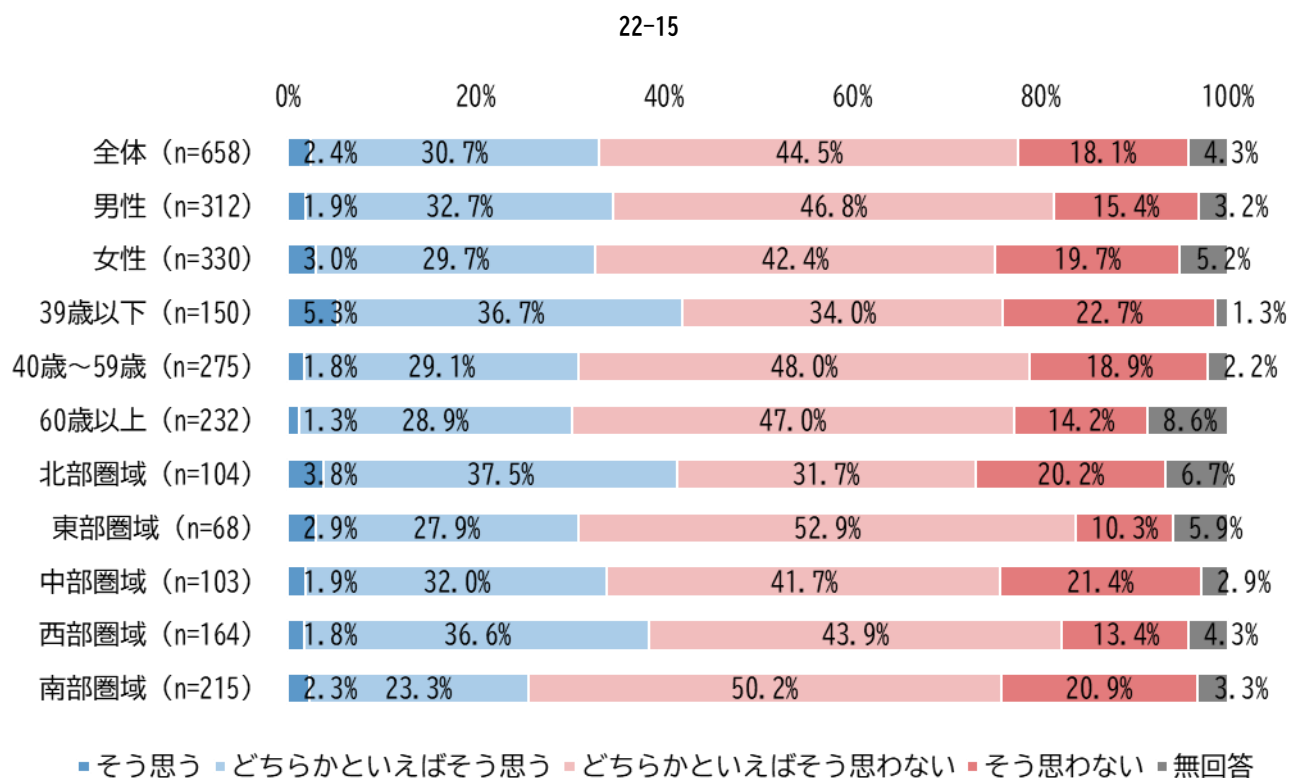
問 22-14 子どもや若者、妊娠・子育て中の人困った時に気軽に相談できる環境が整っていると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が32.1%を占めている。
- 60歳以上、南部圏域、東部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 39歳以下、北部圏域、西部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



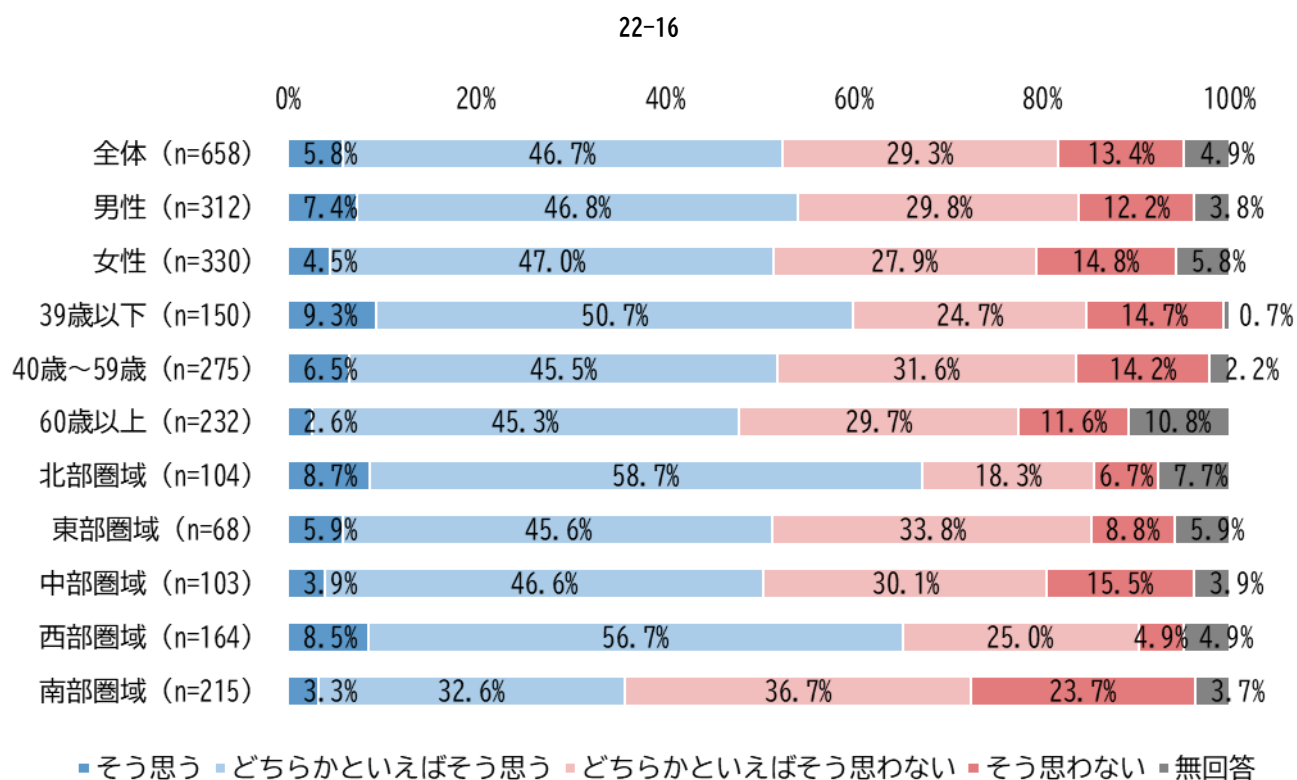
問 22-15 豊かな感性や自ら考え学ぶ力のある子どもを育てるよう、地域全体で子どもの教育に関わっていると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が33.1%を占めている。
- 南部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 39歳以下、北部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



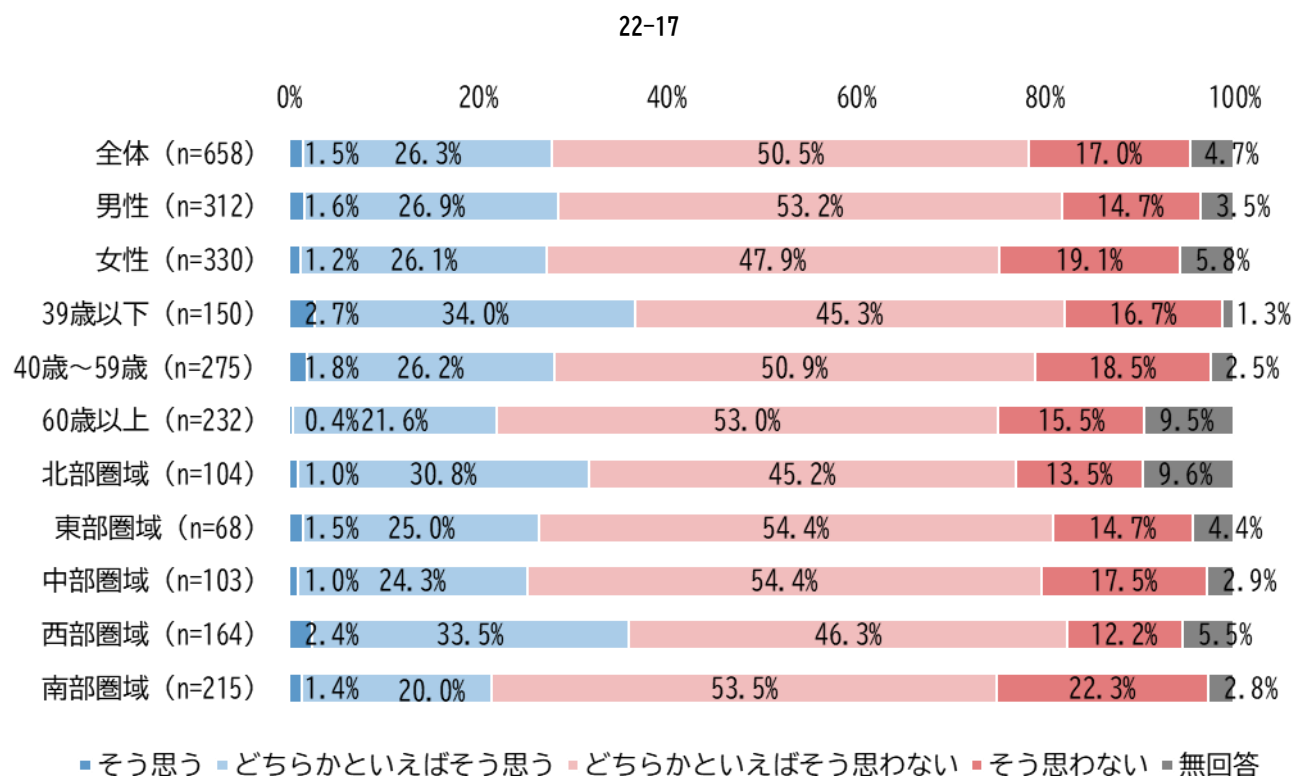
問 22-16 子どもたちは、適正な児童数・生徒数の学校で学んでいると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が52.4%を占めている。
- 北部圏域、西部圏域において『そう思う』が特に多い。
- 南部圏域において、『そう思う』が少ない。



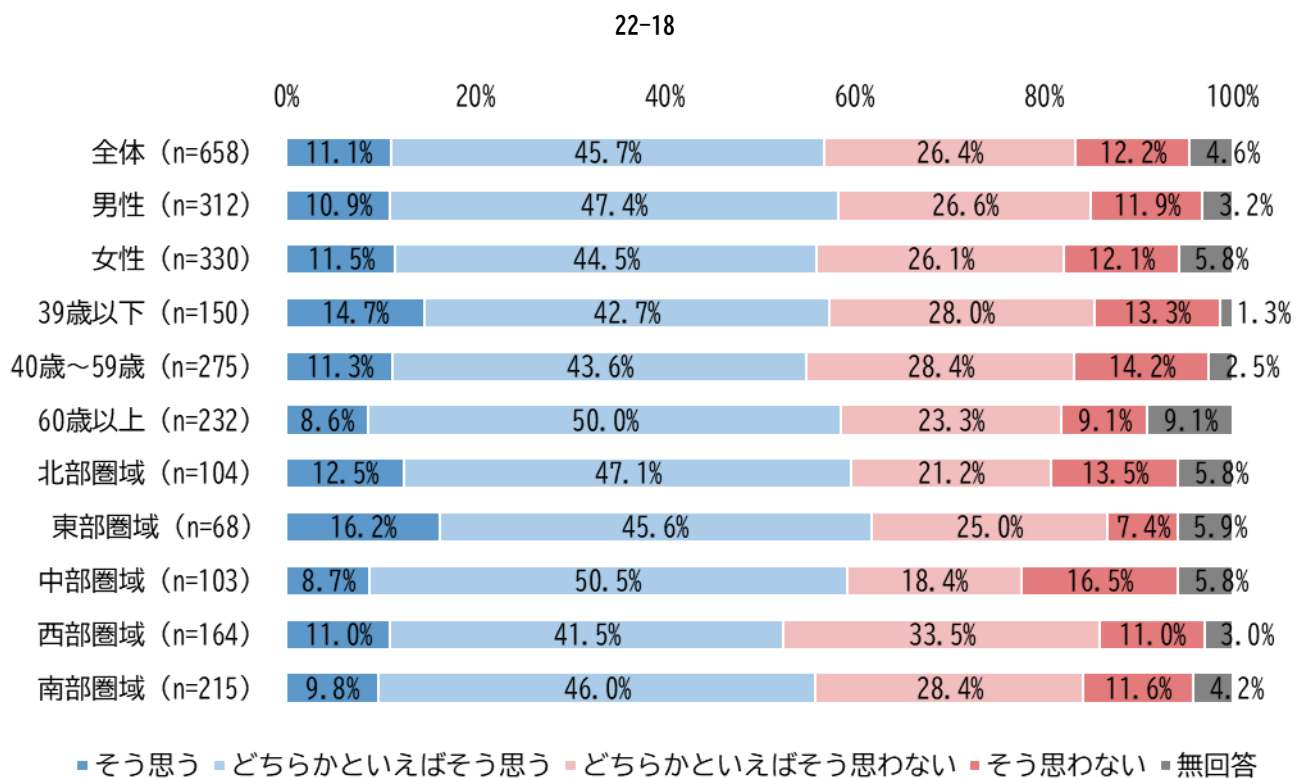
問 22-17 将来、子どもたちが社会で活躍できるようキャリア教育をはじめとして、子どもの個性や創造性を伸ばす機会が充実していると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が27.8%を占めている。
- 60歳以上、南部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 39歳以下、西部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



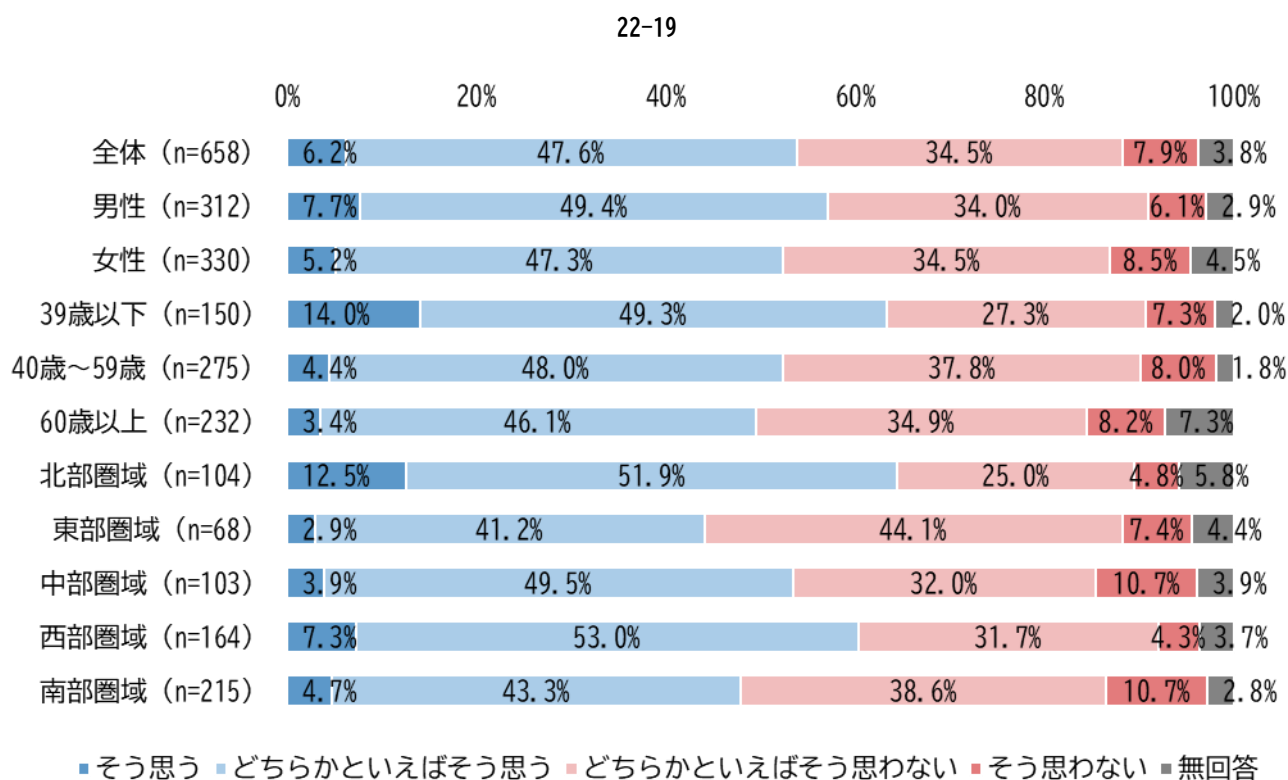
問 22-18 義務教育 9 年間を見通した小中一貫教育は、本市の教育環境の向上につながるといいますか。

- 全体では、『そう思う』が 56.8%を占めている。



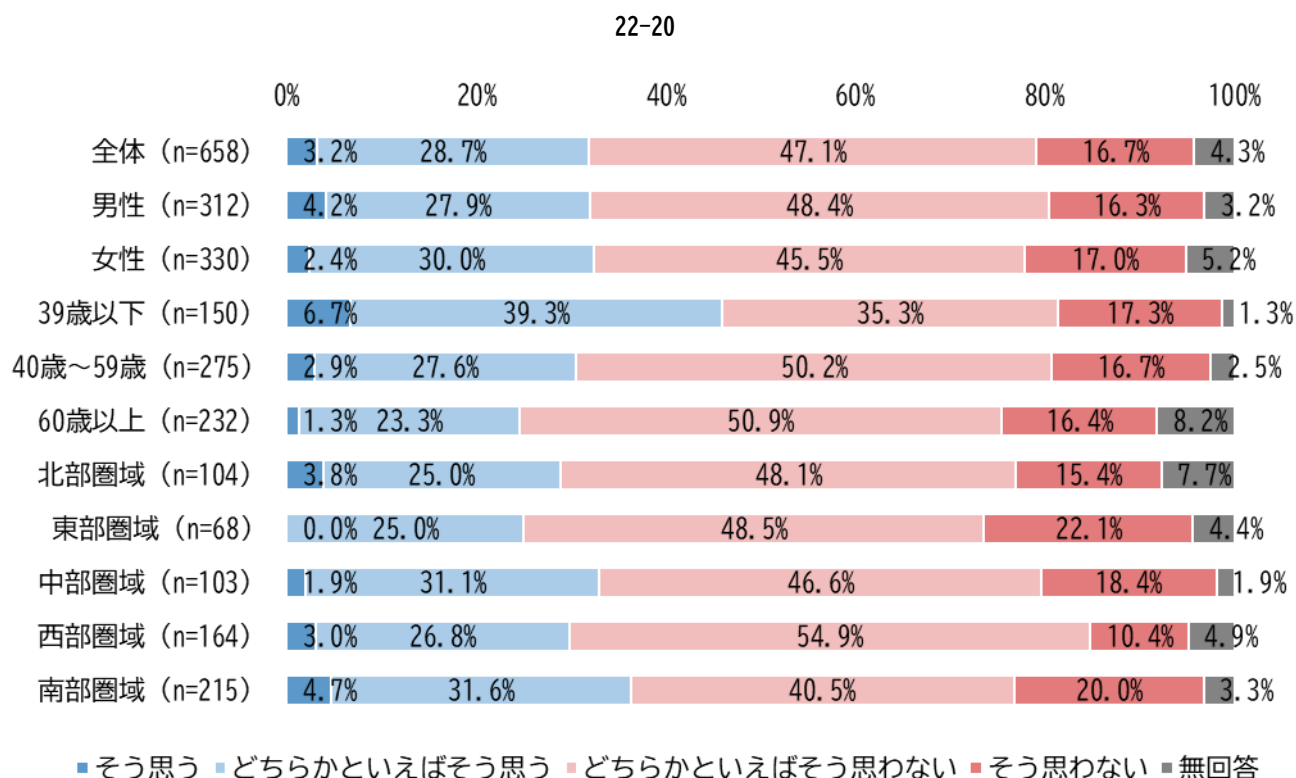
問 22-19 住宅環境や地域のつながりが良く、家族と共に暮らしやすい環境があると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が53.8%を占めている。
- 39歳以下、北部圏域、西部圏域において『そう思う』が特に多い。
- 東部圏域において、『そう思う』が比較的に少ない。



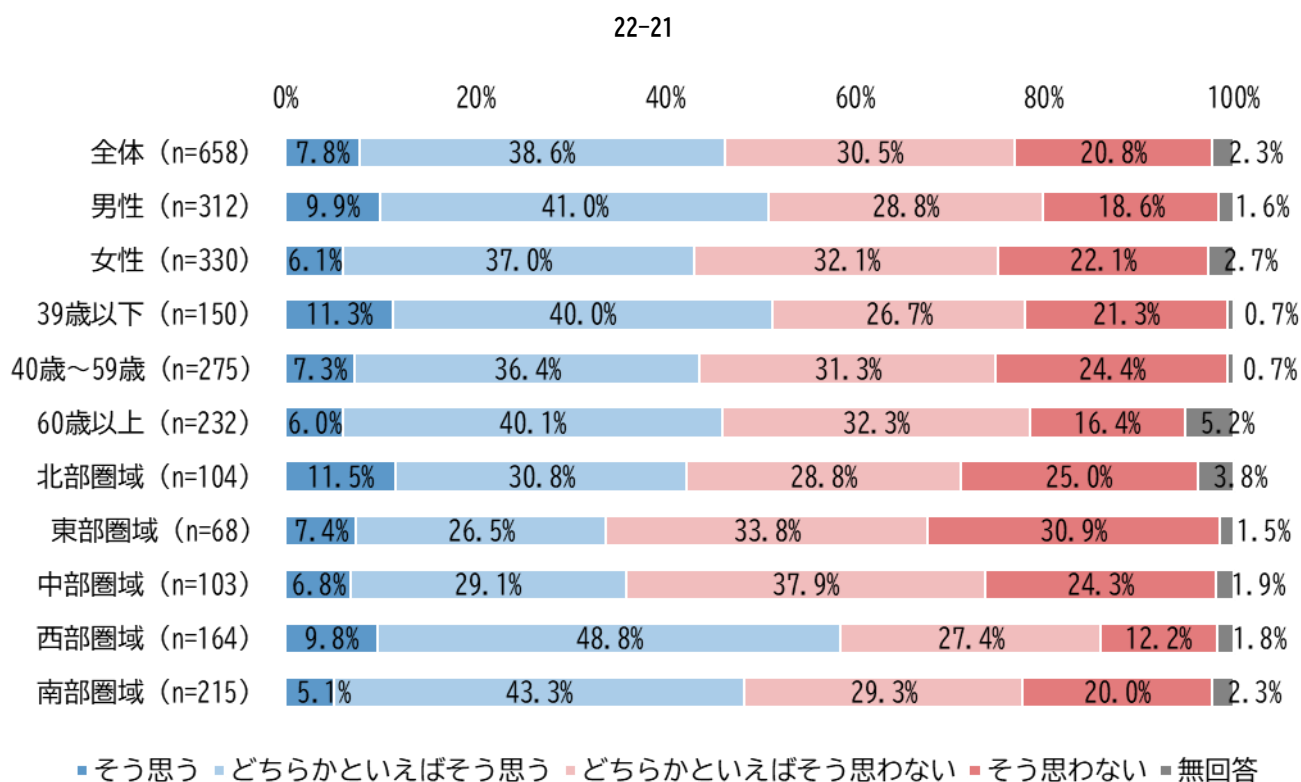
問 22-20 外国籍の住民、障害児者のいる家庭、生活に困っている家庭が不自由なく暮らせる環境にあり、地域で安心して生活することができる環境が整っていると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が31.9%を占めている。
- 60歳以上、東部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 39歳以下において、『そう思う』が比較的に多い。



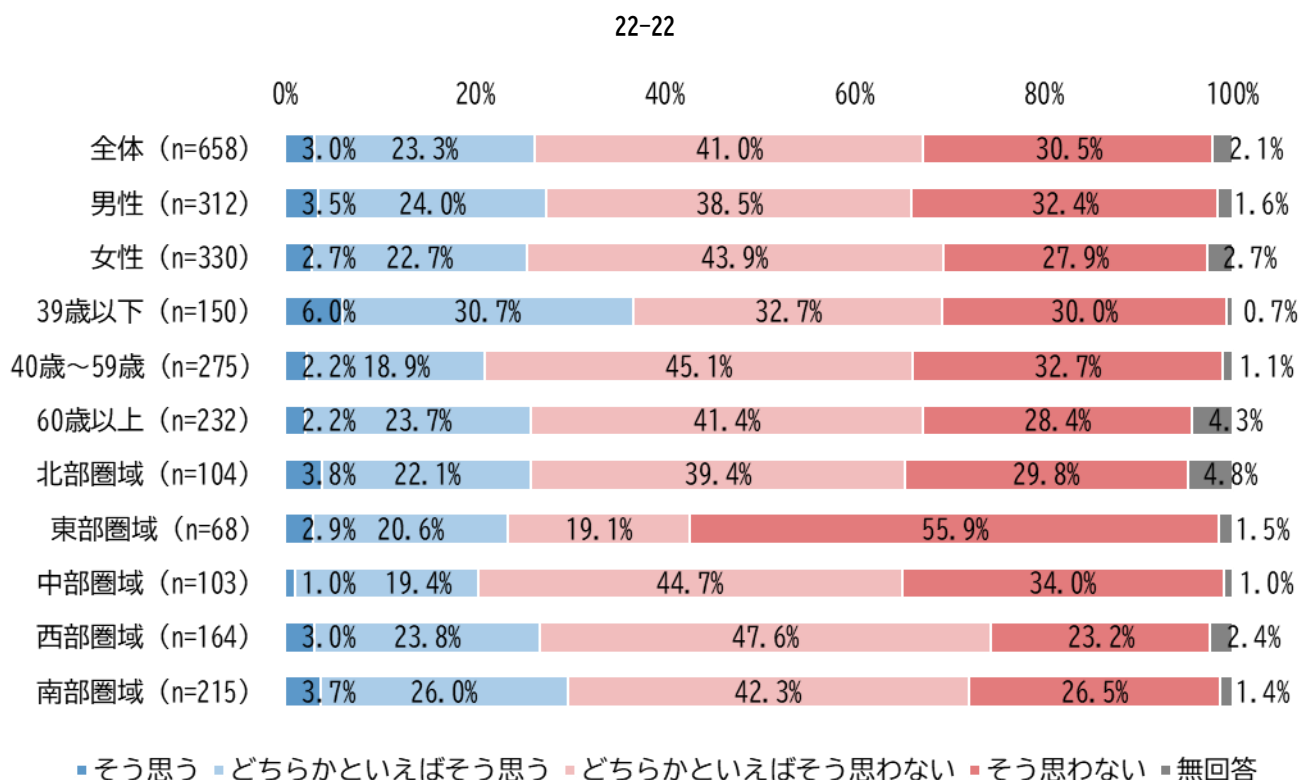
問 22-21 自宅近くの公園は、安全で快適に過ごせる環境ですか。

- 全体では、『そう思う』が46.4%を占めている。
- 東部圏域、中部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 西部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



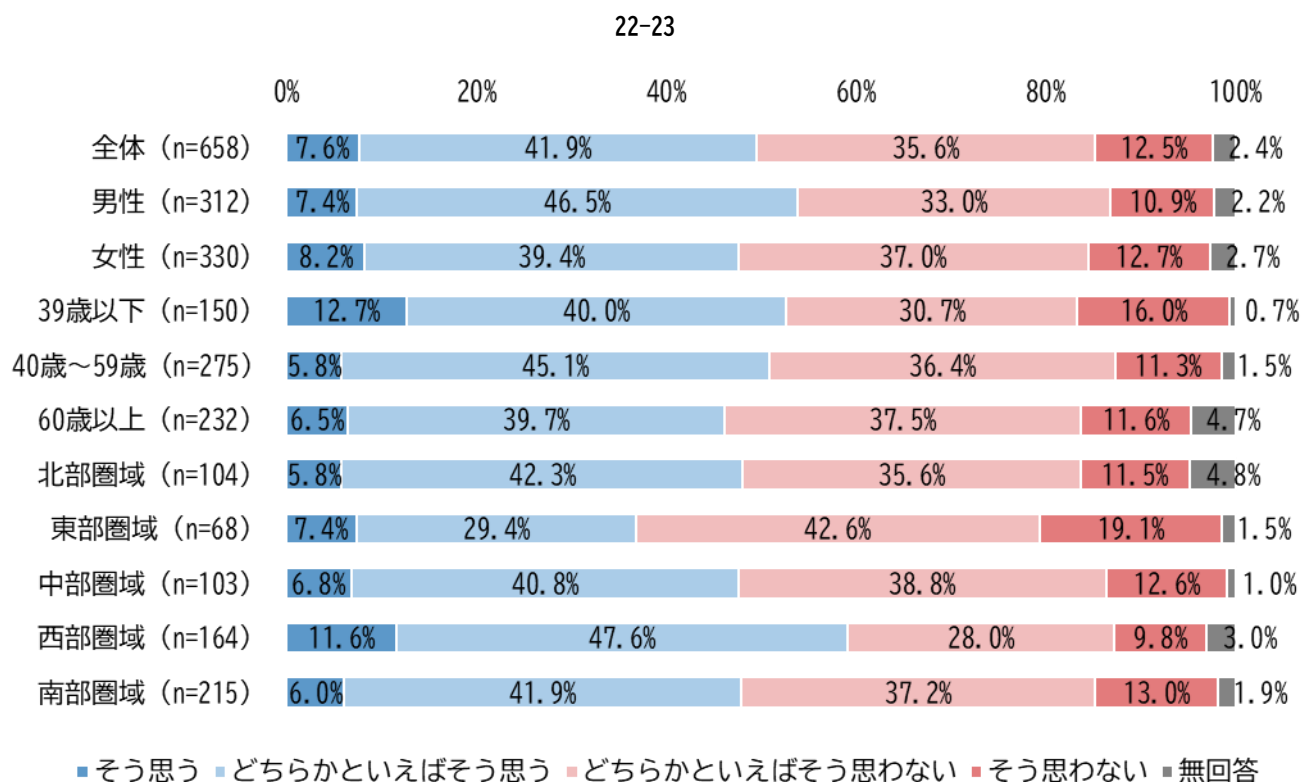
問 22-22 誰もが危険を感じないで安心して通行できるよう、歩道の整備が進められていると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が26.3%を占めている。
- 40歳～59歳、中部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 39歳以下において、『そう思う』が比較的が多い。



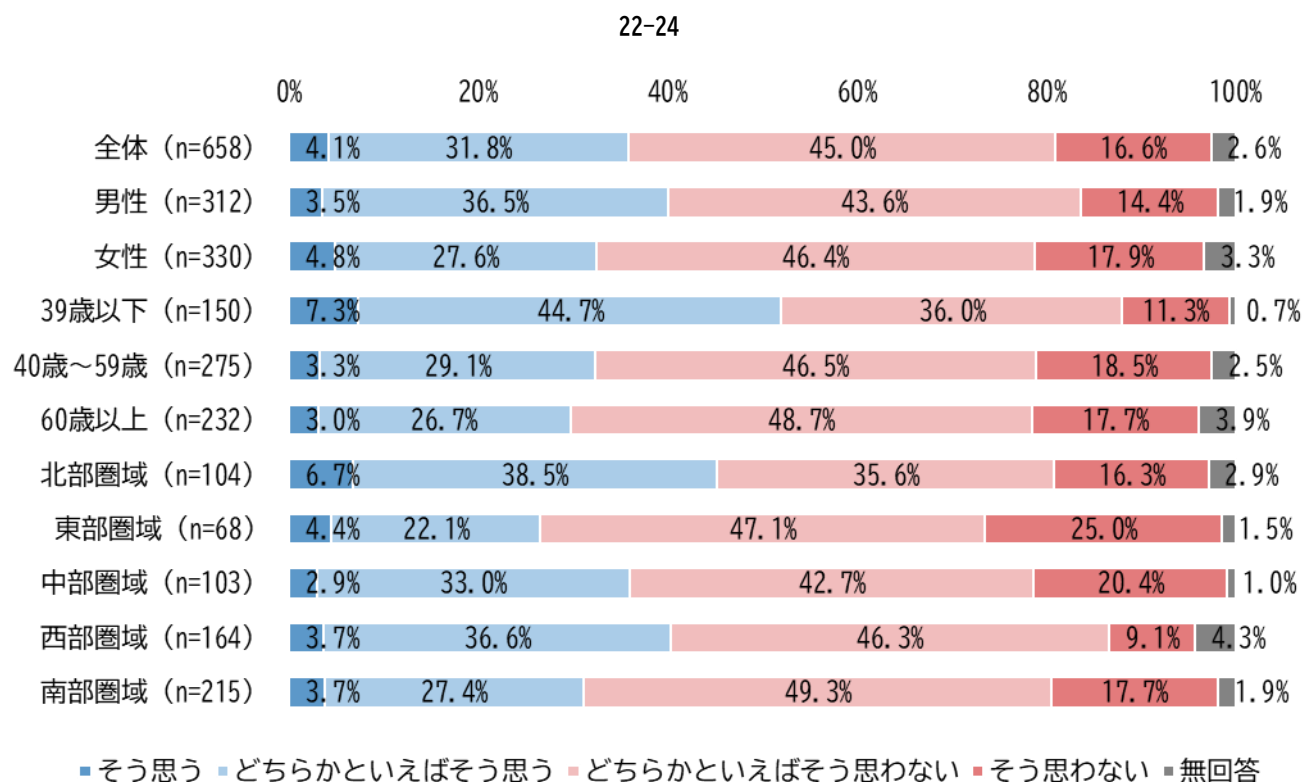
問 22-23 やりがいのある仕事、趣味や楽しみなどを持ち、健康で生きがいのある暮らしをしていると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が49.5%を占めている。
- 東部圏域において『そう思う』が少ない。
- 西部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



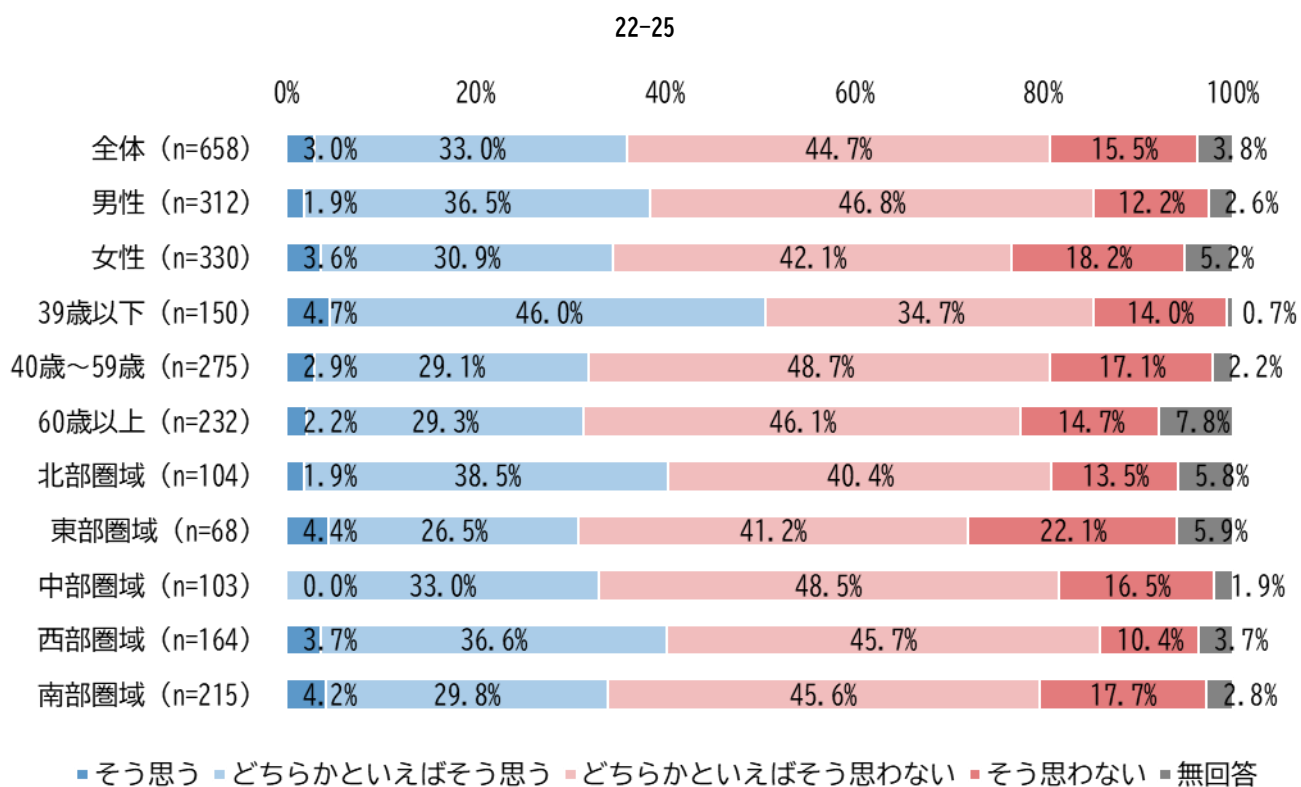
問 22-24 高齢者が地域の中で、生きがいを持って安心して暮らしていくことができる環境が整っていると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が35.9%を占めている。
- 60歳以上、東部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 39歳以下、北部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



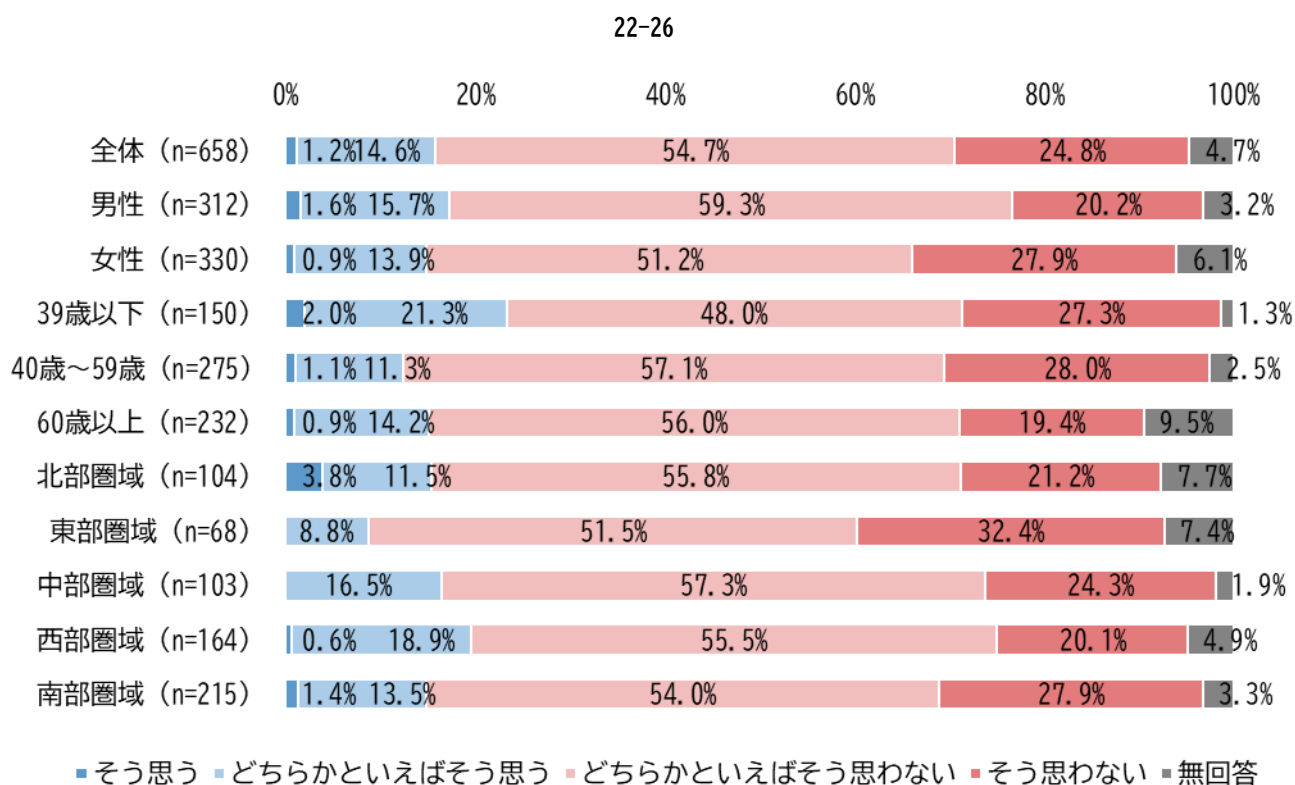
問 22-25 病気や子育てなどで困った時にも、家族や地域の支えあいにより、暮らしていくことができると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が36.0%を占めている。
- 39歳以下において、『そう思う』が比較的に多い。



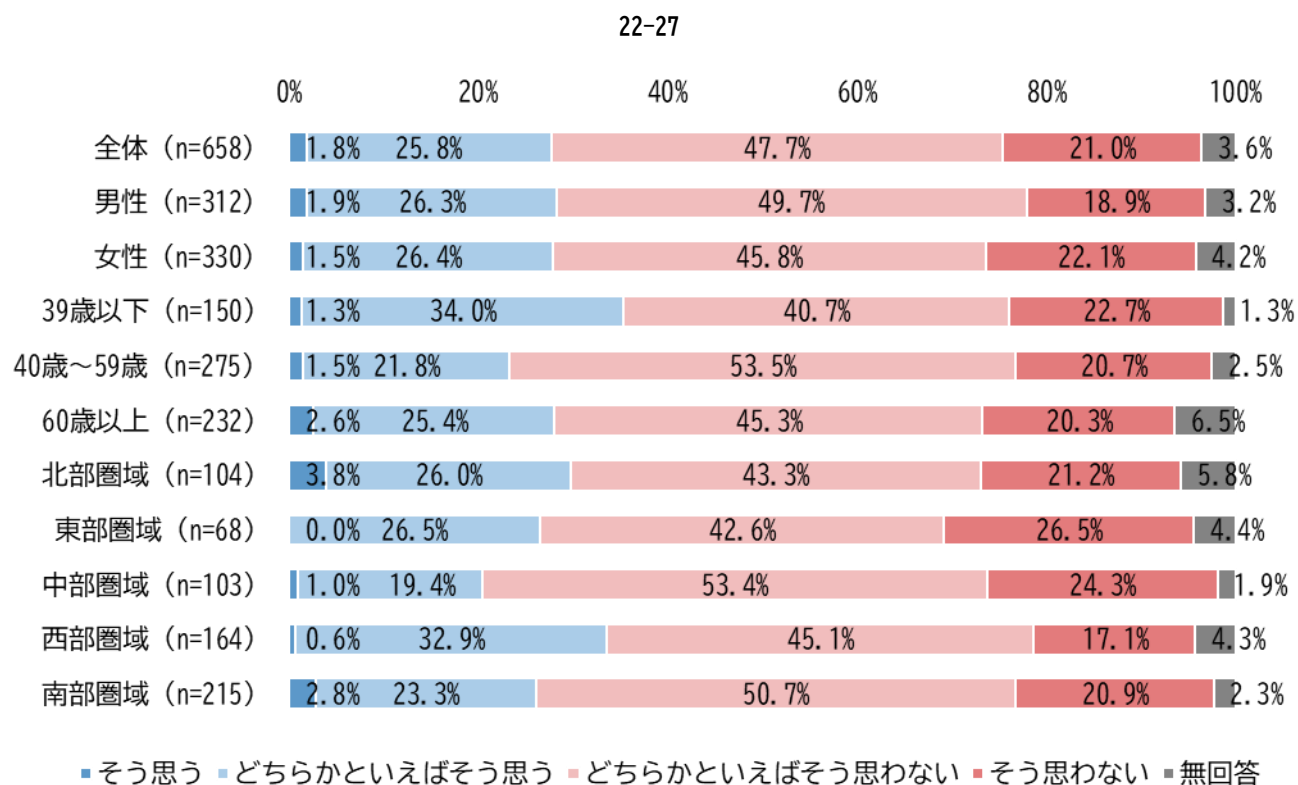
問 22-26 市の計画やまちづくりに市民委員などとして参加しやすいと思いますか。

- 全体では、『そう思う』が15.8%を占めている。
- 東部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 39歳以下において、『そう思う』が比較的に多い。



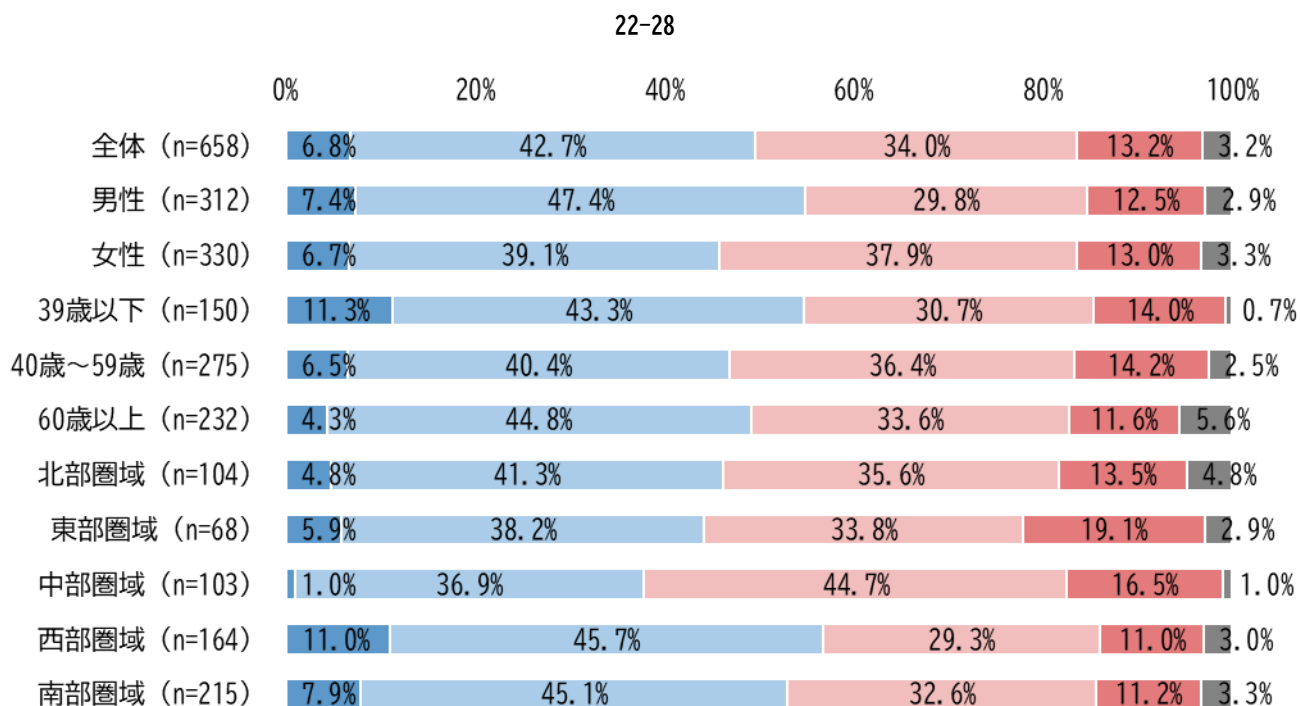
問 22-27 自治会や NPO 等の活動が活発に行われ、地域のつながりがあり、皆が支えあって暮らしていると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が 27.7%を占めている。
- 中部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 39 歳以下、西部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



問 22-28 土砂災害、風水害などの不安がない住環境が整っていると思いますか。

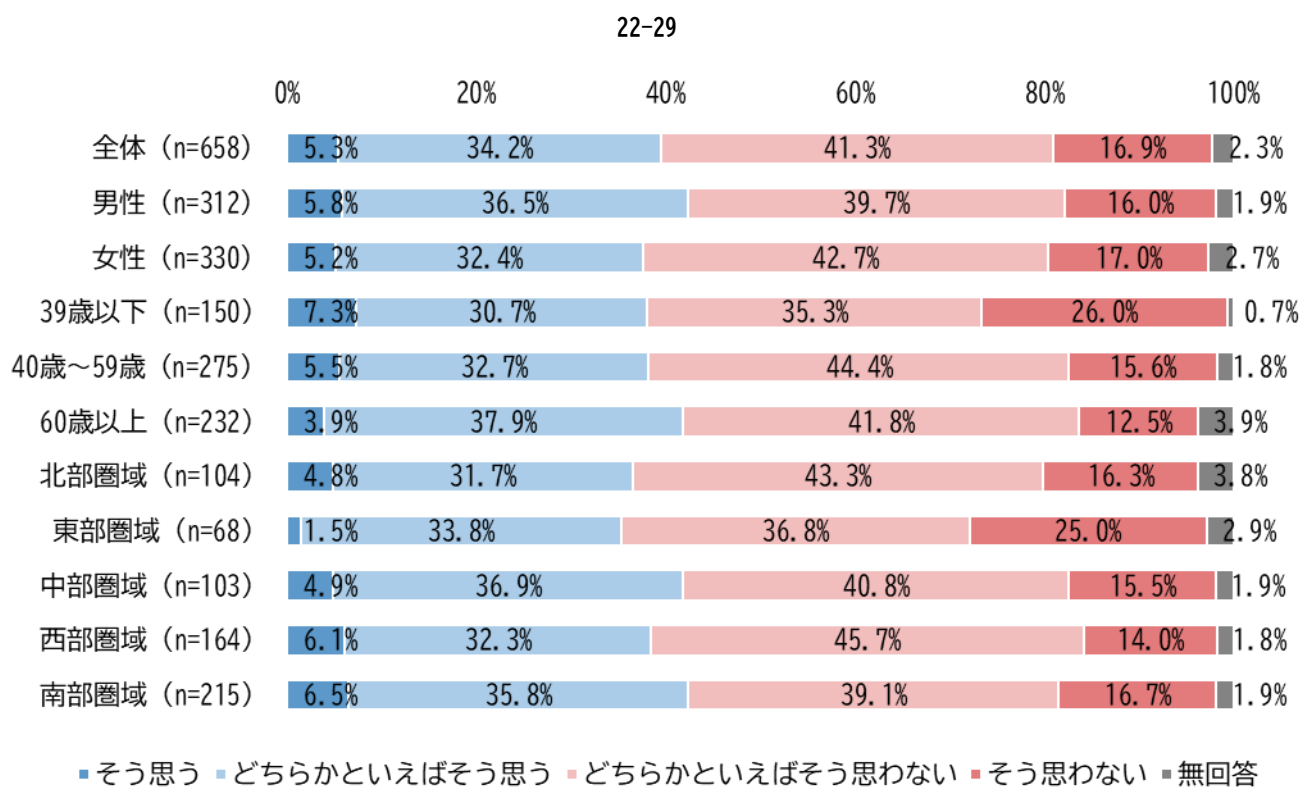
- 全体では、『そう思う』が49.5%を占めている。
- 中部圏域において『そう思う』が特に少ない。



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

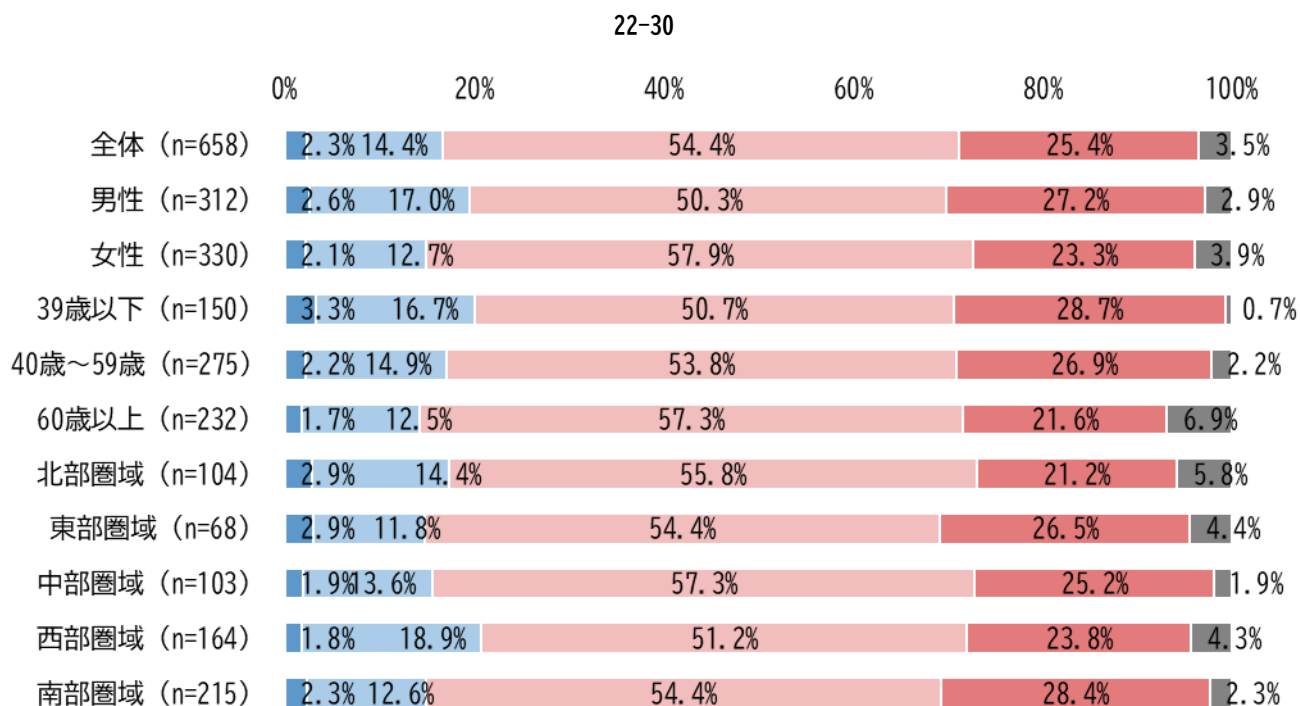
問 22-29 日頃から、地域の防災訓練への参加や、非常持ち出し品の準備など災害に対する備えができていますか。

- 全体では、『そう思う』が39.5%を占めている。



問 22-30 省エネ行動や太陽光発電設備の導入など、家庭で地球温暖化対策に取り組むにあたり、必要な情報提供や支援が行われていると思いますか。

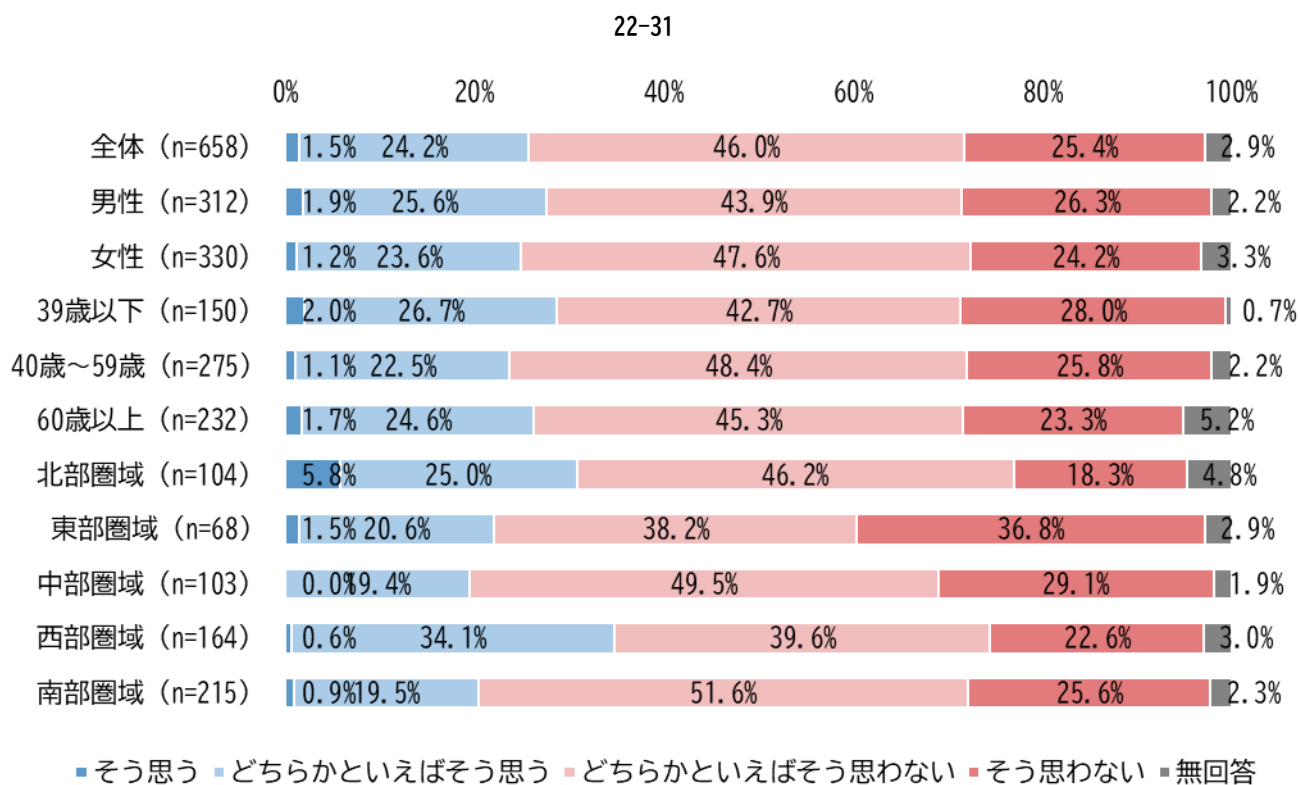
- 全体では、『そう思う』が16.7%を占めている。



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

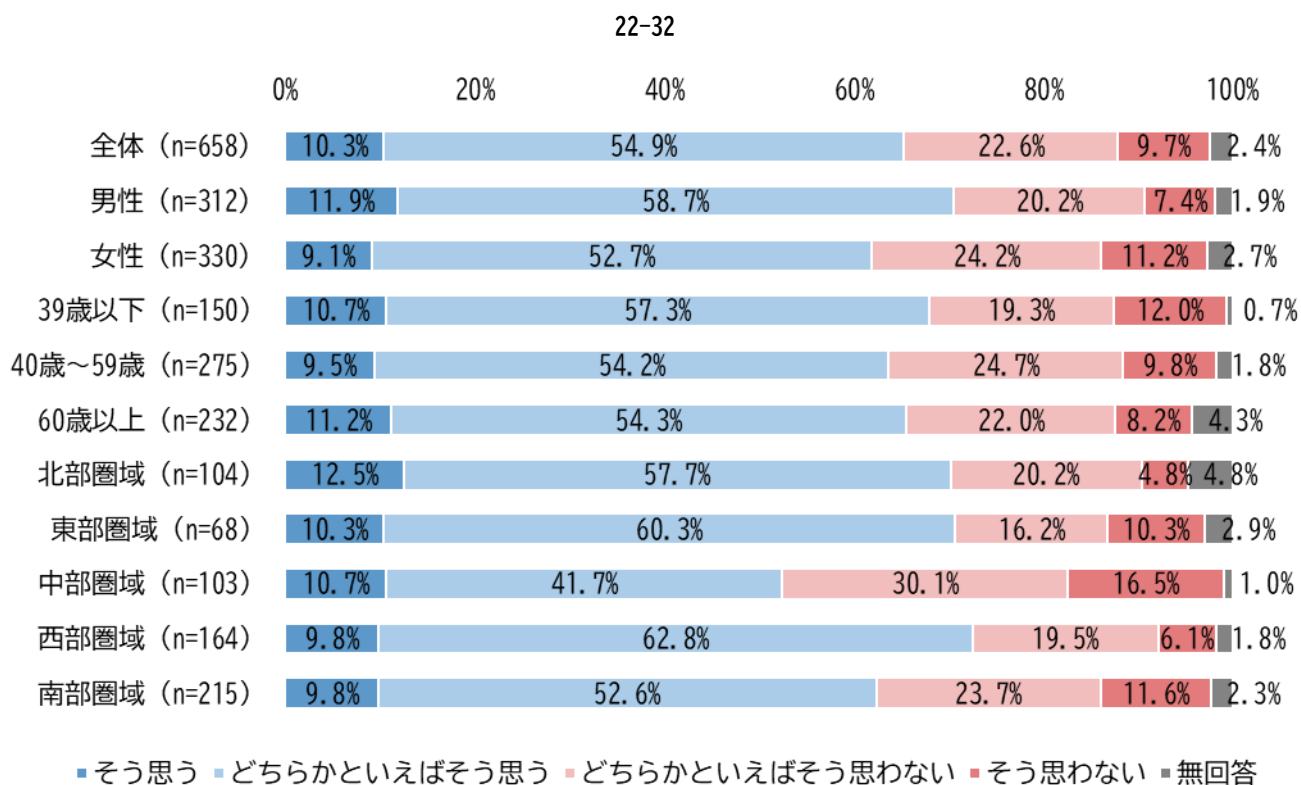
問 22-31 市の方針や活動について十分な説明がなされ、重要な情報が公開されており、開かれた市政が推進されていると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が25.7%を占めている。
- 中部圏域、南部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 西部圏域において、『そう思う』が比較的に多い。



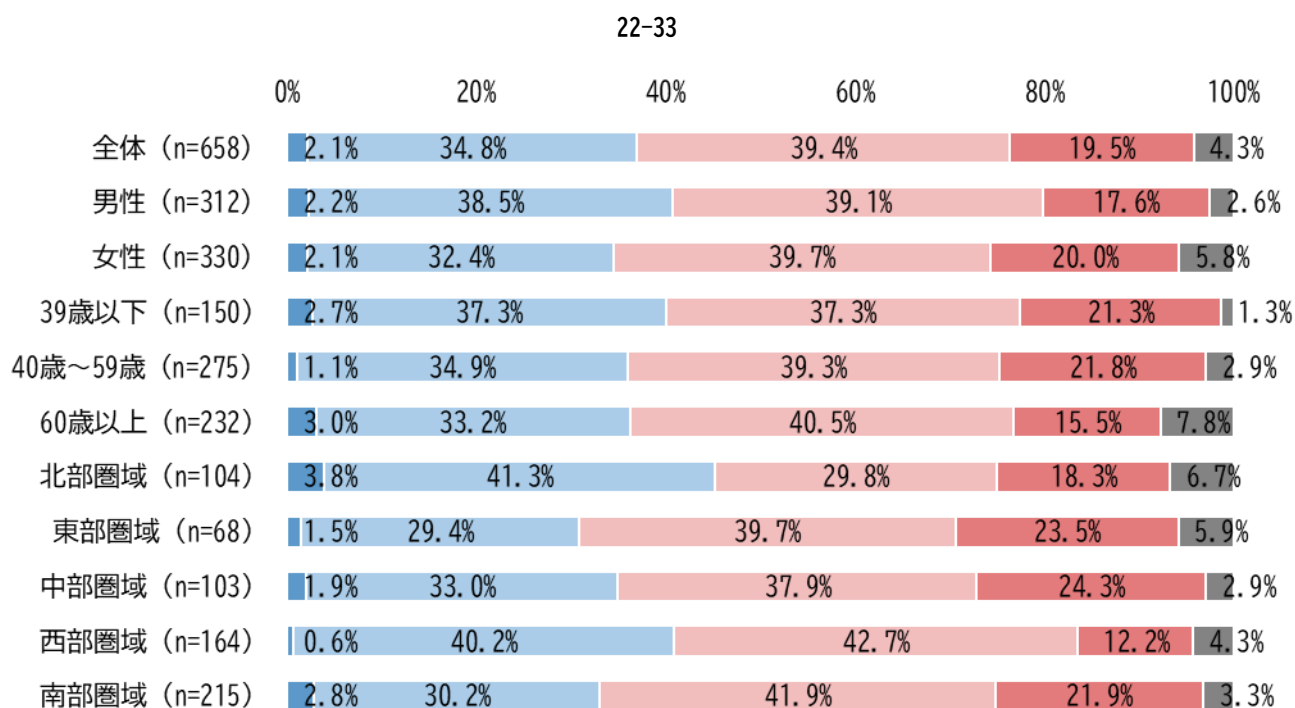
問 22-32 市役所の窓口業務などにおいて、説明がわかりやすく、利用者にとって必要なサービスが提供されていると思いますか。

- 全体では、『そう思う』が65.2%を占めている。
- 北部圏域、東部圏域、西部圏域において『そう思う』が特に多い。
- 中部圏域において、『そう思う』が少ない。



問 22-33 瀬戸市の財政運営は、適切に行われていると思いますか。

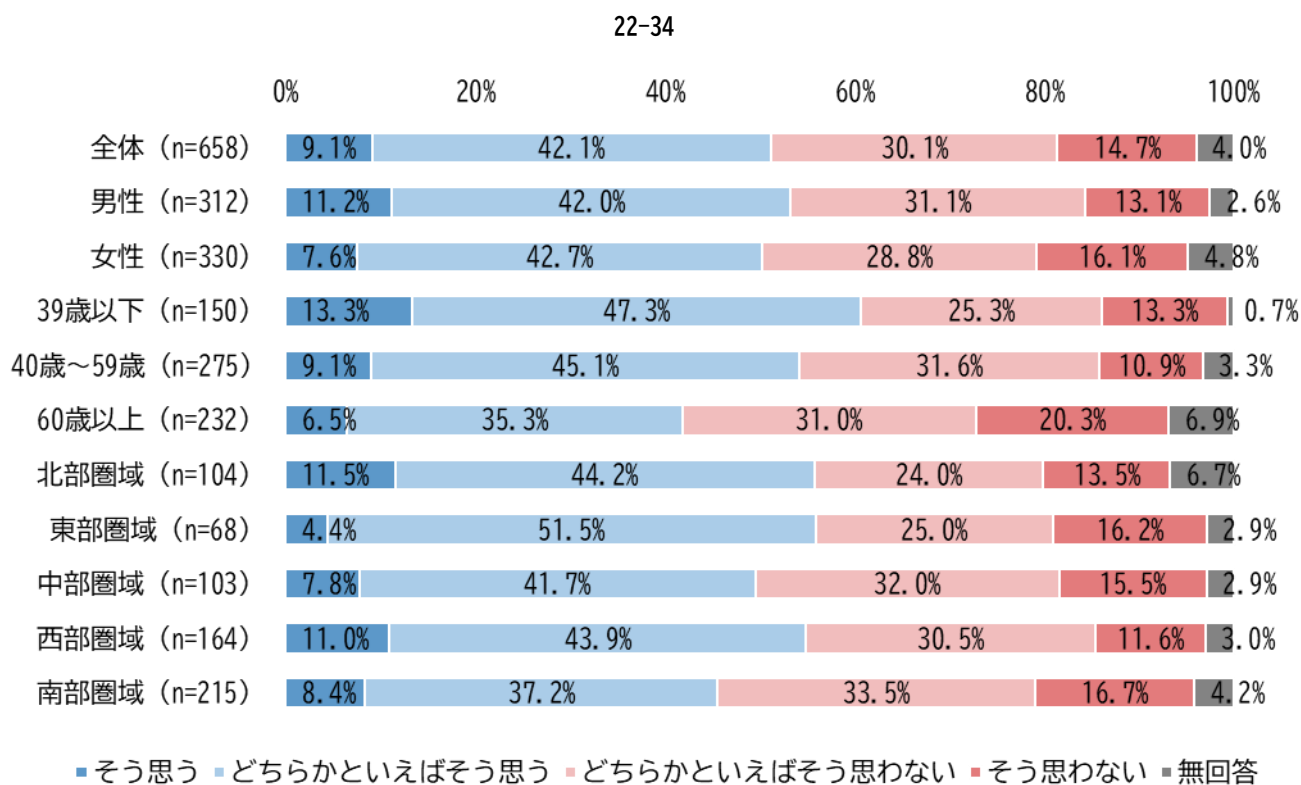
- 全体では、『そう思う』が36.9%を占めている。
- 東部圏域において『そう思う』が特に少ない。
- 北部において、『そう思う』が比較的に多い。



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

問 22-34 スマートフォン等の決済アプリを利用した市税の納付や電子図書館など、デジタル技術の活用によって瀬戸市の行政サービスが向上したと思いますか。

- 全体では、『そう思う』が51.2%を占めている。
- 39歳以下において『そう思う』が多い。
- 60歳以上において、『そう思う』が比較的に少ない。



経年比較（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合の比較）

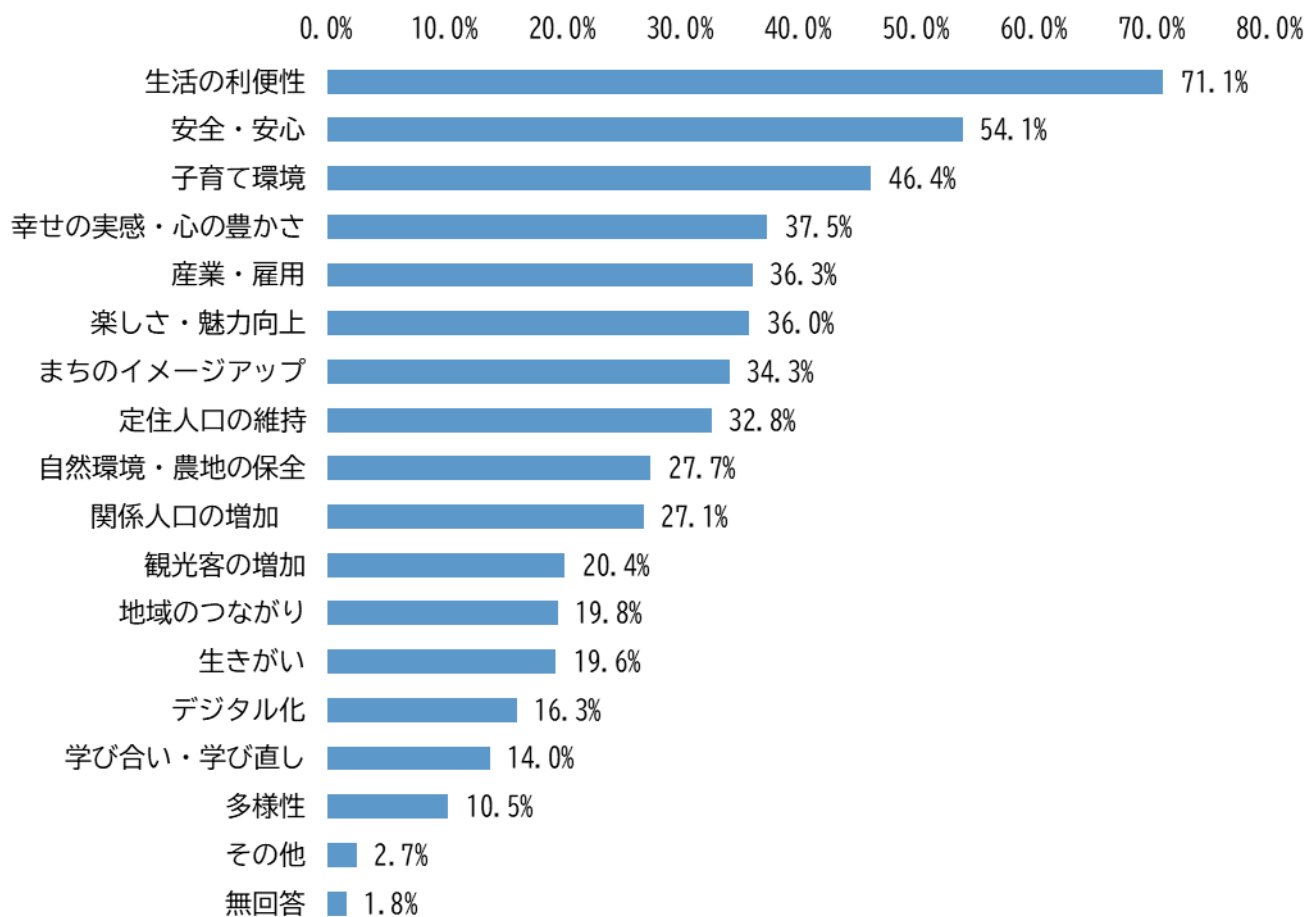
		R1 (n=888)	R4 (n=847)	R7 (n=658)
1	瀬戸の自然や伝統・文化など「瀬戸らしいと感じるもの」を、他のまちの人におすすめすることができると思いますか。	66.1%	66.1%	67.6%
2	あなた（あなたの家族）に働く場があり、あなたの家庭では経済的に自立して暮らすことができていると思いますか。	72.9%	73.5%	64.3%
3	新しい産業創出や企業立地などが進められ、企業の活動が盛んであると思いますか。	14.6%	22.2%	24.5%
4	瀬戸市には、働く場が多くあると思いますか。	19.0%	23.2%	22.8%
5	起業や創業、若手作家や職人等のツクリテの活動に対する支援策が充実していると思いますか。	25.9%	27.9%	30.1%
6	定住促進やふるさと納税を促す瀬戸市の魅力発信など瀬戸の認知度を上げるための取組みが積極的に行われていると思いますか。	15.1%	17.3%	16.3%
7	子育て支援などの生活に関わる情報や観光・イベント情報など、必要な情報が入手しやすい環境にあると思いますか。	—	34.6%	28.1%
8	ジェンダー平等の意識が浸透し、性別に関わりなく個人が活躍できる環境が整っていると思いますか。	—	21.0%	17.2%
9	あなたの生活において、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活との調和）が実現できていると思いますか。	—	56.4%	55.9%
10	鉄道やバスなどの公共交通は、日常生活を送るうえで満足できる交通手段だと思いますか。	32.8%	38.4%	34.2%
11	車で市内をスムーズに移動できるよう、道路の整備が進められていると思いますか。	41.0%	41.1%	38.6%
12	住宅地や商業地、工業地など適切な土地利用が進められていると思いますか。	33.6%	37.5%	36.9%
13	身近な地域での支えがあって、安心して子どもを生み、育てることができる環境にあると思いますか。	47.8%	44.9%	45.1%
14	子どもや若者、妊娠・子育て中の人が困った時に気軽に相談できる環境が整っていると思いますか。	—	35.3%	32.1%
15	豊かな感性や自ら考え学ぶ力のある子どもを育てよう、地域全体で子どもの教育に関わっていると思いますか。	34.5%	35.0%	33.1%
16	子どもたちは、適正な児童数・生徒数の学校で学んでいると思いますか。	57.5%	59.1%	52.4%
17	将来、子どもたちが社会で活躍できるようキャリア教育をはじめとして、子どもの個性や創造性を伸ばす機会が充実していると思いますか。	27.4%	28.3%	27.8%
18	義務教育9年間を見通した小中一貫教育は、本市の教育環境の向上につながっていると思いますか。	—	59.5%	56.8%
19	住宅環境や地域のつながりが良く、家族と共に暮らしやすい環境があると思いますか。	52.9%	52.8%	53.8%
20	外国籍の住民、障害児者のいる家庭、生活に困っている家庭が不自由なく暮らせる環境にあり、地域で安心して生活することができる環境が整っていると思いますか。	33.2%	32.8%	31.9%
21	自宅近くの公園は、安全で快適に過ごせる環境ですか。	45.6%	47.2%	46.4%
22	誰もが危険を感じないで安心して通行できるよう、歩道の整備が進められていると思いますか。	22.3%	26.5%	26.3%
23	やりがいのある仕事、趣味や楽しみなどを持ち、健康で生きがいのある暮らしをしていると思いますか。	54.9%	55.6%	49.5%
24	高齢者が地域の中で、生きがいを持って安心して暮らしていくことができる環境が整っていると思いますか。	—	38.6%	35.9%
25	病気や子育てなどで困った時にも、家族や地域の支えあいにより、暮らしていくことができると思いますか。	47.1%	38.1%	36.0%
26	市の計画やまちづくりに市民委員などとして参加しやすいと思いますか。	20.3%	18.4%	15.8%
27	自治会やNPO等の活動が活発に行われ、地域のつながりがあり、皆が支えあって暮らしていると思いますか。	33.0%	30.5%	27.7%
28	土砂災害、風水害などの不安がない住環境が整っていると思いますか。	42.7%	44.7%	49.5%
29	日頃から、地域の防災訓練への参加や、非常持ち出し品の準備など災害に対する備えができていると思いますか。	29.8%	36.0%	39.5%
30	省エネ行動や太陽光発電設備の導入など、家庭で地球温暖化対策に取り組むにあたり、必要な情報提供や支援が行われていると思いますか。	—	18.3%	16.7%
31	市の方針や活動について十分な説明がなされ、重要な情報が公開されており、開かれた市政が推進されていると思いますか。	29.7%	30.7%	25.7%
32	市役所の窓口業務などにおいて、説明がわかりやすく、利用者にとって必要なサービスが提供されていると思いますか。	67.1%	70.8%	65.2%
33	瀬戸市の財政運営は、適切に行われていると思いますか。	36.2%	38.6%	36.9%
34	スマートフォン等の決済アプリを利用した市税の納付や電子図書館など、デジタル技術の活用によって瀬戸市の行政サービスが向上したと思いますか。	—	46.3%	51.2%

※R1において実施していない項目は「—」としている。

問 23 将来の瀬戸市のまちづくりにおいて、あなたが重要と思うキーワードを選んでください。（当てはまるものすべて）

- 「生活の利便性」が 71.1%で最も多く、「安心・安全」（54.1%）、「子育て環境」（46.4%）が続く。

瀬戸市のまちづくりにおいて重要と思うキーワード（n=658）



問 24 将来の瀬戸市のまちづくりに対するご意見・ご提案などがあれば、ご自由に記入してください。

【主な意見】※第 6 次総合計画の都市像をもとに区分

■活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち

- 例えば企業誘致なら、大きな補助金、そこへのルートの道路の整備、鉄道の延長など、極端な財政出動もありという様に進める必要がある。
- 瀬戸市には大きな企業が少ないのもっと呼びこんでほしい。
- 人口減少がすすみ働く人が少ないので、働ける人はどんどん働きやすい職場がふえると良いですね。おしゃれなカフェなど。
- 若い作家さんやすてきなお店がたくさんあるけど、知っているのは「ごく一部」の印象。じわじわでも広がっていったら嬉しい。才能ある方をもっとバックアップしてあげてほしい。
- 菱野団地商店街の見直しを考えて欲しい。可能性を秘めていると思う。
- 瀬戸市としての、全国的に注目されるような、大々的に PR 出来るようなシンボリックな施設等があれば良い。
- 瀬戸市のすばらしいところ、素敵なお店などを発信してほしいです。
- 瀬戸焼をいかした伝統的な体験を多くの人に発信して広めていき、観光客誘致だけでなく、住民の地域への愛着を深める事も大切だと思います。
- 瀬戸市の商店街付近の駐車場が少なく、いつも渋滞しているので改善してもらいたい。
- 中心街の整備は整ってきていると思うが、同じ瀬戸市でも地域によって全く改善できない場所がある。
- 名鉄瀬戸線、愛知環状鉄道という 2 つの鉄道路線が市内に乗り入れている利点をもっと活かしてほしい。
- 買い物に行っても荷物が多いためタクシーを使わなくてはいけないため便利にいて欲しい。
- 子供の通学もため、駅まで送迎することがあったり、高齢になり、運転ができなくなることを考えると、住み続けられるか心配に思う。

■安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち

- 病児保育や児童の預かりなど、働きながらも子育てしやすいサポートなどがあると良いのでは。
- 子育て支援で小さい子への手当ばかり注目されているが、高校、大学と子供が大きくなる程お金がかかるのでその手当も充実すると思う。
- 高校の選択肢が少ない。もっと増やしてほしい。
- 学生定期だけでもよいので、バス乗車運賃の値下げをしてほしい。
- にじの丘学園とか大々的に発信すべきかと思います。すばらしい学校環境ですね。
- 古い団地をきれいにしてもらえたら、若い夫婦が増え、そのまま永住する人も増えると思う。
- 閉鎖される公園が目につくことがある。子供がボール遊び、遊具遊び、砂場遊び等外での活動が楽しいと思えるような整備がされるといいと思う。
- 車いすでの外出には、歩道が狭く、木の根で凹凸でスムーズに車いすが押せない歩道で車いす同士が、すれ違えない。ガードレールがあるので、道路に降りる事もできない。

■地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち

- 高齢者で車が無い家庭では回収場まで持って行けない為に、家に貯め込む事になり、火災の原因になりかねない。
- 皆が気軽に話し合える場所があるといい。
- 高齢化が進む中、交通手段の充実、地域とのつながり、退職後も活動できる場所が増えていくような取り組みが必要。
- 高齢者も多いので、高齢者の方が安心して暮らせるよう工夫が必要だと思います。デジタル化ばかり推進するのではなく。
- 自治会加入者、こども会加入者も減り関わりもうすくなっている。高れい者や子どもの居場所等、別々の問題としてとらえず、一緒に考えていけるとよい。市の横のつながりうすい。
- ゴミをみんなで拾い、ゴミ 0 のまちづくりをしていけば、もっと良いまちになると思う。
- 瀬戸市の中心町から、はずれた所の道路整備、歩道の雑草がり、ゴミがちらかっている。散歩していると悲しくなる。
- 図書館が早く使えるようになってほしい。その間の代替が全然足りていない。

■その他、市政に関する意見等

- 大胆な企画立案による従来にはない発想でまちづくりを大きく考えてほしい。
- 古い伝統にこだわりすぎ。時代にあったものにする。自然にこだわり過ぎて開発が遅れている。
- 以前と比べ瀬戸市のまちづくりは前向きですばらしいと思います。これからも一つ一つ瀬戸市民のために取り組んでいってくださるよう提案します。
- 瀬戸市が市として何をやっているのか、どこにお金を使っているのか、という情報が市民に知られてなさすぎるので、上手く情報共有してほしいです。
- 安全で豊かな市にできるよう、年齢関係なく意見がいえるオープンなまちになるといいと思います。